

樹ら楽 柵目・プレーンタイプ

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

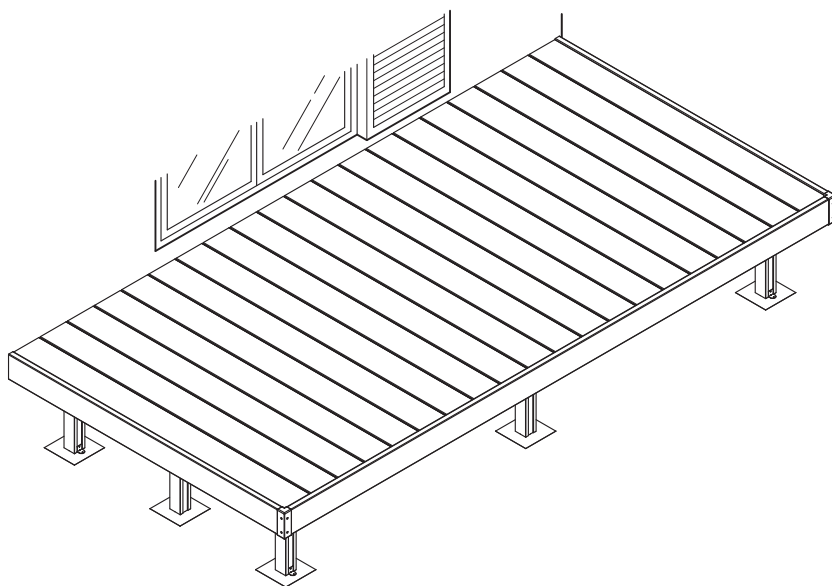
■重要

本製品を施工する際、必ず指定箇所のすき間を確認してください。

施工手順内にチェックボックスを設けてあります。施工段階ごとに必ず

☒ **チェックをしながら**
施工を行ってください。

正しく施工をしなかった場合、幕板Aの落下により、使用者がケガを負うおそれがあります。また、施工後に床板や幕板の反り、波打ちの原因になります。



■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

安全に関する記号と説明

-  **警告** ・取扱いを誤った場合に使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示します。
-  **注意** ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示します。

情報に関する記号と説明

-  **お願い** ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
-  **補足** ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

ネジ等の締結部品の記号

ネジやナット等の締結部品を記号で示しています。(例：1a、1b、2c等)

締結部品の種類は「各ページの右上」または「**梱包明細表**」を参照してください。

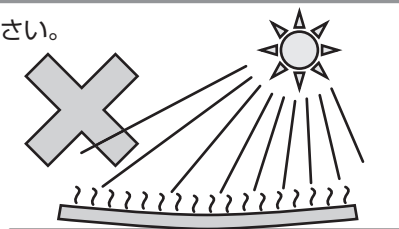
■ 施工の前に

⚠ 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 本製品は1800N/㎡仕様です。施工場所の必要強度をご確認の上、施工を行ってください。

💡 お願い

- 保管時・施工時の部材の反り・曲がり・伸び等の防止のため、以下の事項を守ってください。
 - ・直射日光を避けて保管してください。
 - ・平らな場所に保管してください。立てかけて保管しないでください。
 - ・暖房機や焚き火近くの高温になる場所には保管しないでください。
 - ・製品上に重量物を長時間重ね置きしないでください。
- 設置場所を確認してください。
 - ・浴室、プール等の常時水のかかる場所には設置しないでください。製品の特性上、適していません。
 - ・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。熱排気による部材の変形・劣化することがあります。
 - ・母屋の屋根等から雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により製品が破損することがあります。
- 人工木は表面に研磨加工処理を施してありますので、床板の施工方向によっては色調に濃淡が出ます。
- デッキ上にフェンス、ガーデンルームの柱等を設置する場合は、必要に応じて、あらかじめ床板補強材を取付けてください。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 施工プランと必要部材が揃っているか確認してください。
- 施工手順は、「取付説明書区分表」で使用する取付説明書を確認してください。
- 市販の研磨紙を利用する際は、60～80番の研磨紙を用いてください。
- 取付ける部材によって施工手順が変わる場合があります。施工内容を十分確認してください。
- エクシオールにデッキを施工される際は、それぞれの製品の取付説明書を参照してください。



樹ら楽 柱目・プレーンタイプ取説区分表

施工手順	使用する取付説明書	取説コード
デッキの施工 束柱施工位置決め	人工木デッキ リードデッキ	E347
	人工木デッキ 多段幕板	E351
	人工木デッキ スロープ	E366
デッキの施工 束石の配置	樹ら楽 柱目・プレーンタイプ	E470
デッキの施工 補助根太の位置出し	樹ら楽 柱目・プレーンタイプ	E470
	人工木デッキ 点検口	EXM-252
デッキの施工 補助根太の取付け	樹ら楽 柱目・プレーンタイプ	E470
	人工木デッキ 点検口	EXM-252
デッキの施工 床板補強材の位置出し	人工木デッキ デッキ施工用	C399
	人工木デッキ モダンデッキフェンス	E348
	人工木デッキ ボードラインフェンス	E349
	人工木デッキ ウッドパーティション	E352
	人工木デッキ ラフィーネフェンス(デッキ仕様)	E354
	人工木デッキ デザイナーズパーツフェンス(デッキ仕様)	E355
	人工木デッキ デッキフェンス	E358
デッキの施工 床板補強材の取付け	樹ら楽 柱目・プレーンタイプ	E470
デッキの施工 床板の取付け	樹ら楽 柱目・プレーンタイプ	E470
	人工木デッキ ノンレールサッシ納め部材	E346
デッキの施工 幕板の取付け	樹ら楽 柱目・プレーンタイプ	E470
	人工木デッキ 多段幕板	E351

□ 施工上のご注意

⚠ 注意

- 束柱の移動範囲は弊社指定範囲にしてください。
- 製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
φ4ネジ：1.5N・m φ5ネジ：3.0N・m φ6ネジ：5.2N・m
- 束石は指定寸法以上のものを使用し、確実に設置してください。
- コンクリートまたはモルタルには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固防止剤、急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

💡 お願い

- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 施工中についた表面すりキズは、引き渡し前に研磨紙で補修してください。表面研磨する場合は、研磨してある方向に沿って行なってください。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 施工中についた表面の汚れやシミは、引き渡し前に水洗いをしてください。中性洗剤を薄めたものを使用した場合は、よく水洗いをしてください。

🔧 補 足

- 本書では、縦張りを基本とした施工方法を説明しています。

施工時の重要なすき間寸法

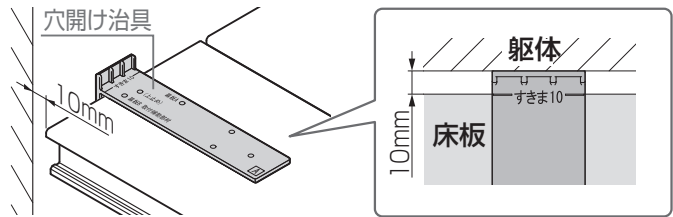
※人工木デッキはすき間が重要です。正しい施工を行わない場合、部材の反りや波打ちの原因となります。

1 躯体と床板のすき間および床板連結部のすき間

1-1 躯体と床板のすき間

お願い

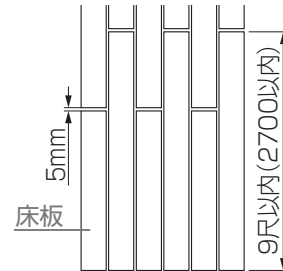
- 床板と躯体のすき間に穴開け治具を当て、すき間が10mm以上あることを確認してください。



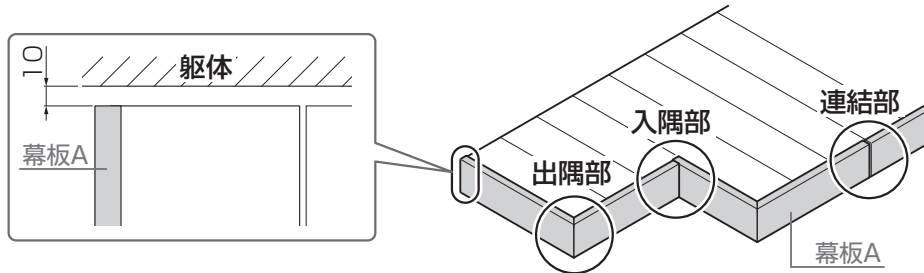
1-2 床板連結部のすき間

お願い

- 床板を長さ方向に連結する場合は、9尺（L=2700）以内の床板を使用してください。それより長い床板を連結すると、反り・変形の原因になります。
- 連結部は5mmの目地を設けてください。
- 必ず千鳥張りにしてください。
- 連結部の床板小口は1mm程度面取りしてください。



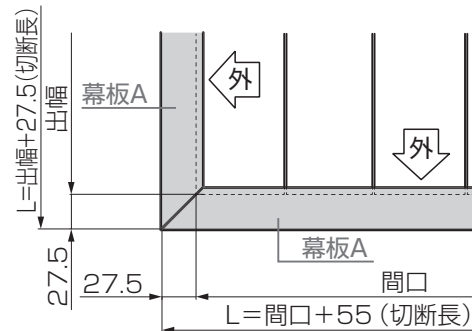
2 幕板Aのすき間 ※詳細はP.34以降を参照の上、施工をしてください。



▼ 出隅部の場合 ▼

お願い

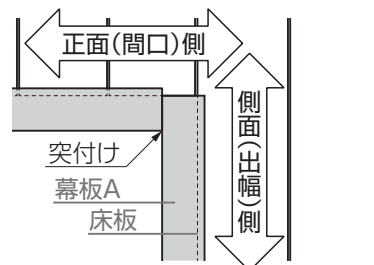
- 45°に切断加工の上、突付けて施工してください。



▼ 入隅部の場合 ▼

お願い

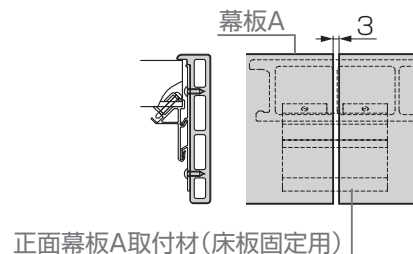
- 入隅は、側面側の幕板を床板端部に合わせて切断してください。
- 側面側の幕板へ正面側の幕板を突き当てて切断してください。



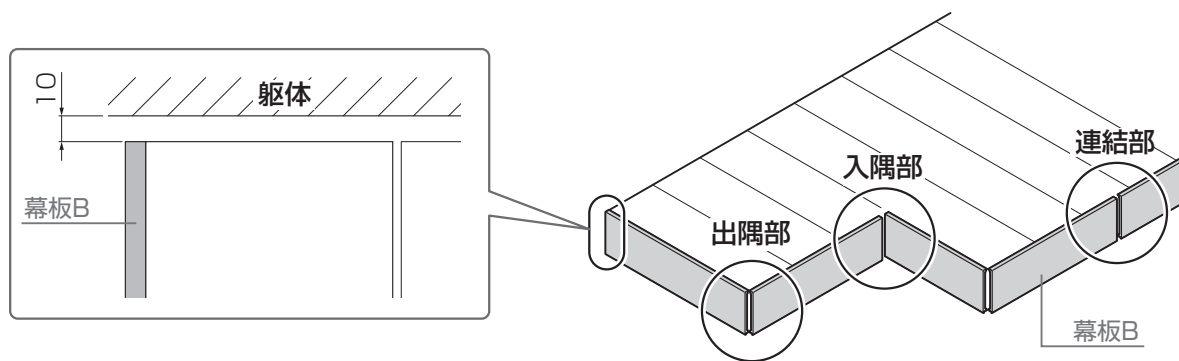
▼ 連結部の場合 ▼

お願い

- 幕板Aの連結部は3mmあけてください。
- 幕板Aの連結は、幕板A取付材のある箇所で行ってください。



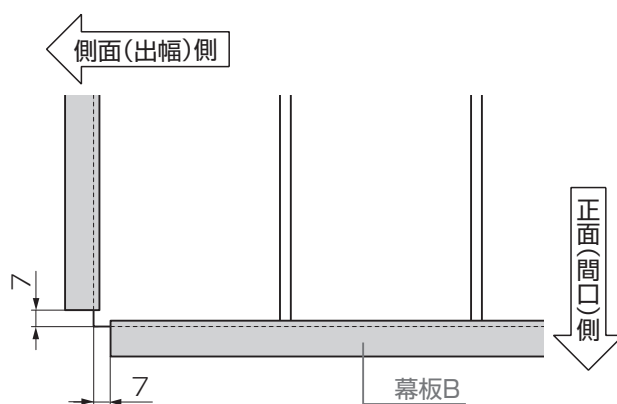
3 幕板Bのすき間 ※詳細はP.46以降を参照の上、施工をしてください。



▼ 出隅部の場合 ▼

💡 お願い

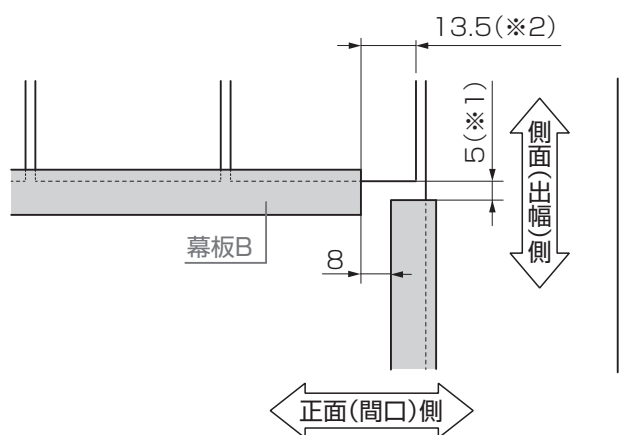
- 幕板Bは床板から7mmデッキ内側にしてください。



▼ 入隅部の場合 ▼

💡 お願い

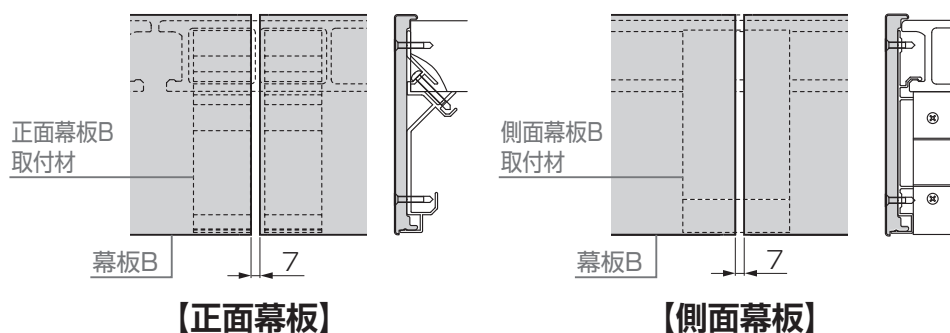
- 側面側の幕板Bは床板から5mm(※1)あけてください。
- 正面側の幕板Bは床板から13.5mm(※2)あけてください。



▼ 連結部の場合 ▼

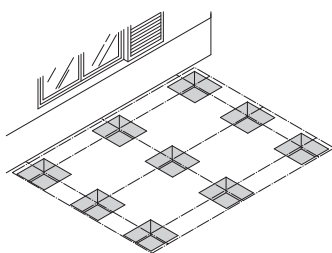
💡 お願い

- 幕板Bの連結部は7mmあけてください。
- 幕板Bの連結は幕板B取付材のある箇所で行ってください。



施工手順

2 基礎の施工（束柱施工）



P.14

お願い

▼ オプション品の施工や関連商品への接続する場合 ▼

- 基礎位置を移動または増設させなければならない場合があります。該当のページを参照して基礎位置を決めてください。

1 基本寸法と各部名称

10-2 補助根太の取付け

12-1 くり貫き部の施工

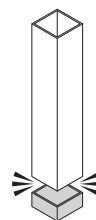
13-1 テラスとの接続

13-2 テラス囲い、ルームトラスとの接続

13-3 ノンレールサッシとの接続

3 束柱の設置（束柱施工）

3-1 束柱の切断



P.15

3 束柱の設置（束柱施工）

3-2 束柱固定金具の取付け



P.16

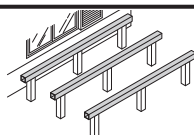
4 大引の取付け

4-1-1 大引の取付け

お願い

▼ フェンスを取付ける場合 ▼

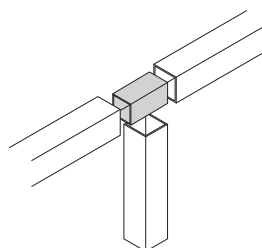
- フェンス取付け箇所と床板補強材の取付け箇所を確認してください。



P.18

4 大引の取付け

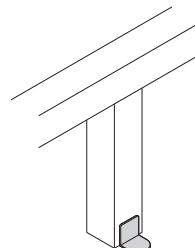
4-1-2 大引の連結（連結する場合）



P.18

4 大引の取付け

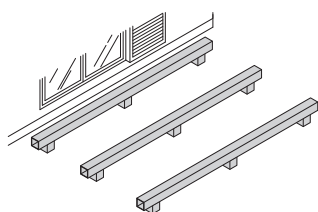
4-1-3 束柱の固定



P.19

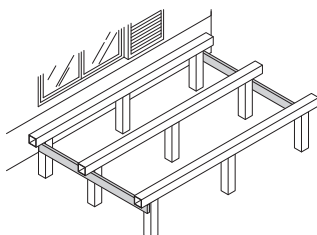
4 大引の取付け

4-2 土間施工の場合



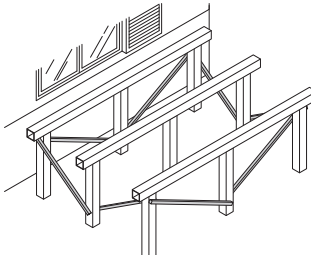
P.20

5 根がらみの取付け（オプション）



P.20

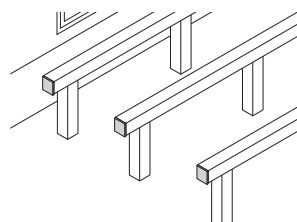
6 筋交いの取付け（ロング束柱施工）



P.21

7 床板の施工

7-1 側面幕板取付材の取付け



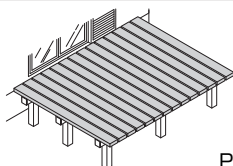
P.23

7 床板の施工

7-2 床板の取付け

お願い

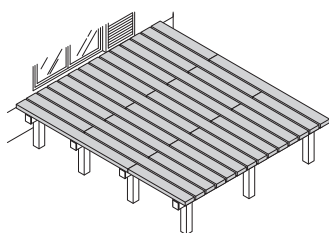
- 幕板の大引固定は、床板を施工する前に行ってください。



P.23

7 床板の施工

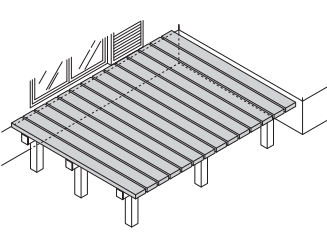
7-3 床板を縦連結する場合



P.25

7 床板の施工

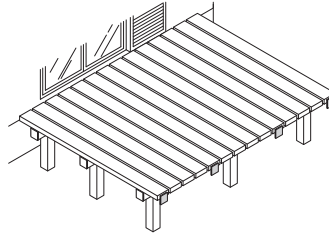
7-4 躯体が入隅の場合



P.26

8 幕板Aの施工

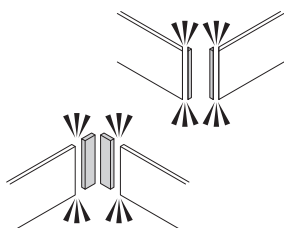
8-1-2 正面幕板A取付材（床板固定用）の取付け



P.31

8 幕板Aの施工

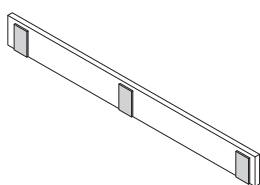
8-1-3 幕板Aの加工



P.32

8 幕板Aの施工

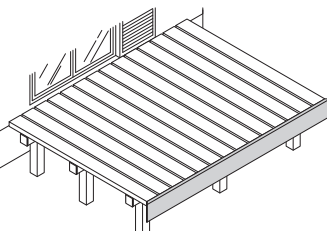
8-1-4 幕板金具A1の取付け



P.33

8 幕板Aの施工

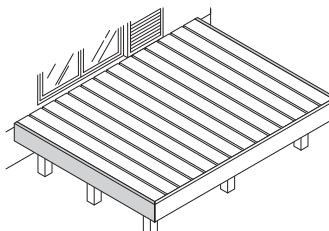
8-1-5 幕板Aの取付け (1) 正面側の取付け



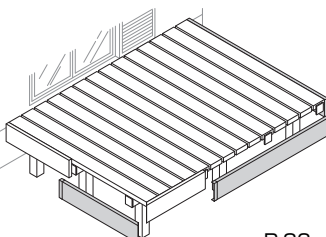
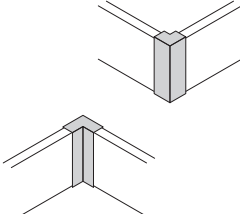
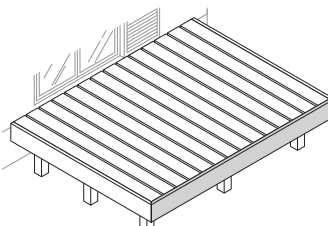
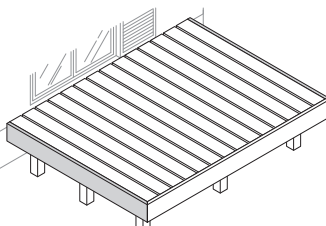
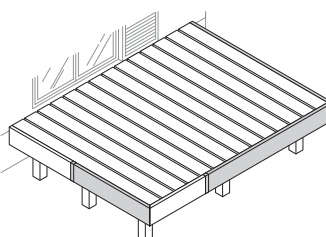
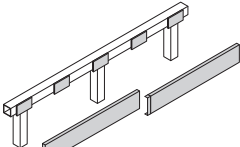
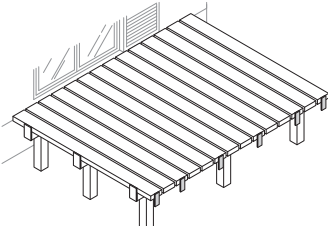
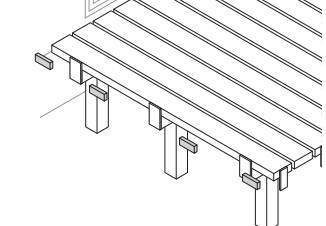
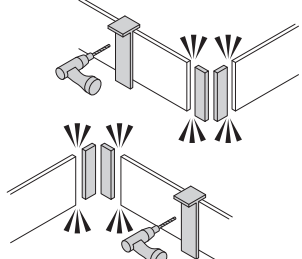
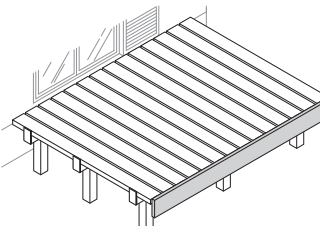
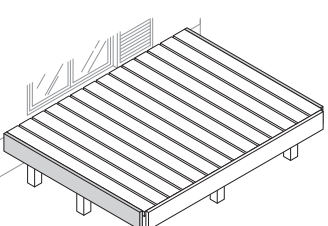
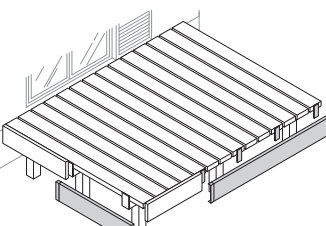
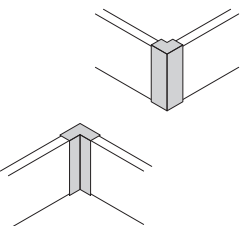
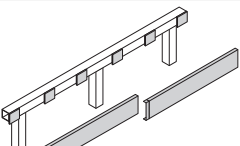
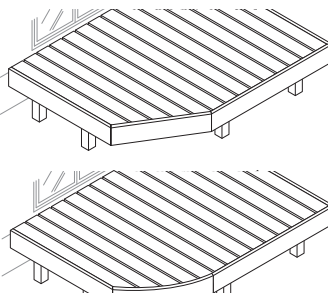
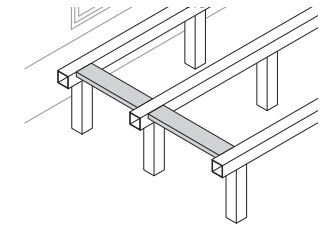
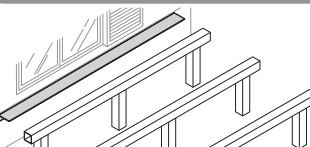
P.34

8 幕板Aの施工

8-1-5 幕板Aの取付け (2) 側面側の取付け



P.35

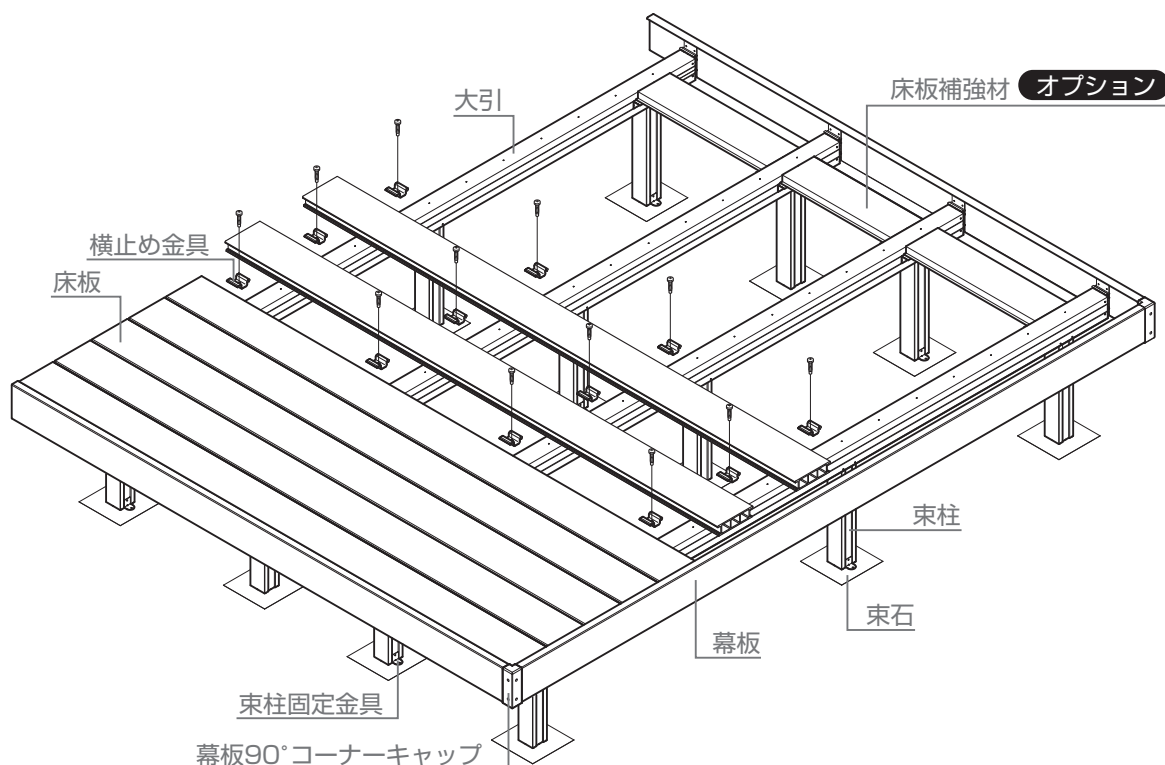
8 幕板Aの施工 8-1-5 幕板Aの取付け (3) 連結部の取付け  P.36	8 幕板Aの施工 8-1-6 コーナーキャップの取付け  P.36	8 幕板Aの施工 8-1-7 幕板Aの固定 (1) 正面側の取付け  P.37	8 幕板Aの施工 8-1-7 幕板Aの固定 (2) 側面側の取付け  P.38
8 幕板Aの施工 8-1-7 幕板Aの固定 (3) 連結部の取付け  P.39	8 幕板Aの施工 8-2 大引固定の場合 お願い ●必ず床板を施工する前に幕板を固定してください。  P.40	9 幕板Bの施工 9-1-2 正面幕板B取付材(床板固定用)の取付け  P.43	9 幕板Bの施工 9-1-3 幕板B取付補助部材の取付け  P.43
9 幕板Bの施工 9-1-4 幕板Bの加工  P.44	9 幕板Bの施工 9-1-5 幕板Bの取付け (1) 正面側の取付け  P.46	9 幕板Bの施工 9-1-5 幕板Bの取付け (2) 側面側の取付け  P.46	9 幕板Bの施工 9-1-5 幕板Bの取付け (3) 連結部の取付け  P.47
9 幕板Bの施工 9-1-6 コーナーキャップの取付け  P.48	9 幕板Bの施工 9-2 大引固定の場合 お願い ●必ず床板を施工する前に幕板を固定してください。  P.49	10 隅切り・R施工・ステップデッキの施工  P.50	11 床板補強材の取付け  P.56
12 オプション 12-2 躯体付けアングルの施工 お願い ●必ず床板を施工する前に躯体付けアングルを施工してください。  P.60	12 オプション 12-1 くり貫き部の施工 12-3 床板キャップの施工 12-4 躯体側隙間塞ぎ材の施工 12-5 ポイントライトの施工 P.57～	13 関連商品への接続 13-1 テラスとの接続 13-2 テラス囲い、ルームトラスとの接続 13-3 ノンレールサッシとの接続 P.63～	14 施工後の補修 14-1 床板の補修 14-2 床板を外した場合 P.68

目次

1 基本寸法と各部名称	8	9 幕板Bの施工	42
1-1 各部名称	8	9-1 床板固定の場合	42
1-2 詳細納まり	9	9-2 大引固定の場合	49
1-3 床板縦張り基本寸法	12	10 隅切り・R 施工・ステップデッキの施工	50
1-4 床板横張り基本寸法	13	10-1 床板取付上の注意	50
2 基礎の施工	14	10-2 補助根太の取付け オプション	51
3 束柱の設置(束柱施工)	15	10-3 幕板Aの取付け	53
3-1 束柱の切断	15	10-4 幕板Bの取付け	54
3-2 束柱固定金具の取付け	16	11 床板補強材の取付け	56
4 大引の取付け	18	12 オプション	57
4-1 束柱施工の場合	18	12-1 くり貫き部の施工	58
4-2 土間施工の場合	19	12-2 躯体付けアングルの施工	60
5 根がらみの取付け オプション	20	12-3 床板キャップの施工	61
6 筋交いの取付け(ロング束柱施工)	21	12-4 躯体側隙間塞ぎ材の施工	61
6-1 筋交いの施工例	21	12-5 ポイントライトの施工	62
6-2 筋交いの取付け	22	13 関連商品への接続	63
7 床板の施工	22	13-1 テラスとの接続	63
7-1 側面幕板取付材	22	13-2 テラス囲い、ルームトラスとの接続	66
7-2 床板の取付け	23	13-3 ノンレールサッシとの接続	67
7-3 床板を縦連結する場合	25	14 施工後の補修	68
7-4 躯体が入隅の場合	26	14-1 床板の補修	68
8 幕板Aの施工	30	14-2 床板を交換する場合	68
8-1 床板固定の場合	30		
8-2 大引固定の場合	40		

1 基本寸法と各部名称

1-1 各部名称



1 基本寸法と各部名称

1-2 詳細納まり

1-2-3 幕板大引固定 出幅方向納まり図（側面）



補 足

●デッキ出幅最大寸法

▼ 幕板Aの場合 ▼

D+27.5mm

▼ 幕板Bの場合 ▼

D+10.5mm

●デッキ間口最大寸法

▼ 幕板Aの場合 ▼

W+55mm

▼ 幕板Bの場合 ▼

W+21mm

●デッキ最低H寸法

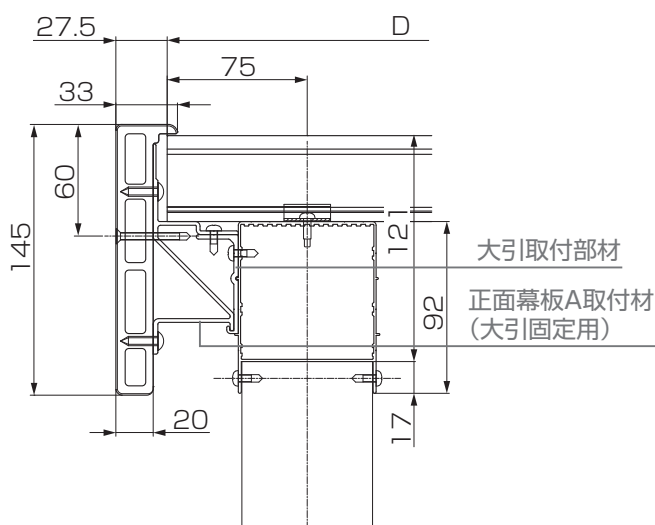
▼ 束柱Aの場合 ▼

170mm

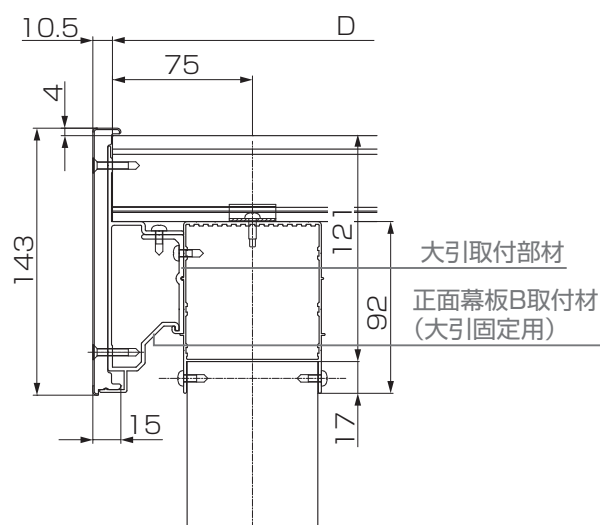
▼ 束柱Bの場合 ▼

373mm(ロング：823mm)

※以下H寸法の場合、束柱の加工が必要です。加工方法は「3-1束柱の切断(P.15)」をご参照ください。
束柱A：550mm(ロング1000mm)未満、
束柱B：403mm(ロング853mm)未満

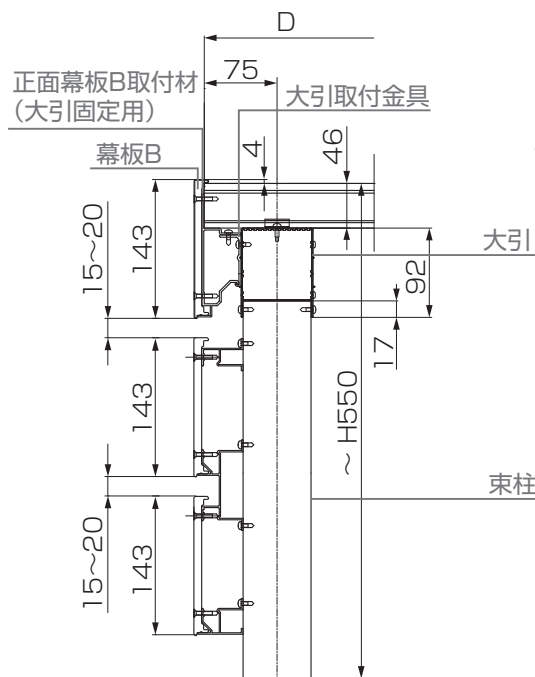


▲ 幕板Aの場合 ▲

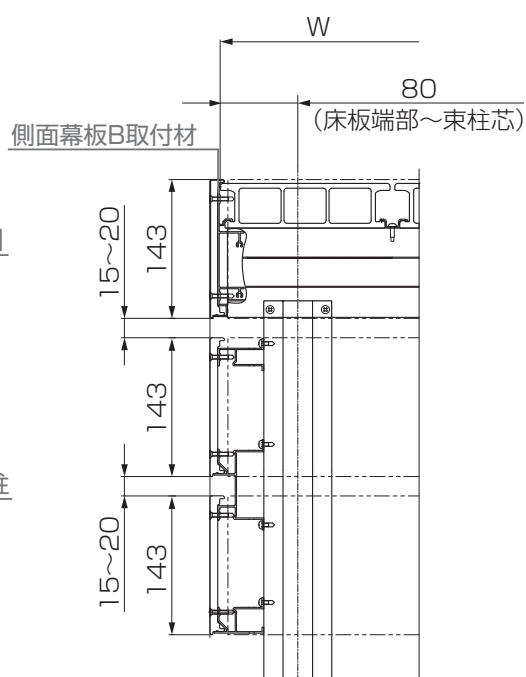


▲ 幕板Bの場合 ▲

1-2-4 多段幕板



●側面

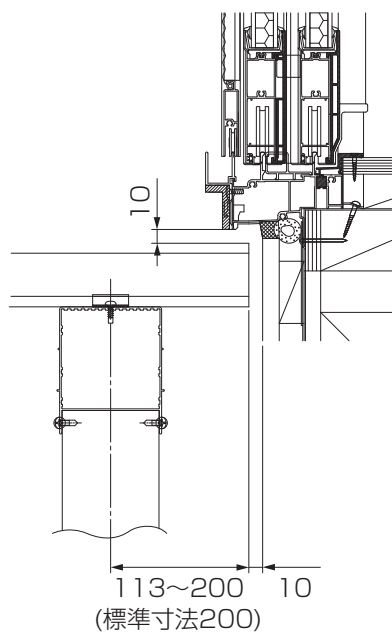


●正面

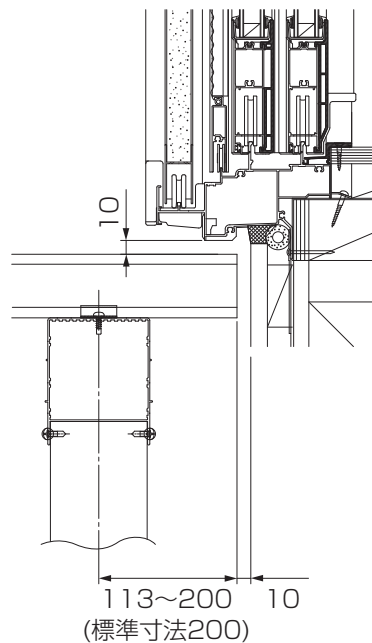
1-2 詳細納まり

1-2-5 サッシ収まり図

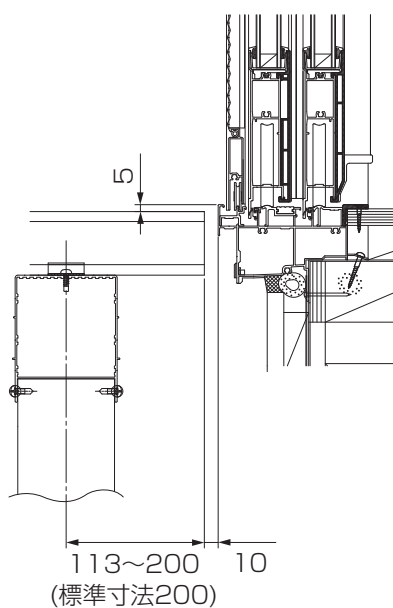
●住宅サッシ



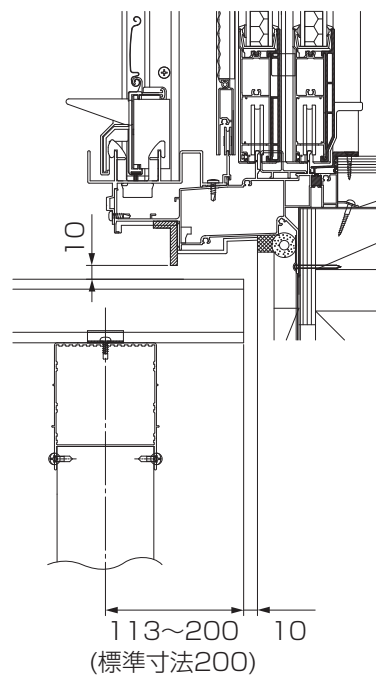
●雨戸サッシ



●住宅フラットサッシ



●シャッター



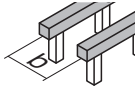
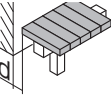


1-3 床板縦張り基本寸法

1-3-1 基本寸法（代表例）

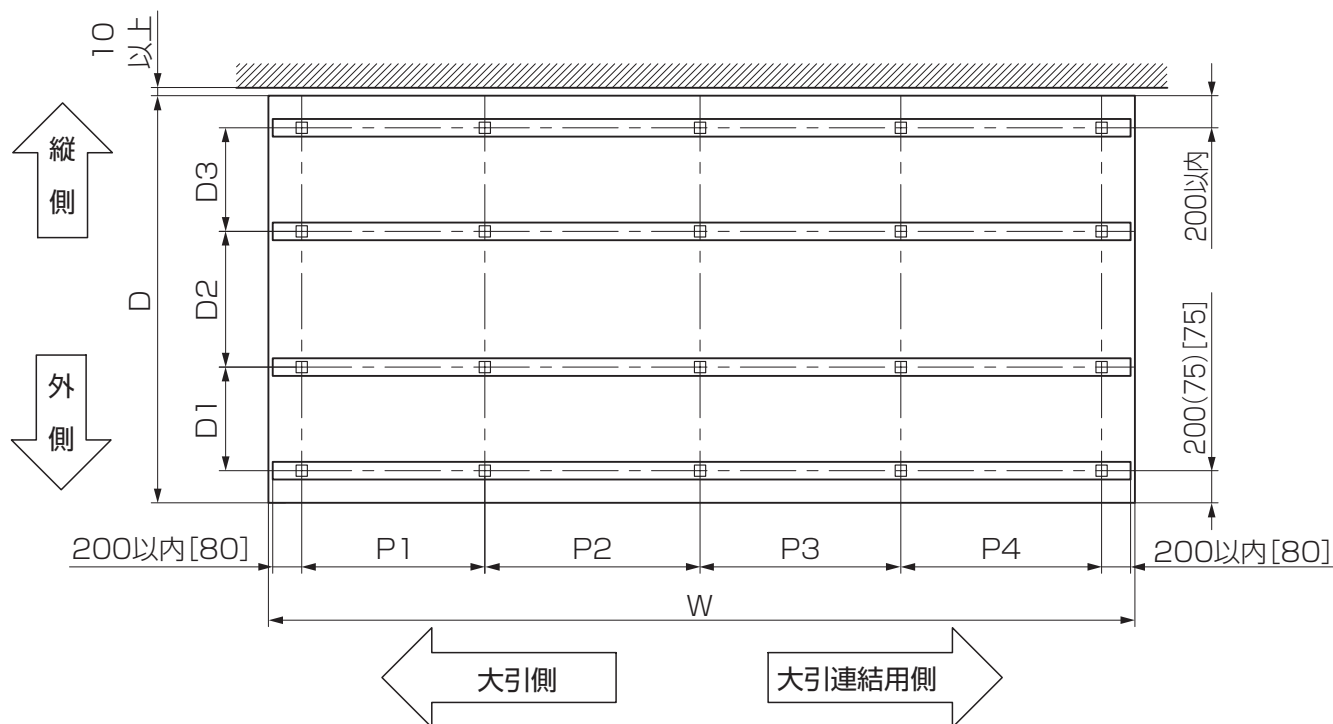
施工上のお願い

- 束柱の芯々寸法は、1800mm以内にしてください。
- 大引の芯々寸法は、900mm以内にしてください。
- 床板の張出し寸法は、大引の芯から200mm以内にしてください。
- 床板と躯体等は10mm以上の隙間をあけてください。
- 間口3.0間以上で大引の連結が必要になります。

間口方向 束柱芯々寸法	出幅方向 大引芯々寸法	床板端部 張出し寸法	床板と躯体の すき間
			
1800mm以内	900mm以内	200mm以内	10mm以上

補 足

- 束柱の芯々寸法は1800mm以内にしてください。
- 大引の芯々寸法は900mm以内にしてください。
- 床板の張出し寸法は大引の芯から200mm以内にしてください。
- 床板と躯体等は10mm以上すき間をあけてください。
- 間口3.0間以上で大引の連結が必要になります。
- 大引の連結部は必ず束柱を取付けてください。
- 床板を縦連結する場合は2700mm以内の床板を使用してください。
- () 寸法は幕板を大引固定する場合の寸法です。
- [] 寸法は多段幕板の場合の寸法です。



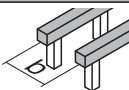
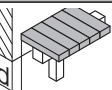


1-4 床板横張り基本寸法

1-4-1 基本寸法（代表例）

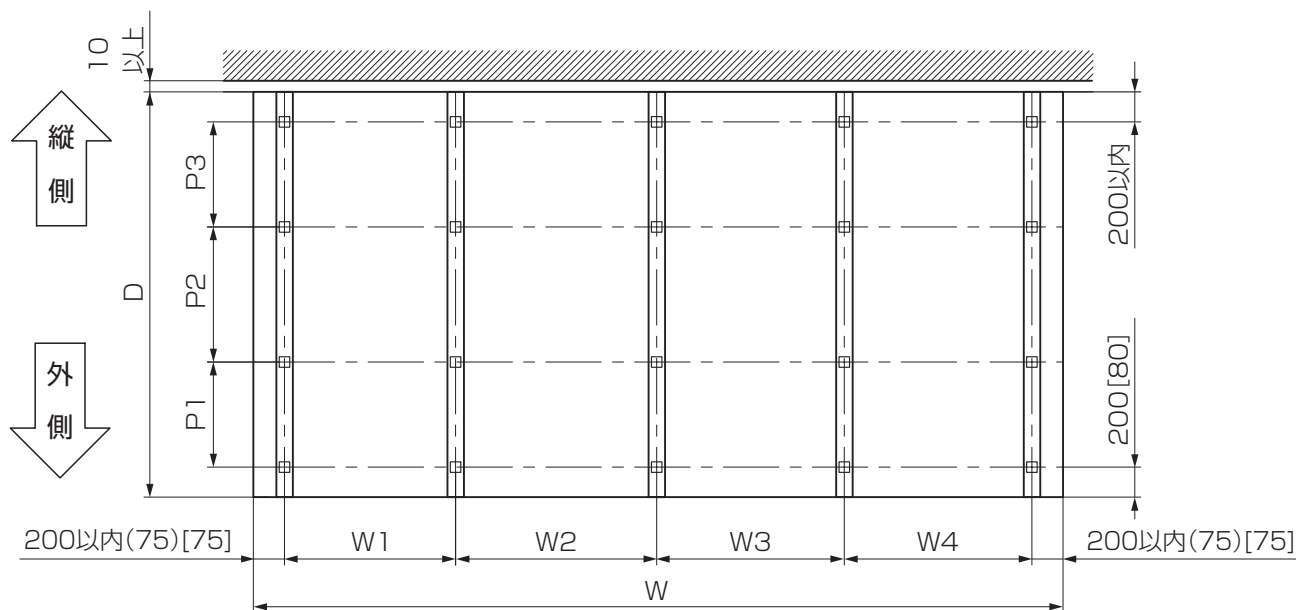
施工上のお願い

- 束柱の芯々寸法は、1800mm以内にしてください。
- 大引の芯々寸法は、900mm以内にしてください。
- 床板の張出し寸法は、大引の芯から200mm以内にしてください。
- 床板と躯体等は10mm以上の隙間をあけてください。
- 間口3.0間以上で大引の連結が必要になります。

間口方向 束柱芯々寸法	出幅方向 大引芯々寸法	床板端部 張出し寸法	床板と躯体の すき間
			
1800mm以内	900mm以内	200mm以内	10mm以上

補 足

- 束柱の芯々寸法は1800mm以内にしてください。
- 大引の芯々寸法は900mm以内にしてください。
- 床板の張出し寸法は大引の芯から200mm以内にしてください。
- 床板と躯体等は10mm以上すき間をあけてください。
- 出幅15尺以上で大引の連結が必要になります。
- 大引の連結部は必ず束柱を取付けてください。
- 床板を縦連結する場合は2700mm以内の床板を使用してください。
- () 寸法は幕板を大引固定する場合の寸法です。
- [] 寸法は多段幕板の場合の寸法です。



2 基礎の施工

※土間施工の場合は、「4-2 土間施工の場合」を参照してください。

注意

- スロープを施工する場合は、「スロープ 取付説明書 (E366)」を合わせて参照し、確実に施工をしてください。

補足

- 人工木の表面は水をほとんど吸わない為、わずかな反りの部分に降雨などで水溜りができる場合があります。

2 基礎の施工

1: 前面・両側面に水系を引き寸法出し

お願い

- 「1 基本寸法と各部名称」
1-3 床板縦張り基本寸法
1-4 床板横張り基本寸法」を参照してください。

2: 束石の位置を決定

補足

▼ ガーデンルーム施工の場合 ▼

- ガーデンルームの柱と束石が干渉する場合があります。
本体の施工前にその事を確認の上、必要に応じて基礎を移動してください。

▼ オプション施工の場合 ▼

- 施工するオプションにより入りが異なります。

3: 指定位置に穴を掘る

4: 砕石を敷いて突き固め

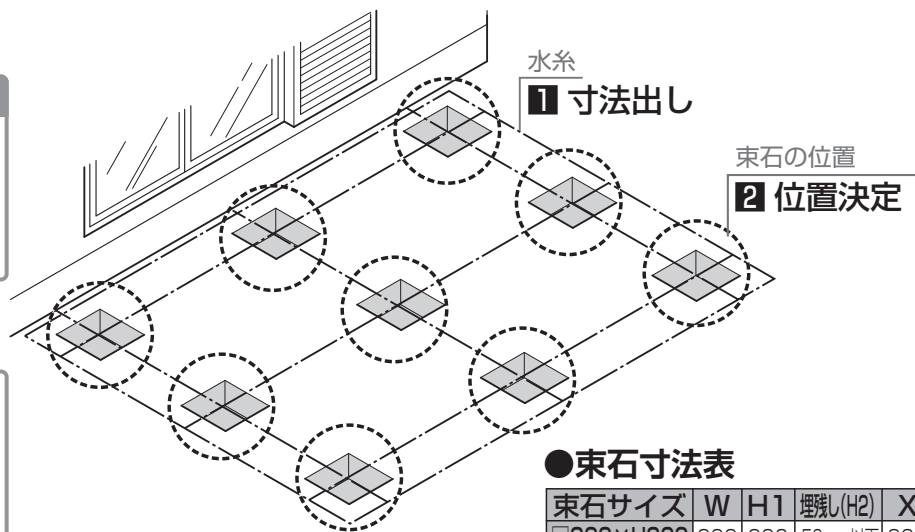
5: 束石を設置し、レベル出し

お願い 1

- 束石は必ず指定サイズのものを使用してください。
- 埋残し寸法 (H2) は必ず守ってください。砂利を敷く場合は、砂利の厚さもH2に含みます。
- 指示通りの施工を行なわないと基礎の浮き沈みや、床板の反りの原因になります。

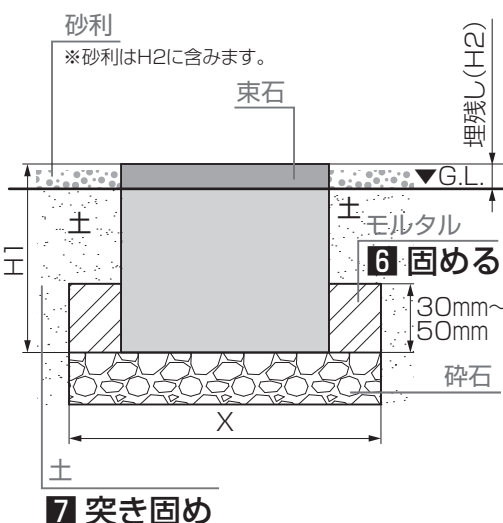
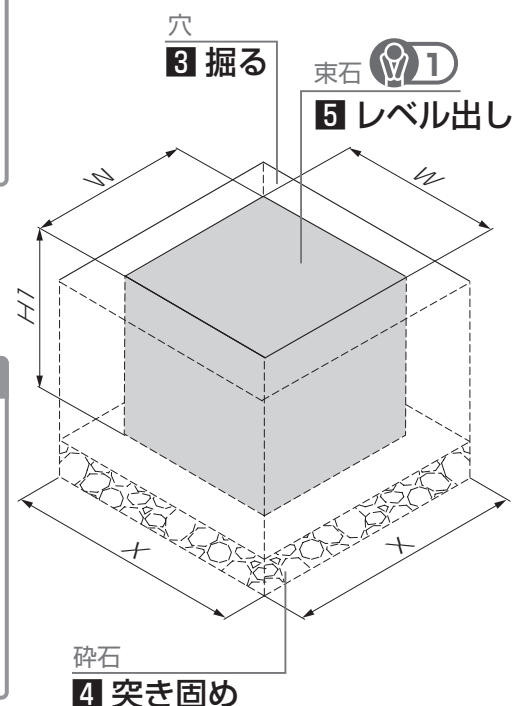
6: 束石のまわりをモルタルで固める

7: 掘った土を束石の周りに埋め戻し、突き固める



●束石寸法表

束石サイズ	W	H1	埋残し(H2)	X	重量
200×H200	200	200	50mm以下	300	18kg以上
200×H180	200	180	50mm以下	300	16kg以上
190×H190	190	190	50mm以下	290	15kg以上
300×H100	300	100	全埋込み	400	20kg以上



チェック



束石サイズ・重量・埋込み確認

- 束石は指定のサイズ・重量のものを使用していますか？
- 束石の埋め残し寸法(H2)は50mm以下(または全埋込み)になっていますか？

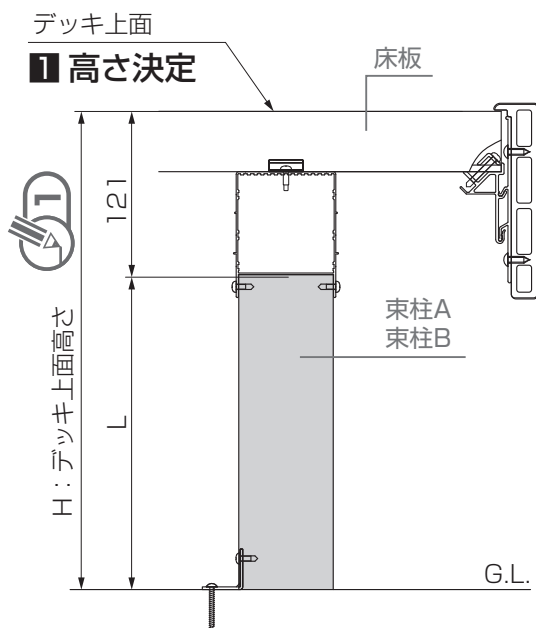
●束石寸法表

束石サイズ	W	H1	埋残し(H2)	X	重量
200×H200	200	200	50mm以下	300	18kg以上
200×H180	200	180	50mm以下	300	16kg以上
190×H190	190	190	50mm以下	290	15kg以上
300×H100	300	100	全埋込み	400	20kg以上

3 束柱の設置（束柱施工）

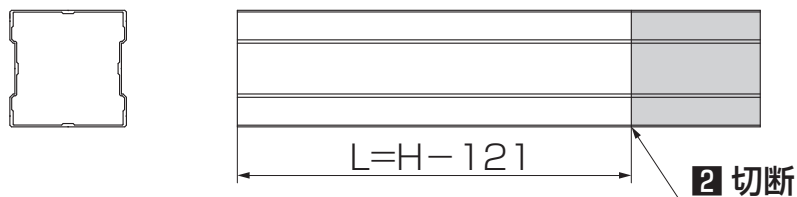
3-1 束柱の切断

①: H寸法(デッキ上面高さ)を決定

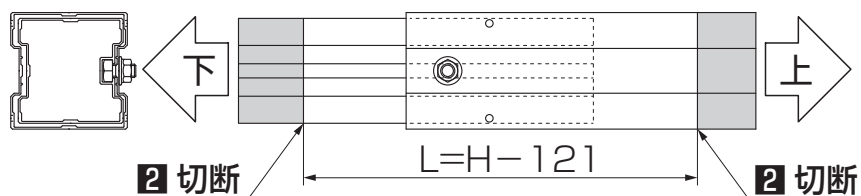


②: 束柱を切断

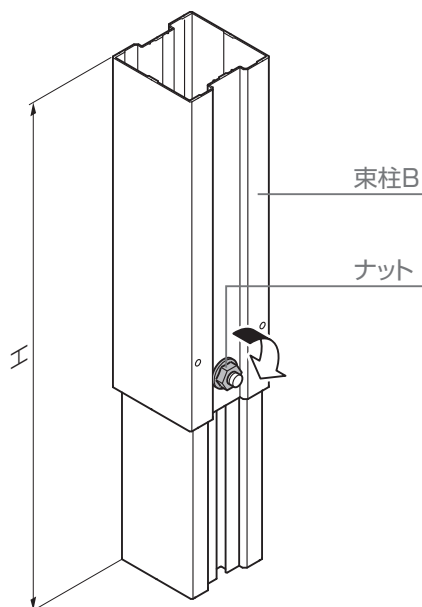
▼ 束柱Aの場合 ▼



▼ 束柱Bの場合 ▼



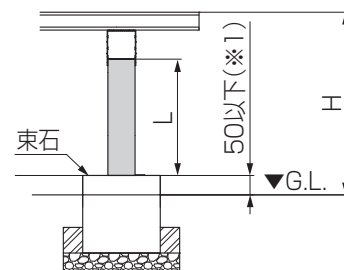
③: 仮締め ※束柱Bの場合の作業です。



お願い

▼ 束柱をG.L.より出す場合 ▼

● 束石の高さ(※1)を考慮して切断してください。



補足 ①

● H(デッキ上面高さ)は最大550mm(ロング1000mm)、最小170mm(束柱Aの場合)です。

補足

▼ 束柱Bの場合 ▼

● 高さ調整式で、調整寸法は最大177mmです。

● 切断は束柱下部、束柱上部を同寸法切断してください。

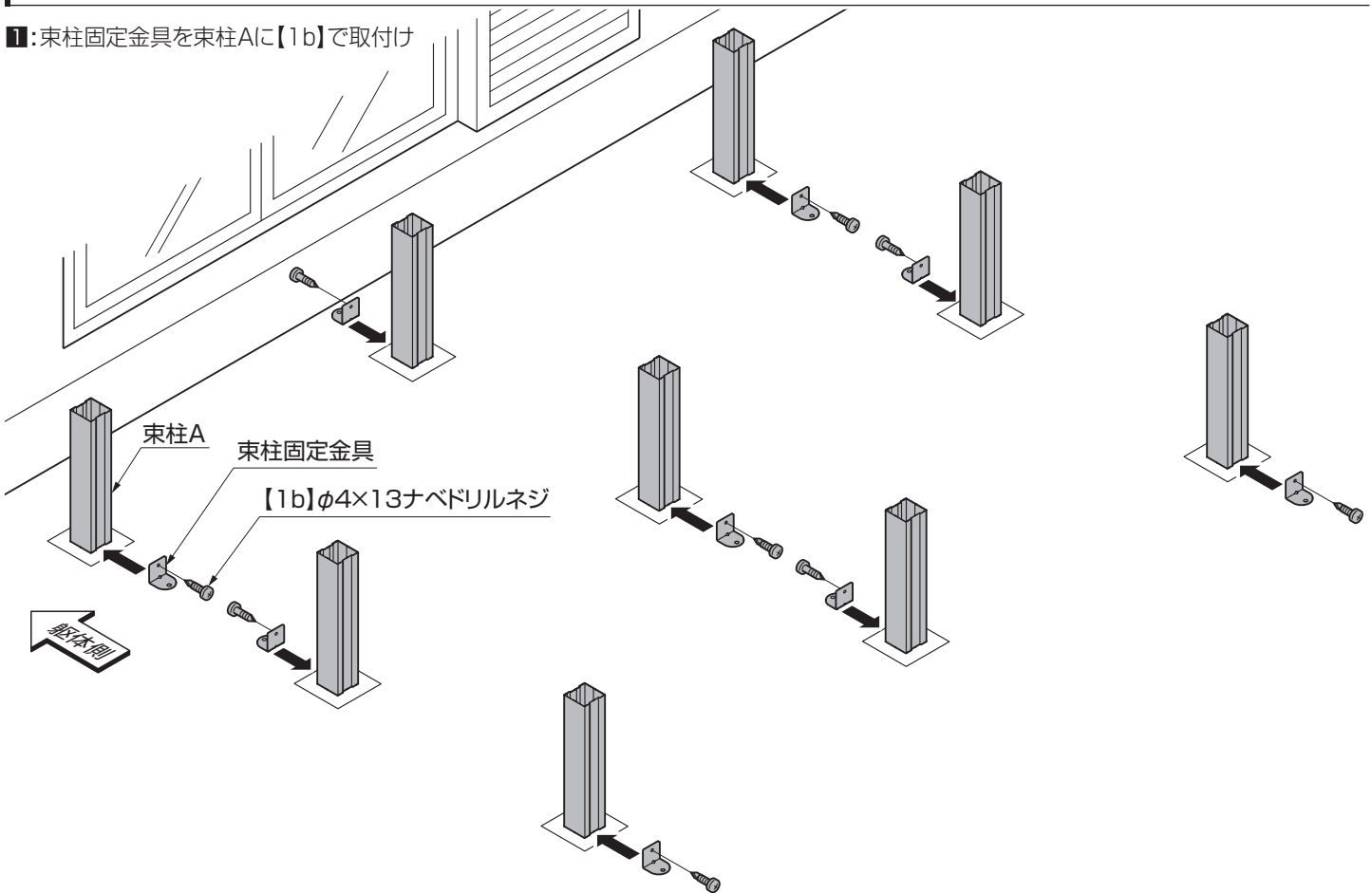
① 束柱Bのナットを、H寸法で仮締めしてください。

3 束柱の設置（束柱施工）

3-2 束柱固定金具の取付け

3-2-1 束柱Aの場合

❶: 束柱固定金具を束柱Aに【1b】で取付け



❷: 前面・両側面に水糸を引き寸法出し

お願い

▼ ローデッキやR施工など
束柱が密集する場合 ▼

- 束柱を束石の中心に設置する必要はありません。

お願い

- 「1 基本寸法と各部名称」
「1-3 床板縦張り基本寸法」
「1-4 床板横張り基本寸法」を参照してください。

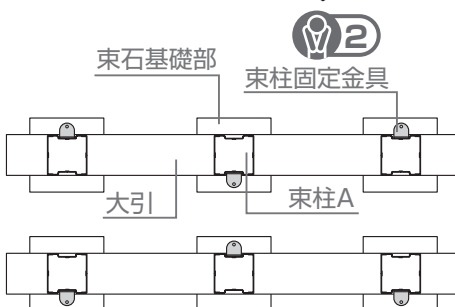
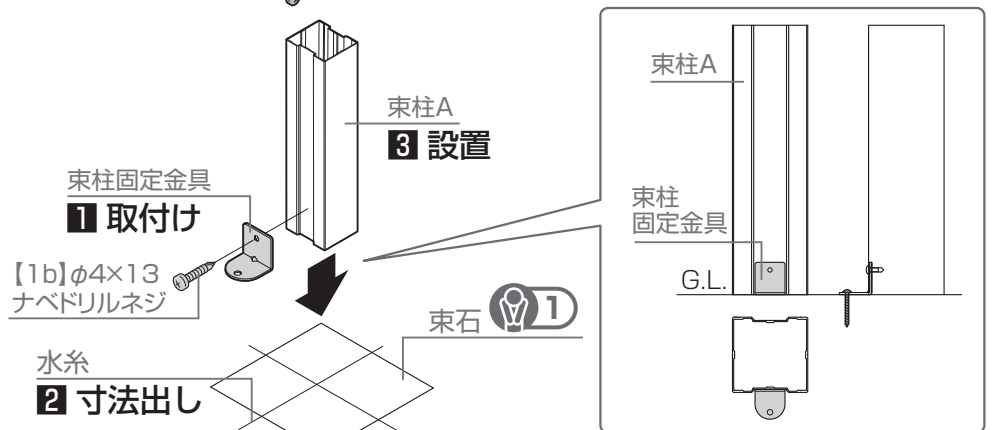
❸: 束柱Aを、束石または基礎部に設置

お願い 1

- 束石の水平を確認してください。

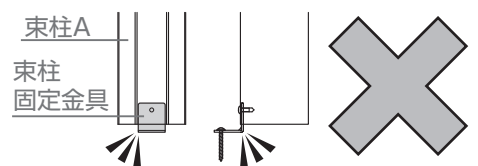
お願い 2

- 束柱固定金具は、隣り合う束柱に対して交互に取付けてください。（右図参照）
※土間コンクリートの場合も同様に設置してください。



お願い

- 束柱固定金具の底面が束柱Aの下面より下にならないように取付けてください。



チェック

束柱固定金具の取付け向き確認

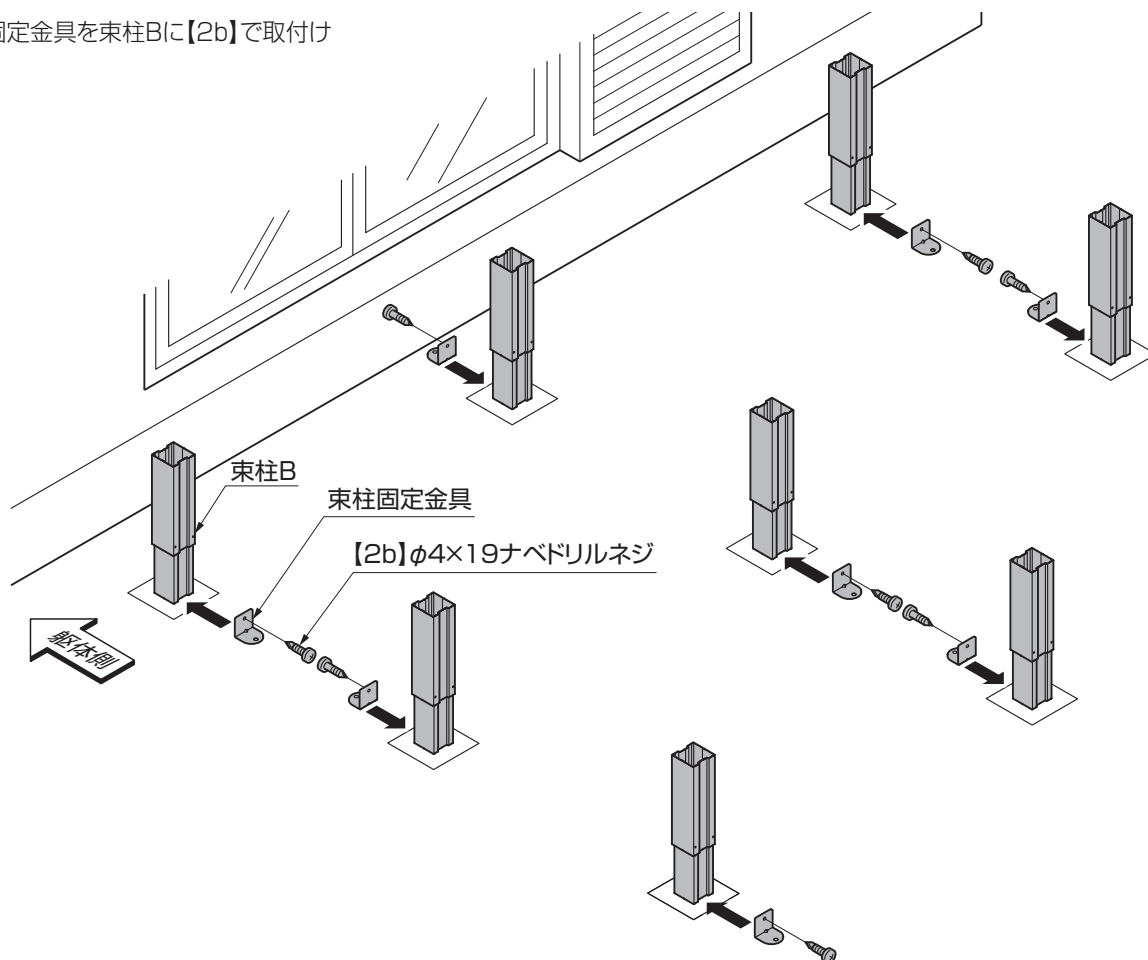
- 束柱固定金具は隣り合う束柱に対して交互に取付けられていますか？上図参照して確認してください。

3 束柱の設置（束柱施工）

3-2 束柱固定金具の取付け

3-2-2 束柱Bの場合

1: 束柱固定金具を束柱Bに【2b】で取付け



2: 前面・両側面に水系を引き寸法出し

お願い

▼ ローデッキやR施工など
束柱が密集する場合 ▼

- 束柱を束石の中心に設置する必要はありません。

お願い

- 「1 基本寸法と各部名称」
「1-3 床板縦張り基本寸法」
「1-4 床板横張り基本寸法」を参照してください。

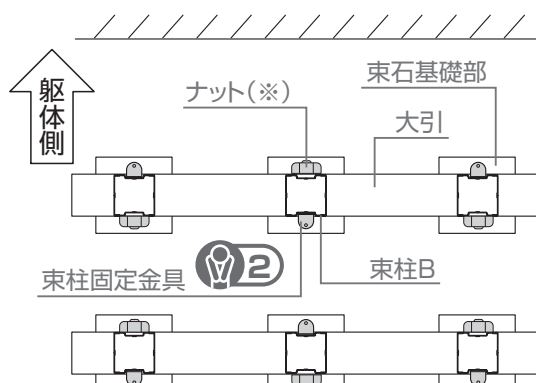
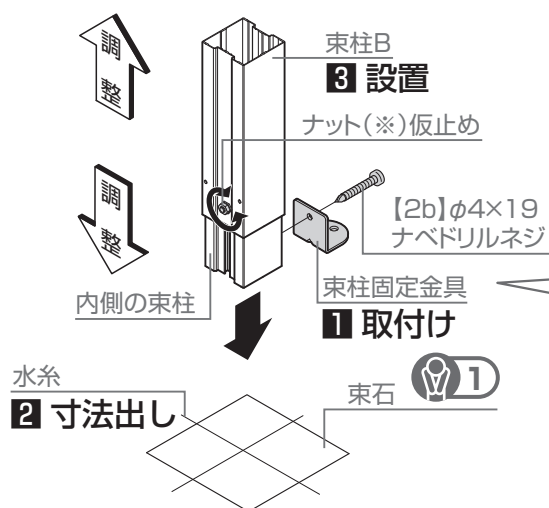
3: 束柱Bを、束石または基礎部に設置

お願い 1

- 束石の水平を確認してください。

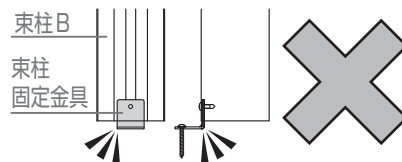
お願い 2

- 束柱Bはナットを緩め、内側の束柱をスライドさせて表へ出し、ナット(※)を仮締めして、内側の束柱が下になるように取付けてください。
- 束柱固定金具は、隣り合う束柱に対して交互に取付けてください。(右図参照)
※土間コンクリートの場合も同様に設置してください。



お願い

- 束柱固定金具の底面が束柱Bの下面より下にならないように取付けてください。



4 大引の取付け

4-1 束柱施工の場合

4-1-3 束柱の固定

お願い

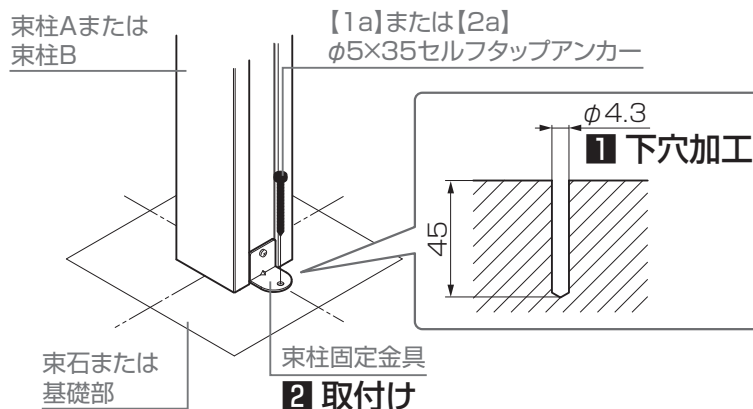
▼ 根がらみを取付ける場合 ▼

- 束柱の束石、基礎部への固定は根がらみを取付けた後に行ってください。

- 1: 束石または基礎部にφ4.3で深さ45mmの下穴加工
- 2: 束柱固定金具を束石、基礎部に【1a】または【2a】で取付け

お願い

- φ4.3下穴は正確にあけて残ったカスは充分清掃してください。
- 束柱と束石の固定は、束石の水平・直角等を確認後に行ってください。



4-2 土間施工の場合

4-2-1 大引スパーサーの取付け

- 1: 前面・両側面に水糸を引き寸法出し

お願い

● 「1 基本寸法と各部名称」

1-3 床板縦張り基本寸法

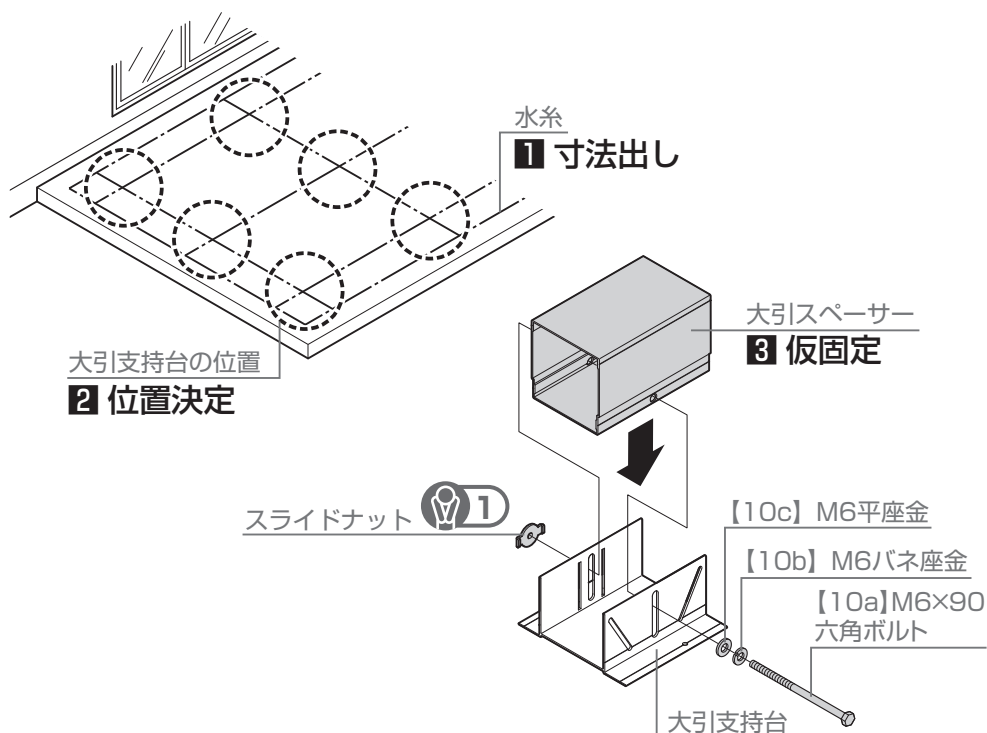
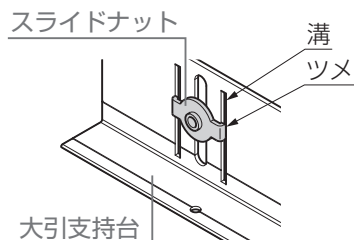
1-4 床板横張り基本寸法」を参照してください。

- 2: 基礎石の位置を決定

- 3: 大引スパーサーを大引支持台に【10a】【10b】【10c】とスライドナットで仮固定

お願い 1

- スライドナットのツメを溝にはめて確実に締め付けてください。

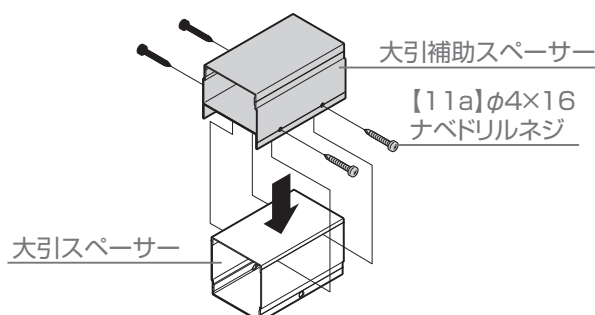


お願い

▼ 大引補助スパーサーを取付ける場合 ▼

- 大引補助スパーサーを大引スパーサーに【11a】で取付けてください。

	デッキ高さ
補助スパーサーなし	200~240
1個	247~287



4 大引の取付け

4-2 土間施工の場合

4-2-1 大引スパーサーの取付け

- 4: 大引を大引スパーサーまたは大引補助スパーサーに【10e】で取付け
- 5: 大引の高さを調整し【10a】を本締め
- 6: 大引支持台と大引スパーサーを【10e】で固定
- 7: 土間に、 $\phi 4.3$ で深さ45mmの下穴加工

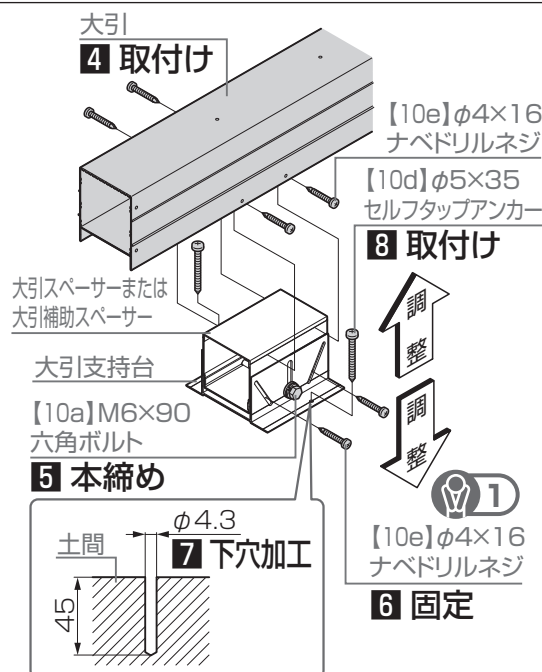
お願い

- $\phi 4.3$ 下穴は正確にあけて残ったカスは充分清掃してください。

- 8: 大引支持台を土間に【10d】で取付け

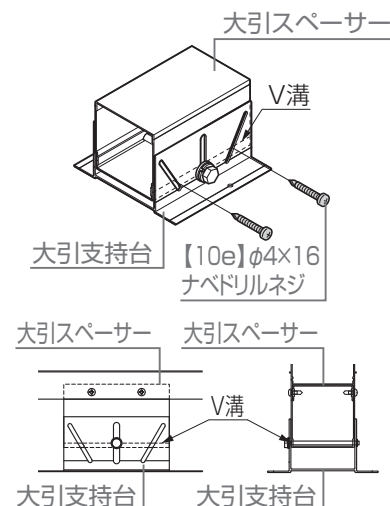
お願い

- 大引を連結する際は、「**4-1 束柱施工の場合**
4-1-2 大引の連結(連結する場合)」を参照してください。



お願い 1

- 【10e】は大引スパーサーのV溝に固定してください。



5 根がらみの取付け オプション

お願い

- ▼ 多段幕板、メッシュ囲いを施工する場合 ▼

- 根がらみを束柱の内側に取付けるか、多段幕板、メッシュ囲いの施工の前に根がらみを取外してください。

- 1: 大引のピッチにあわせて根がらみに $\phi 4.5$ の穴加工

- 2: 根がらみを端部の穴から15mmの位置で切断

- 3: 根がらみを束柱に【8a】または【9a】で取付け

お願い

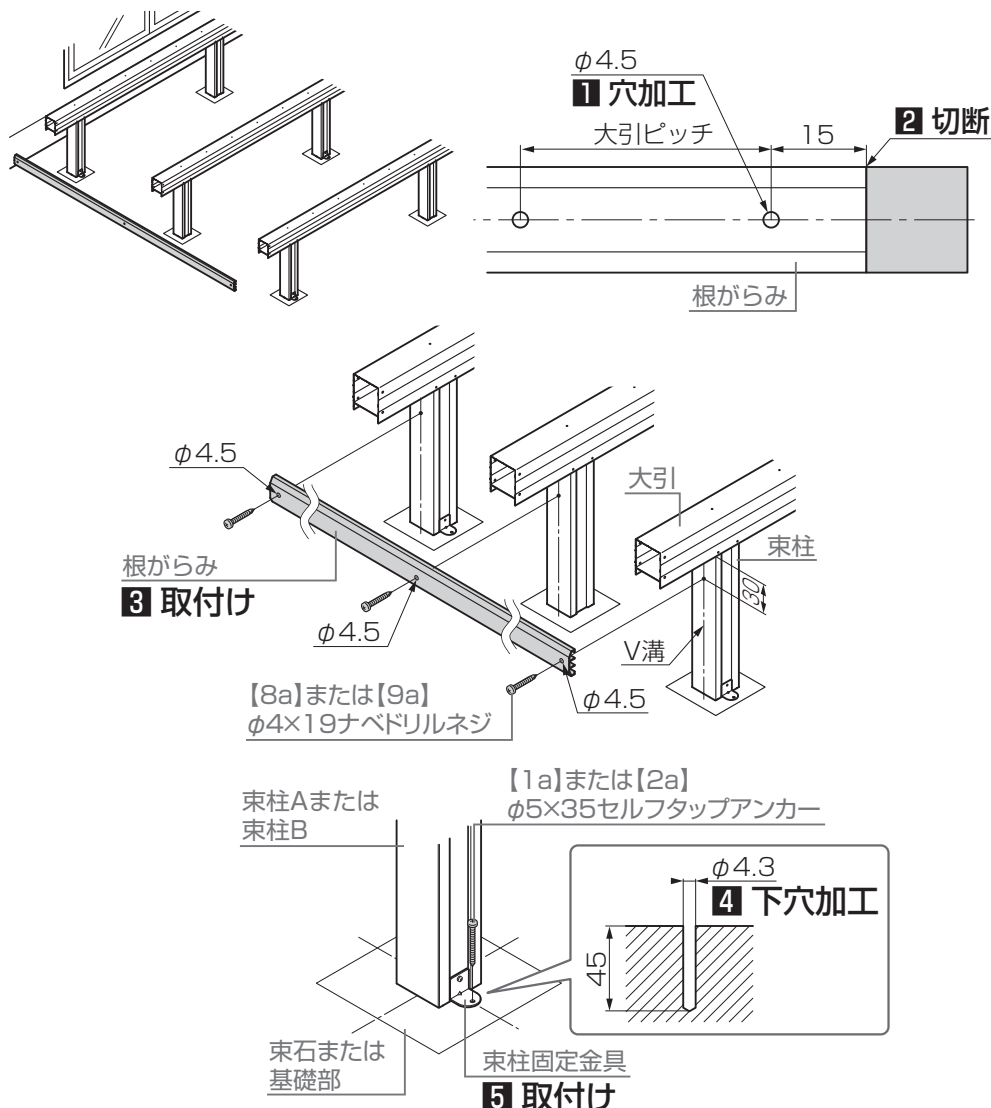
- 根がらみは束柱の上端から30mmの位置のV溝に取付けてください。

- 4: 束石または基礎部に $\phi 4.3$ で深さ45mmの下穴加工

- 5: 束柱固定金具を束石、または基礎部に【1a】または【2a】で取付け

お願い

- $\phi 4.3$ 下穴は正確にあけて残ったカスは充分清掃してください。
- 束柱と束石の固定は、束石の水平・直角等を確認後に行ってください。



6 筋交いの取付け（ロング束柱施工）

6-1 筋交いの施工例

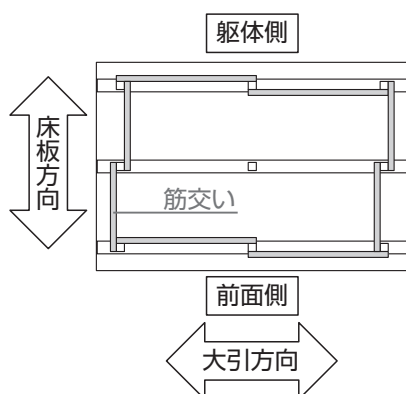
お願い

- 筋交いは、ロング束柱の内側・外側交互に取付けてください。
- 横張りの場合は、図を横にして読み替えてください。

▼ 出幅4000mm未満、 間口4000mm未満の場合 ▼

お願い

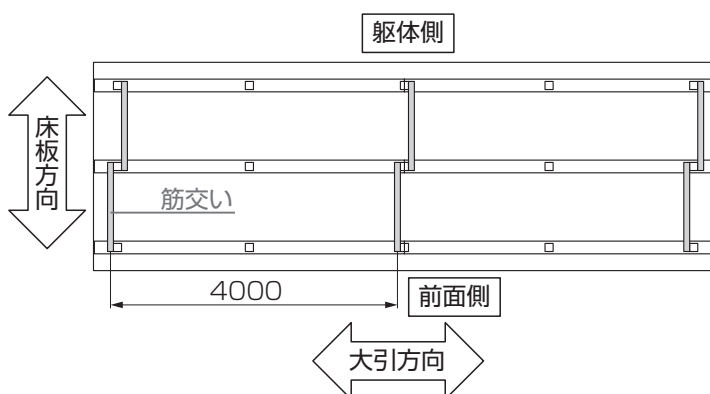
- 床板方向は、両側面に筋交いを配置してください。
- 大引方向は、前面側と躯体側に筋交いを配置してください。



▼ 出幅4000mm未満、 間口4000mm以上の場合 ▼

お願い

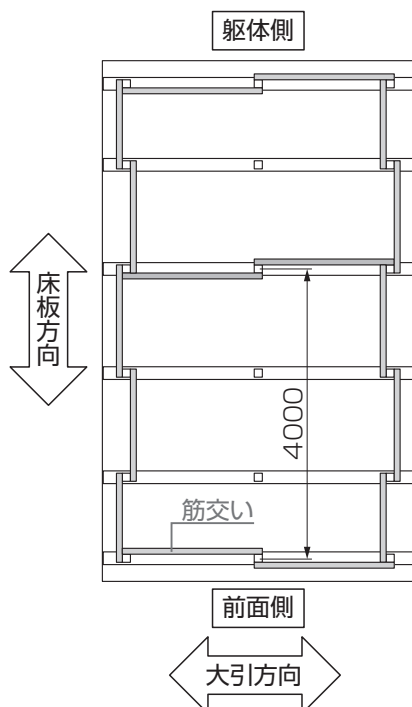
- 床板方向は、両側面と間口4000mmにつき1筋の筋交いを配置してください。



▼ 出幅4000mm以上、 間口4000mm未満の場合 ▼

お願い

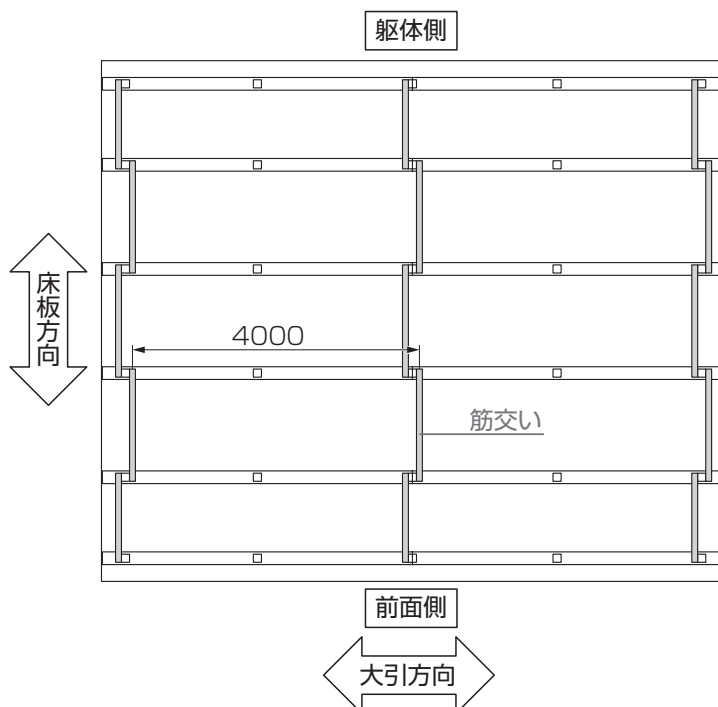
- 大引方向は、前面側、躯体側ならびに出幅4000mmにつき1筋配置してください。
- 床板方向は、両側面側に配置してください。



▼ 出幅4000mm以上、 間口4000mm以上の場合 ▼

お願い

- 床板方向は、両側面側と間口4000mmにつき1筋配置してください。



6 筋交いの取付け（ロング束柱施工）

6-2 筋交いの取付け

1: 筋交いの取付位置を確認

2: 筋交いを切断

お願い

- 筋交い端部はロング束柱からはみ出ないようにしてください。

3: 筋交いキャップを筋交いの両端に押し込んで取付け

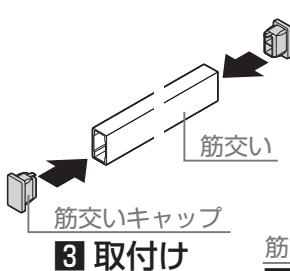
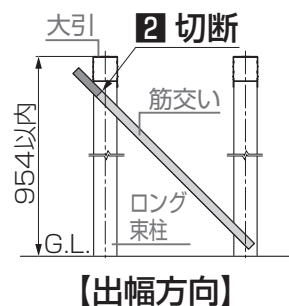
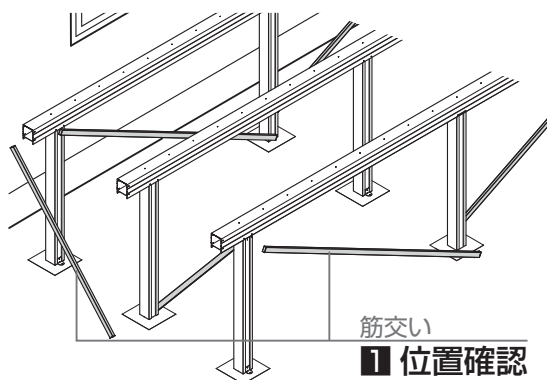
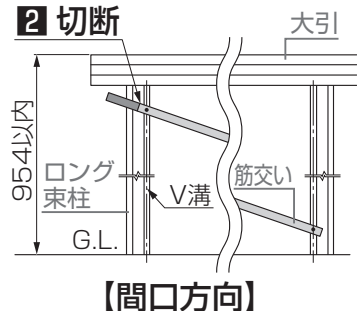
4: 筋交いにφ4.5の貫通穴加工

5: 筋交いをロング束柱に【7a】で取付け

お願い

- ロング束柱 内-内のV溝センターにネジ止めしてください。段落ち部へのネジ止めはしないでください。
- 筋交い端部はロング束柱からはみ出ないようにしてください。

2 切断



5 取付け

【7a】φ4×25
ナベドリルネジ

φ4.5
4 貫通穴加工



φ4.5
4 貫通穴加工
【7a】φ4×25
ナベドリルネジ

7 床板の施工

お願い

▼ T-12を超えるフェンス柱やガーデンルームの柱を取付ける場合 ▼

- 床板補強材の取付けが必要となります。

床板等を取付ける前に、「11 床板補強材の取付け」、および各取付説明書を参照して施工してください。

▼ 躯体付けアングルを取付ける場合 ▼

- 床板等を取付ける前に、「12 オプション 12-2 躯体付けアングルの施工 オプション」を参照してください。

▼ 補助根太を取付ける場合 ▼

- 床板等を取付ける前に、「10 隅切り・R 施工・ステップデッキの施工 10-2 補助根太の取付け オプション」を参照してください。

▼ 幕板を大引固定にする場合 ▼

- 床板等を取付ける前に、「8 幕板Aの施工 8-2 補助根太の取付け大引固定の場合、9 幕板Bの施工 9-2 大引固定の場合」を参照してください。

7-1 側面幕板取付材

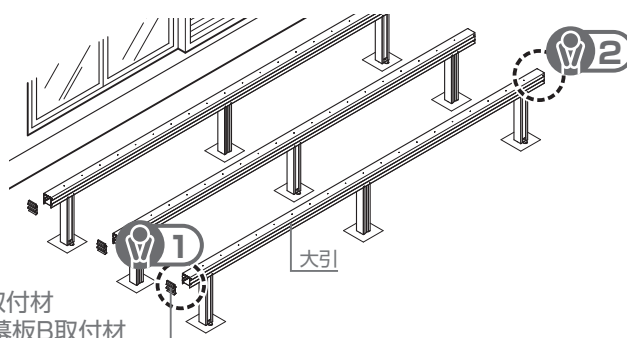
※側面幕板取付材には種類があります。
取付ける幕板に合った側面幕板取付材を取付けてください。

お願い 1

- 片側の側面幕板A取付材または側面幕板B取付材のみを取付けてください。

お願い 2

- 反対側の側面幕板A取付材または側面幕板B取付材は、床板の施工後に取付けてください。

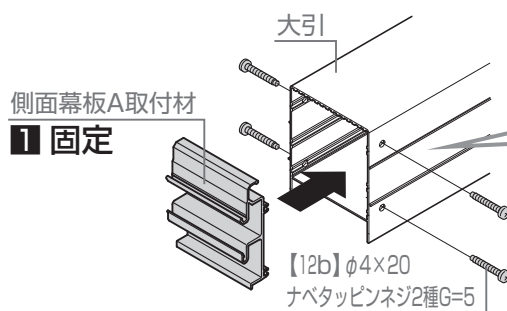


7 床板の施工

7-1 側面幕板取付材

7-1-1 幕板Aの場合

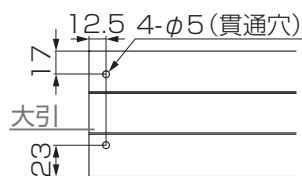
1: 側面幕板A取付材を大引に【12b】で固定



お願い

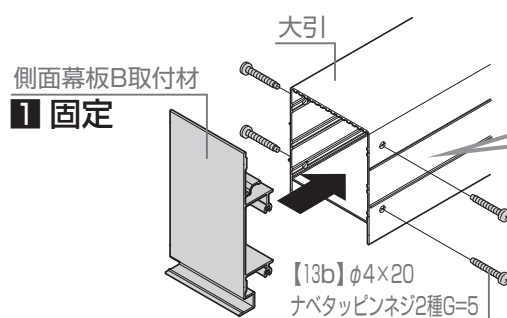
▼ 大引を切断した場合 ▼

●φ5の穴加工をしてください。



7-1-2 幕板Bの場合

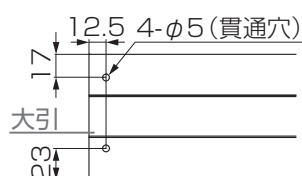
1: 側面幕板B取付材を大引に【13b】で固定



お願い

▼ 大引を切断した場合 ▼

●φ5の穴加工をしてください。

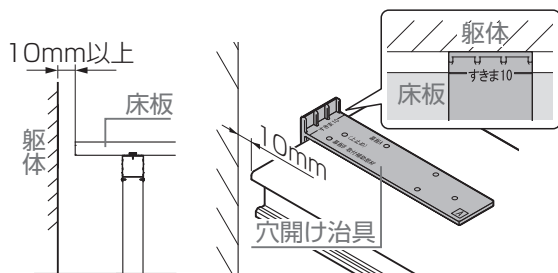


7-2 床板の取付け ※図は側面幕板A取付材を示します。

7-2-1 床板取付け前の確認

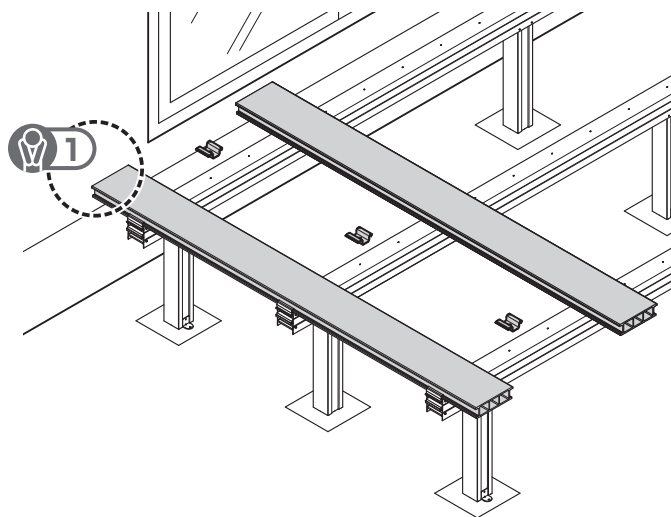
お願い 1

●床板と躯体のすき間に穴開け治具を当て、すき間が10mm以上あることを確認してください。



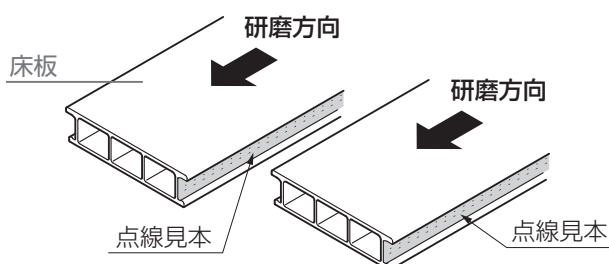
通常納まり：10mm以上

躯体側隙間塞ぎ材 **オプション** 使用時：10～14mm



お願い

- 床板表面は研磨加工が施されており、研磨方向によって色調が異なって見える場合があります。施工の際は、床板の加工方向を統一してから固定してください。
- 側面の点線見本のある加工面についても、研磨方向を揃えて施工するようご注意ください。

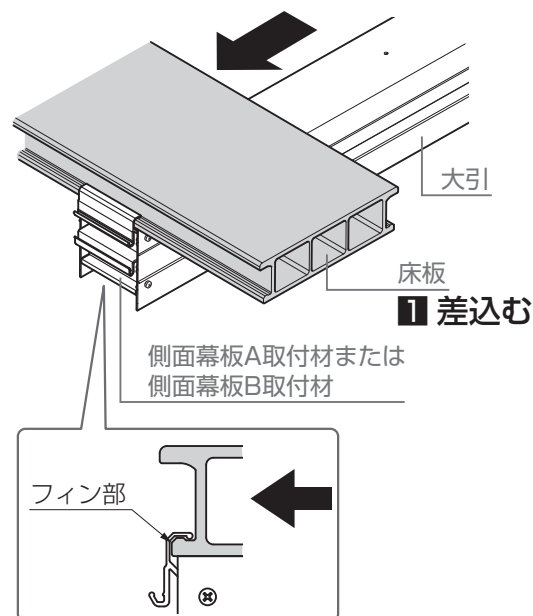
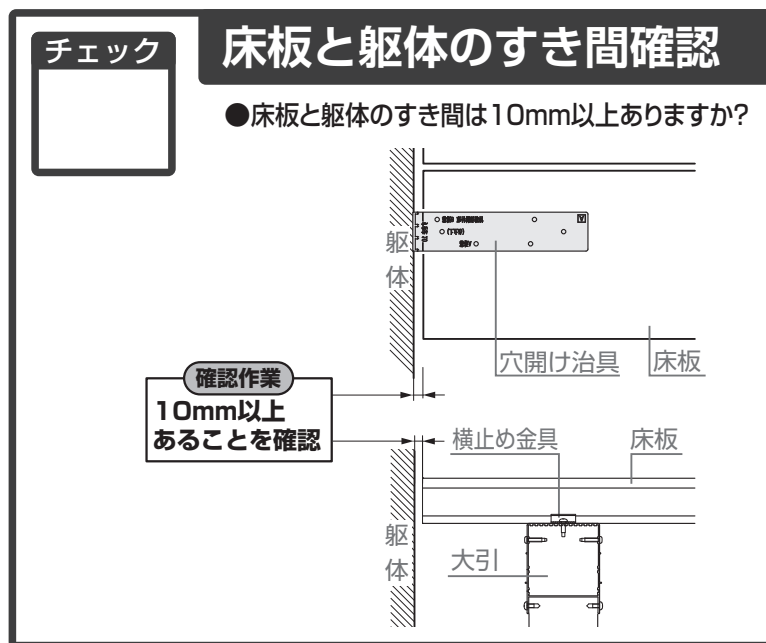


7 床板の施工

7-2 床板の取付け ※図は側面幕板A取付材を示します。

7-2-2 床板1枚目の固定

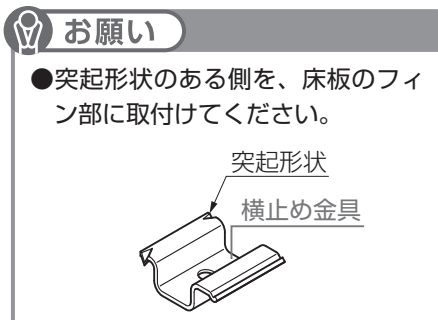
①: 床板を大引の側面幕板A取付材、または側面幕板B取付材に差込む



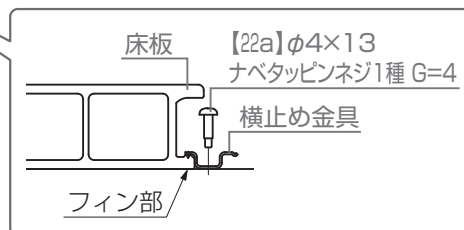
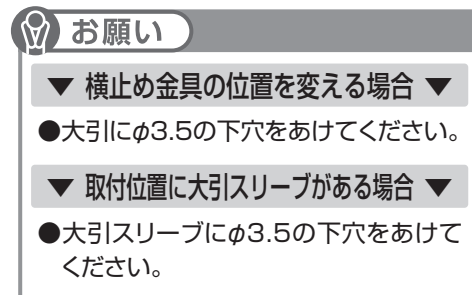
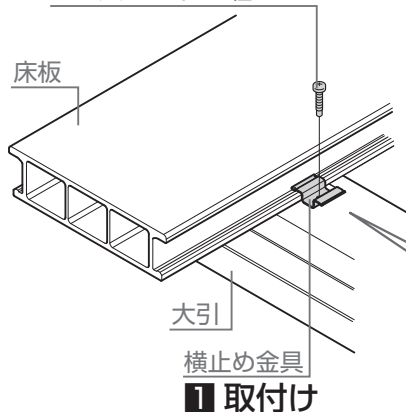
7-2 床板の取付け

7-2-3 床板2枚目以降の固定

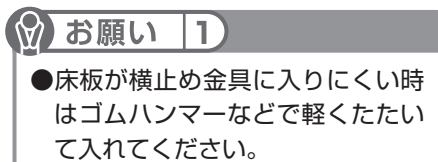
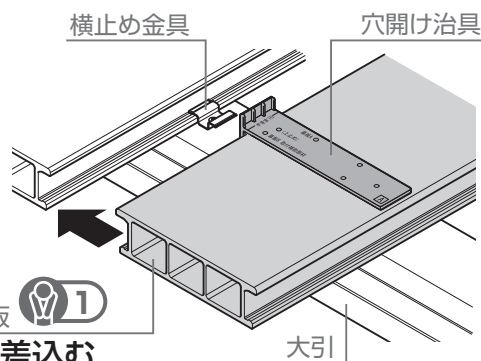
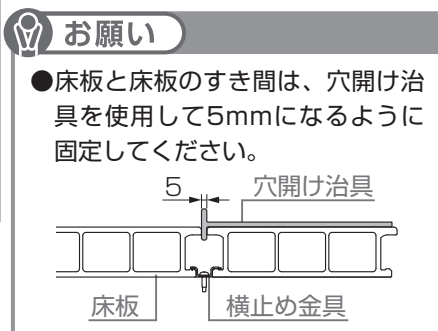
①: 横止め金具を床板のフィン部に乗せて、下穴の位置に【22a】で取付け



【22a】φ4×13
ナベタッピンネジ1種 G=4



②: 床板を横止め金具に差込む



7-2 床板の取付け

7-2-4 最後に取付けた床板の固定

- ❶: 側面幕板A取付材または側面幕板B取付材を大引に【12b】または【13b】で取付け

お願い

▼ 大引固定する場合 ▼

- 【12b】または【13b】は2本止めてください。

- ❷: 最後に取付けた床板の側面側にφ3の下穴加工

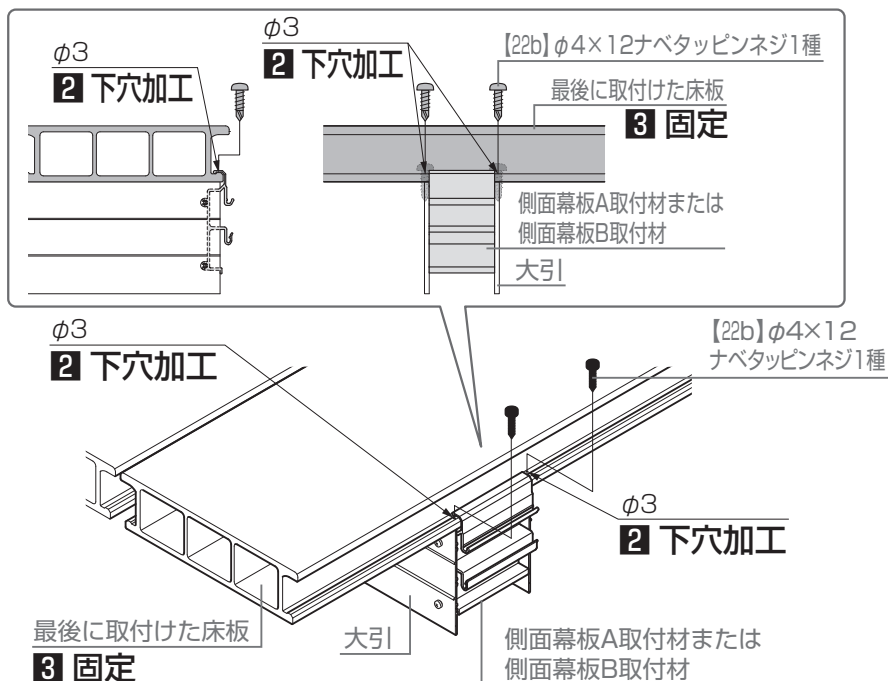
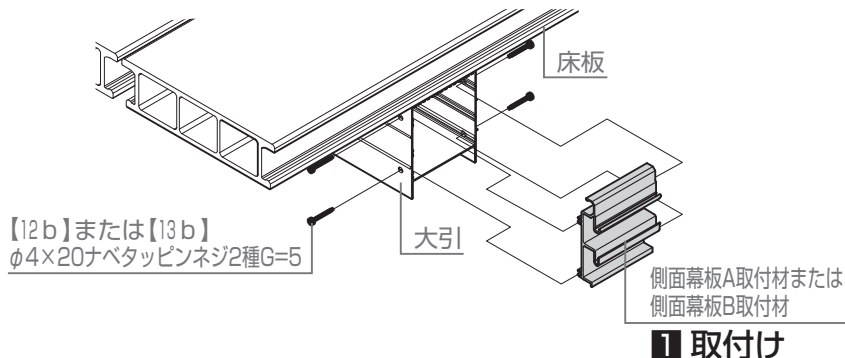
お願い

- 側面幕板A取付材または側面幕板B取付材を挟むように下穴加工をしてください。

- ❸: 床板を【22b】で固定

お願い

- 側面幕板A取付材または側面幕板B取付材に【22b】のネジ頭が載るように固定してください。
- ネジを取付けないと床板が動くおそれがあります。



7-3 床板を縦連結する場合

注意

- 床板の連結は必ず大引の上で行ってください。連結部に大引が無いと床板の連結部が支えられず、床板が破損するおそれがあります。
- 床板を連結する場合は、必ず千鳥張りにしてください。千鳥張りにしないと、床板の連結部に荷重が集中して、床板が反り・変形してつまづくおそれがあります。

補足

▼ より確実な固定が必要な場合 ▼

- 横止め金具は並べて2個まで大引に取付けることができます。

チェック

連結部のすき間と面取りの確認

- 床板と床板のすき間は、穴開け治具を使用して5mmになるように固定しましたか？
- 連結部の床板小口は軽く(1mm程度)面取りをしましたか？

確認作業

連結部の床板小口の面取りを確認

面取り(1mm程度)

床板と床板のすき間が5mmある事を確認

穴開け治具

横止め金具

大引

床板

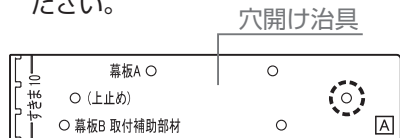
7-4 躯体が入隅の場合

7-4-1 床板の上止め

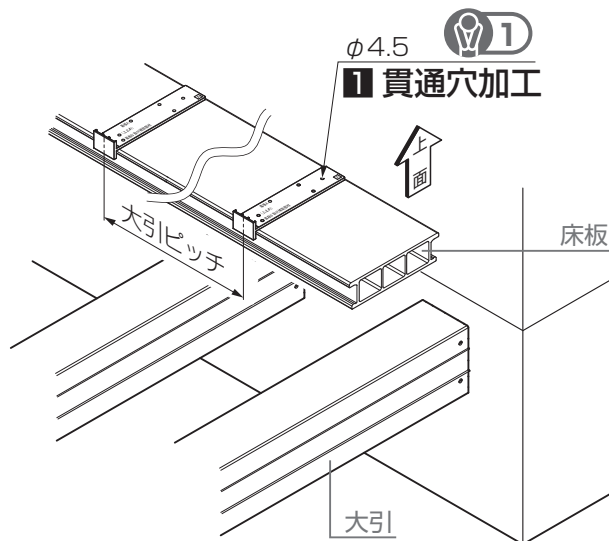
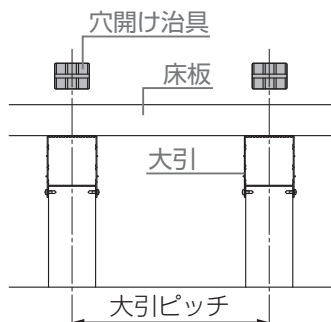
1: 床板にφ4.5の貫通穴加工

お願い

- 穴開け治具の○印の穴を使ってください。

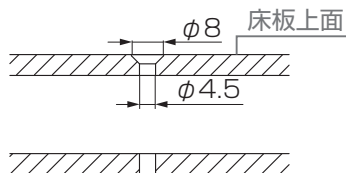


- 穴は大引の中心箇所にあけてください。



お願い 1

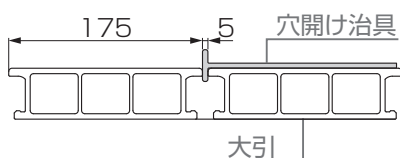
- 床板上面のφ4.5穴にφ8サラ取り加工をしてください。



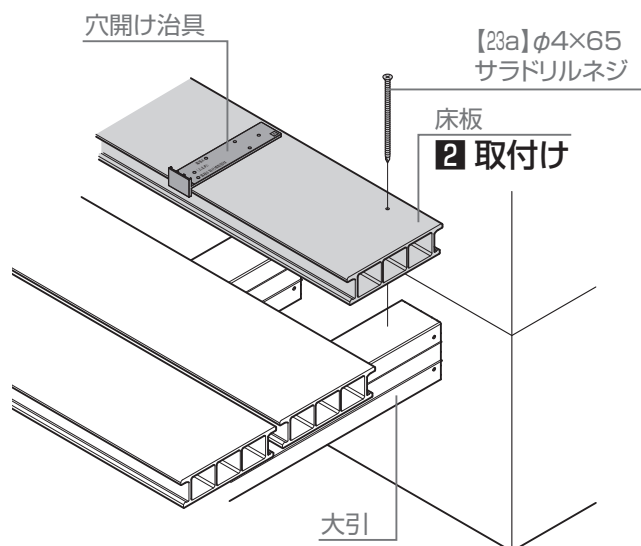
2: 床板を大引に【23a】で取付け

お願い

- 電動ドライバー等での締め付け過ぎに注意してください。締め込み過ぎると床板が割れることがあります。
- 穴開け治具を使って、床板と床板のすき間を5mmにしてください。



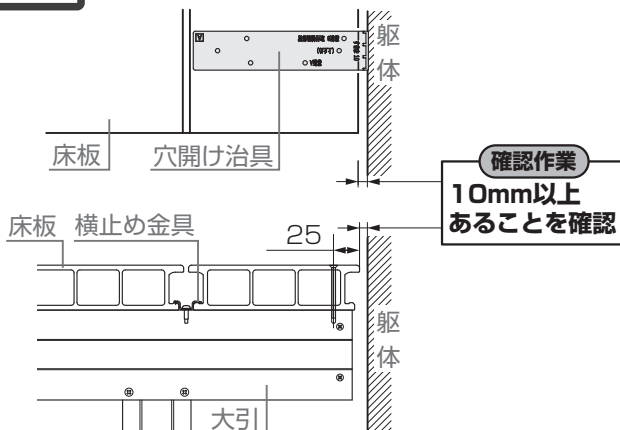
- 床板と躯体のすき間に穴開け治具を当て、すき間が10mm以上あることを確認してください。



チェック

床板と躯体のすき間確認

- 床板と躯体のすき間は10mm以上ありますか？



確認作業

10mm以上
あることを確認

7-4 躯体が入隅の場合

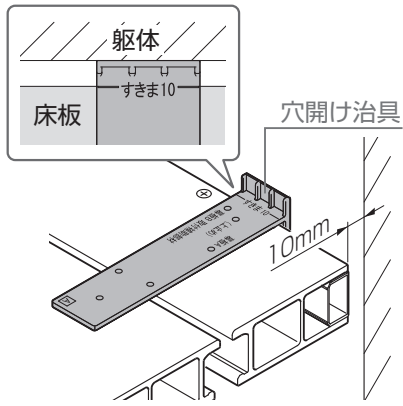
7-4-2 床板を縦切りする場合 ※床板の縦切りをする場合には、必ずこの作業を行ってください。

(1) 床板の取付け

1: 床板を必要な幅に切断加工

お願い

- 床板と躯体のすき間に穴開け治具を当て、すき間が10mmあることを確認してください。



2: 床板縦切りインナー材を床板両端部から-5mmに切断

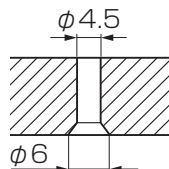
3: 床材にφ4.5の下穴加工

お願い

- 床板の床板縦切りインナー材を固定する位置に加工してください。

お願い 1

- 床板下面のφ4.5貫通穴にφ6サラドリ加工をしてください。



お願い 2

- インナー材は必ず床板小口より5mm短くしてください。

4: 床板縦切りインナー材を床材に【17a】で取付け

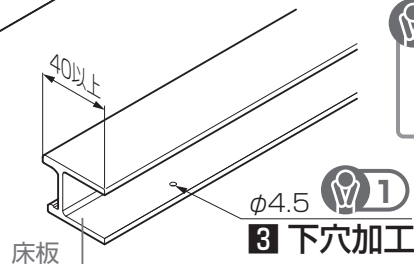
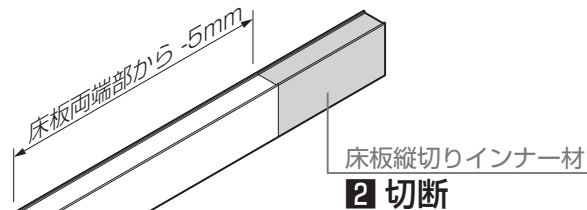
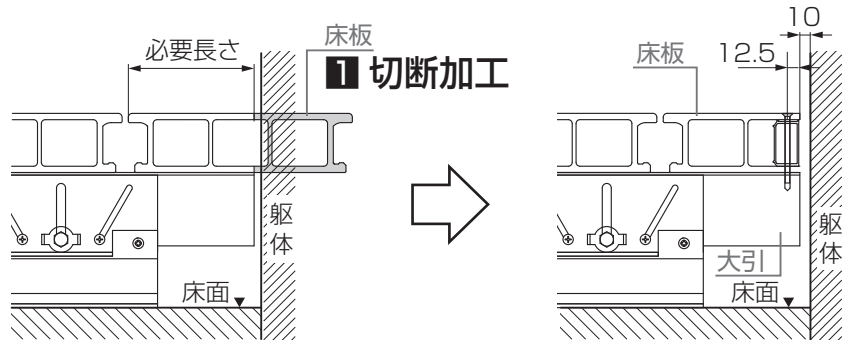
注意

- 床板縦切りインナー材端部と端部ねじとの寸法(※1)は必ず80mmにしてください。床板割れのおそれがあります。

補足 1

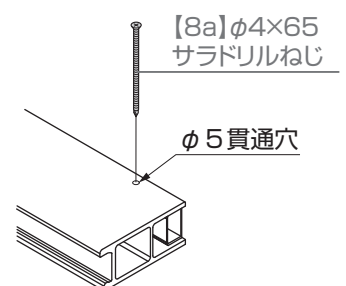
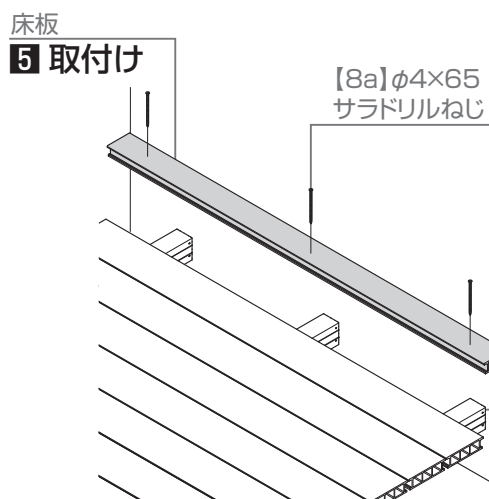
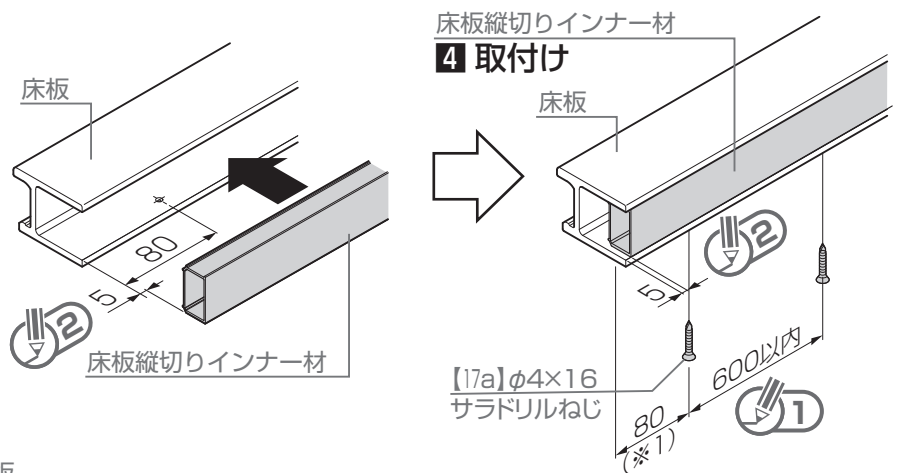
- 【17a】の取付けピッチは600mm以内にしてください。

5: 床板を大引に【8a】で取付け



お願い

- 床板の切断面は面取りをしてください。

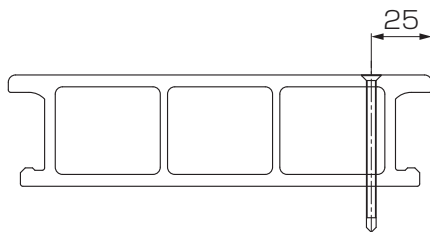


7-4 躯体が入隅の場合

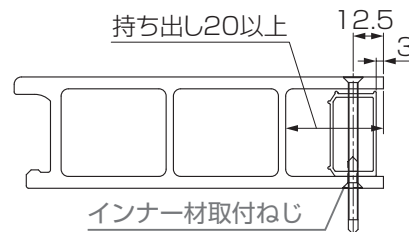
7-4-2 床板を縦切りする場合 ※床板の縦切りをする場合には、必ずこの作業を行ってください。

(2) 床板端部を残した切断の場合の加工

▼ 切詰めしない場合 ▼
インナー材なし



▼ 持ち出しが20mm以上の場合 ▼
インナー材必要

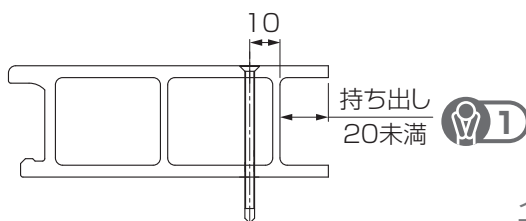


💡 お願い

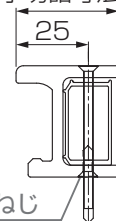
▼ 床板端部以外の切断の場合 ▼

- リブからの持ち出しが20mm以上の場合にインナー材を使用してください。

▼ 持ち出しが20mm未満の場合 ▼
インナー材なし

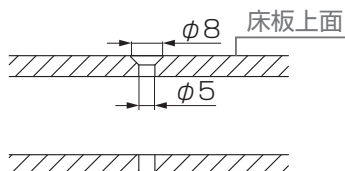


最小切詰寸法: 40



💡 お願い 1

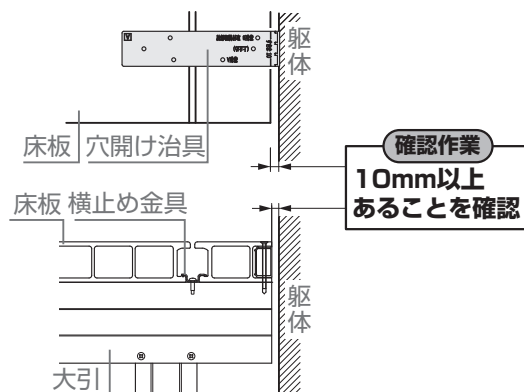
- 床板上面のφ5貫通穴にφ8サラ取り加工をしてください。



チェック

床板と躯体のすき間確認

- 床板と躯体のすき間は10mm以上ありますか？



7-4 躯体が入隅の場合

7-4-2 床板を縦切りする場合

(3) 横止め金具の付け替え オプション

補 足

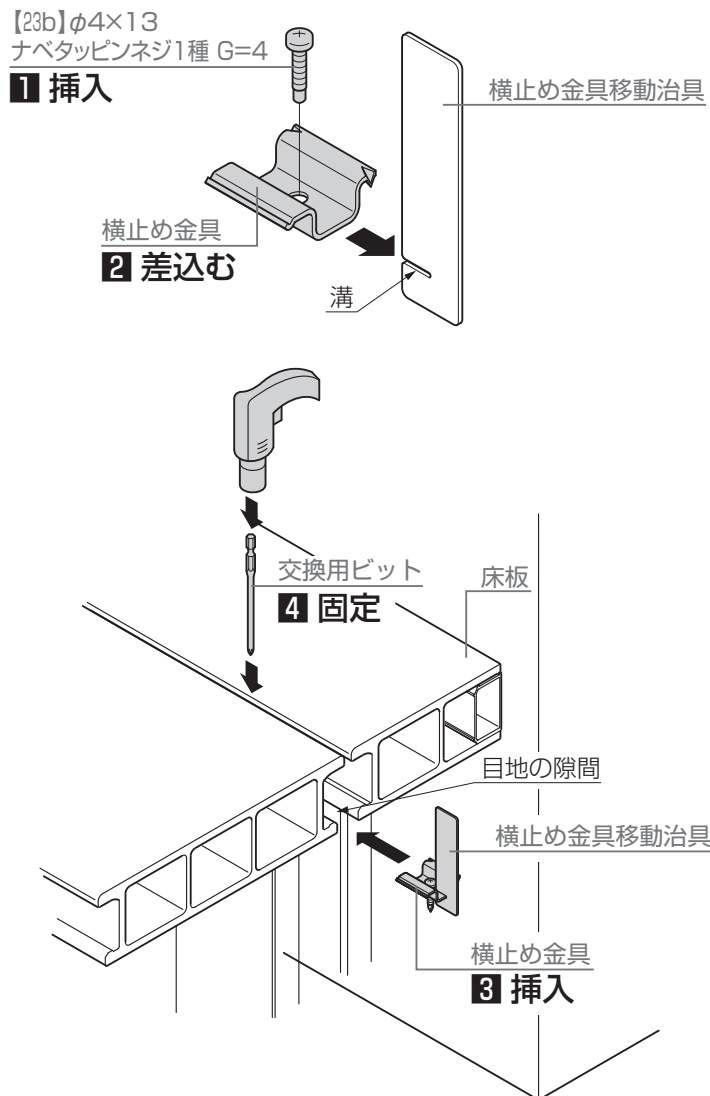
- 床板を施工後に横止め金具を付け替える場合の作業です。

- 1: 横止め金具の穴に【23b】を挿入
- 2: 横止め金具を横止め金具移動治具の溝に差込む

- 3: 横止め金具をデッキ前面の目地の隙間に挿入
- 4: 交換用ビットを目地上部から差込み、横止め金具を大引に固定

お願い

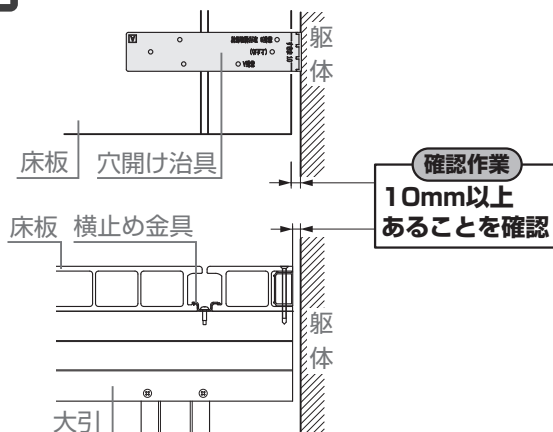
- 床板と躯体のすき間に穴開け治具を当て、すき間が10mm以上あることを確認してください。



チェック

床板と躯体のすき間確認

- 床板と躯体のすき間は10mm以上ありますか？



8 幕板Aの施工

8-1 床板固定の場合

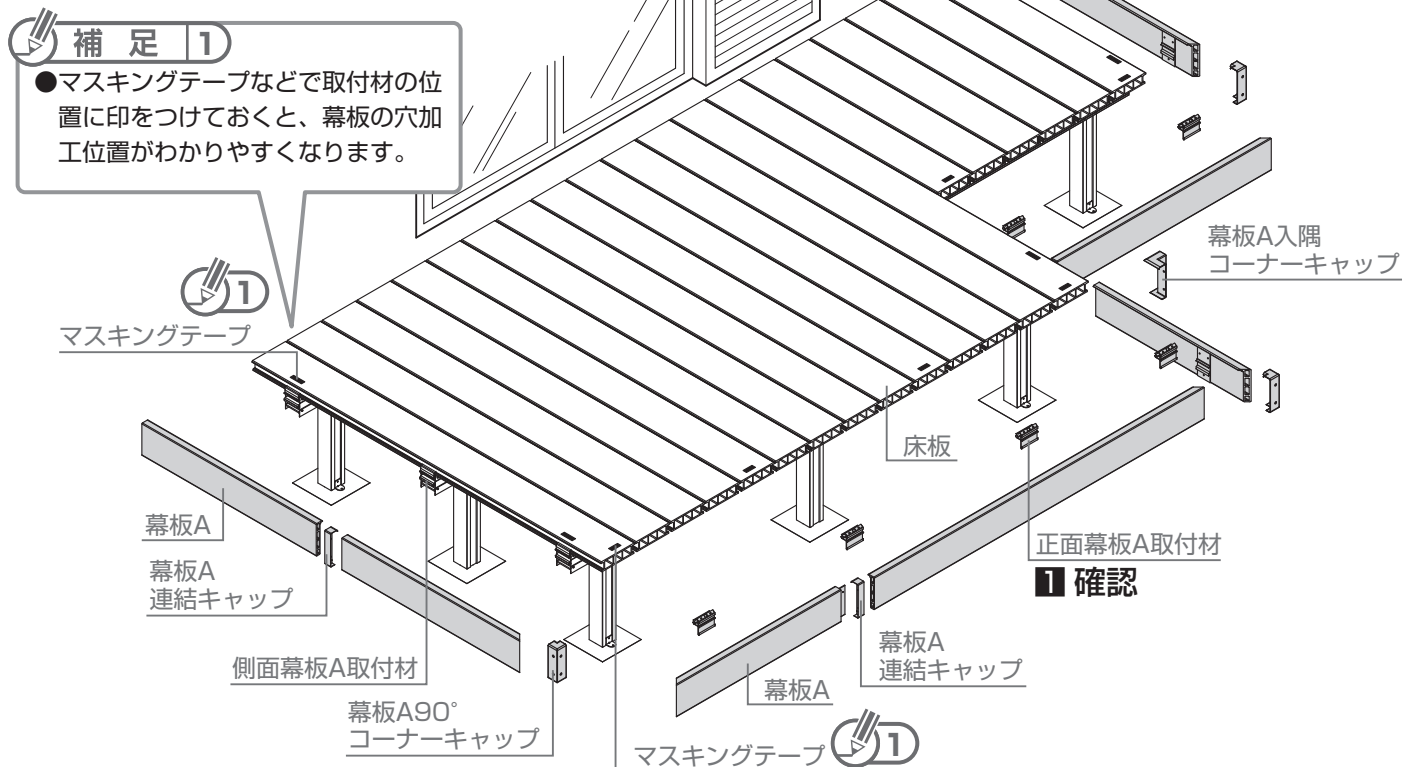
8-1-1 正面幕板A取付材(床板固定用)の取付位置の確認

お願い

▼ デッキ上にフェンスを取付ける場合 ▼

- フェンス取付け後に幕板を固定してください。

1: 正面幕板A取付材(床板固定用)を取付ける位置を確認



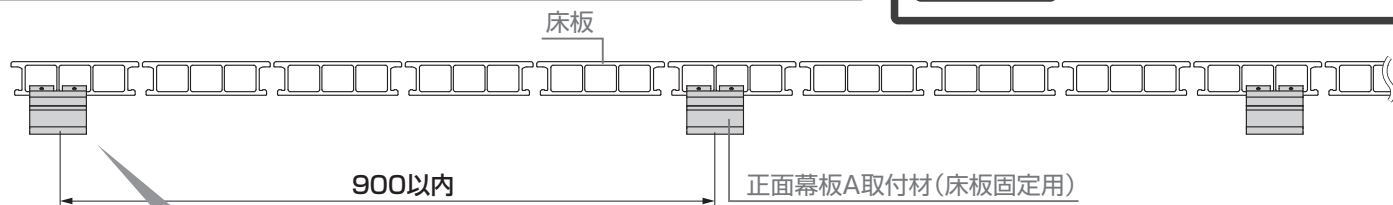
お願い

- 取付けピッチは、900mm以内(床板4枚おきまで)にしてください。
- 正面幕板A取付材(床板固定用)は、幕板の始まりと終わり、および幕板連結部に取付けてください。

チェック

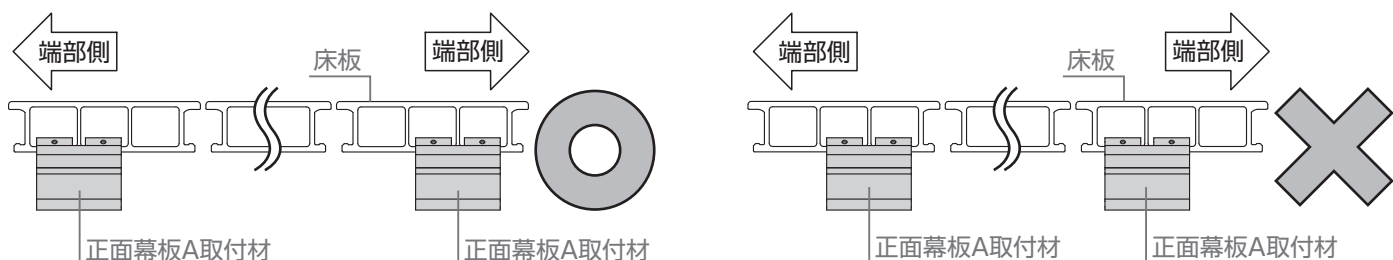
取付けピッチの確認

- 取付けピッチは正しく守られていますか？



お願い

- デッキ両端部に取付ける正面幕板A取付材は、必ず端部側によせて取付けてください。



8 幕板Aの施工

8-1 床板固定の場合

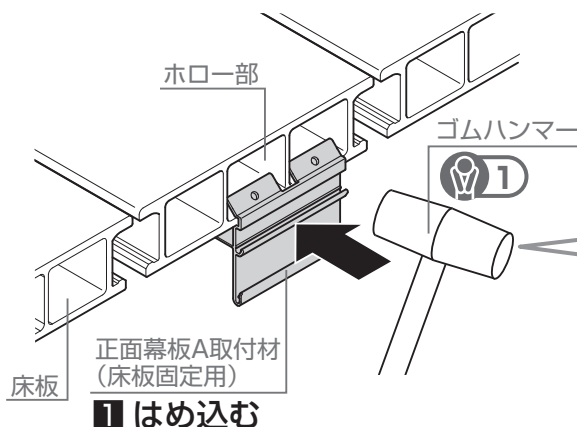
8-1-2 正面幕板A取付材(床板固定用)の取付け

- 1: 正面幕板A取付材(床板固定用)を床板のホロ一部にはめ込む

お願い 1

▼正面幕板A取付材(床板固定用)が入りにくい場合▼

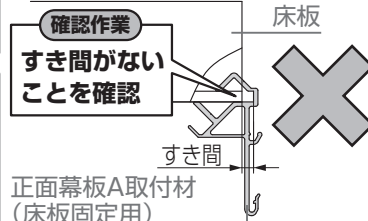
- ゴムハンマーなどで叩いて確実にはめ込んでください。



1 はめ込む

お願い

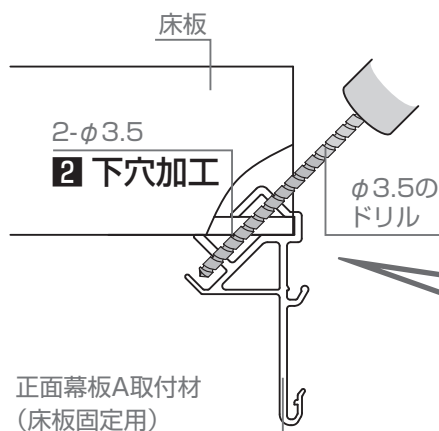
- 正面幕板A取付材(床板固定用)は、床板とのすき間が無いように奥まではめこんでください。



- 2: 正面幕板A取付材(床板固定用)の穴に従って床板下面と正面幕板A取付材(床板固定用)に $\phi 3.5$ の下穴加工

お願い

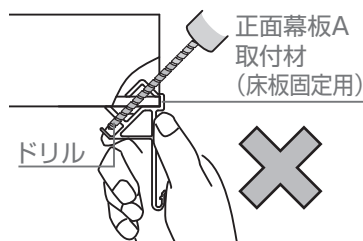
- 正面幕板A取付材(床板固定用)がずれないように押さえながら穴をあけてください。



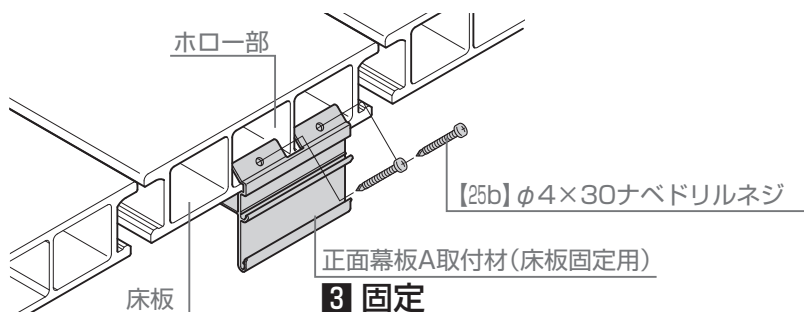
2 下穴加工

注意

- 下穴は、正面幕板A取付材(床板固定用)に貫通させないでください。貫通したドリルで手を傷つけるおそれがあります。



- 3: 正面幕板A取付材(床板固定用)を、床板のホロ一部に【25b】で固定

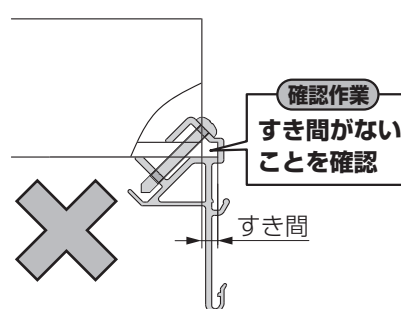
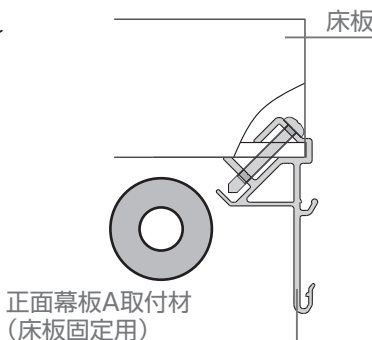
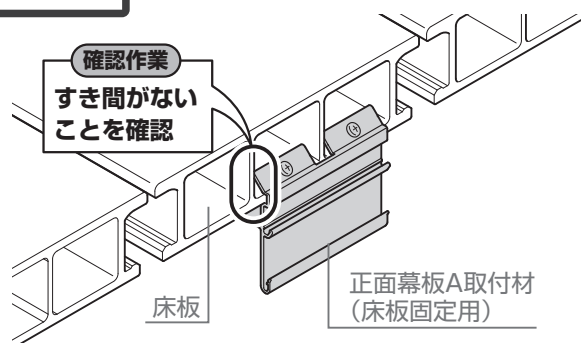


3 固定

チェック

正面幕板A取付材と床板のかん合確認

- 正面幕板A取付材(床板固定用)は床板にすき間なく、はめ込まれていますか？



8 幕板Aの施工

8-1 床板固定の場合

8-1-3 幕板Aの加工

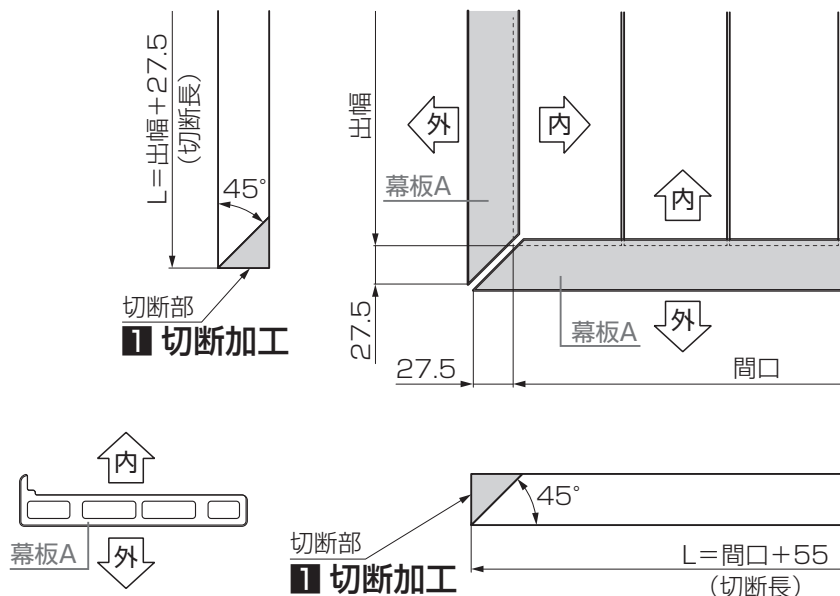
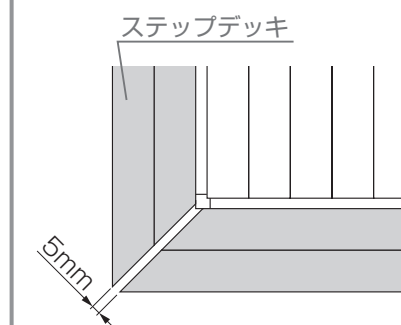
(1) 幕板Aの加工

❶: 幕板Aの出隅端部を、45°に切断加工

ステップデッキの注意

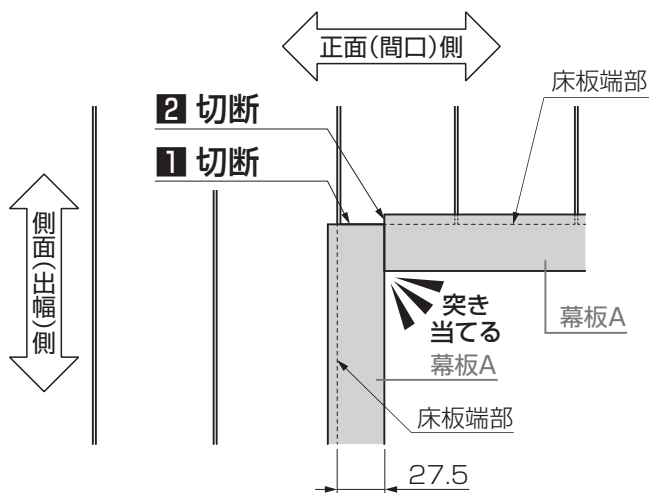
お願い

- ステップデッキの留切部の床板はすき間を5mmあけてください。



(2) 90度コーナー（入隅仕様）の加工

- ❶: 側面側の幕板Aを、床板端部に合わせて切断
- ❷: 正面側の幕板Aを、側面側の幕板Aへ突き当てて切断

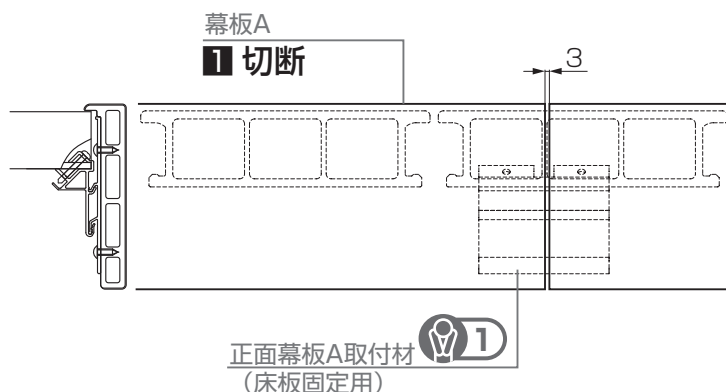


(3) 連結部の加工

❶: 幕板Aの連結部を3mmあけて切断

お願い 1

- 幕板Aの連結は、正面幕板A取付材のある箇所で行ってください。

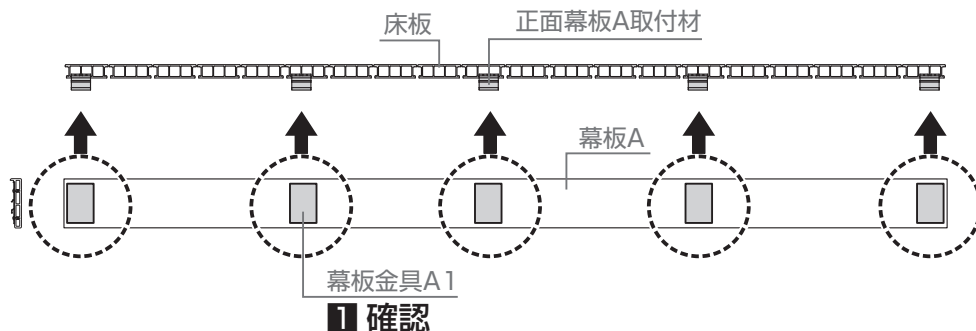


8-1 床板固定の場合

8-1-4 幕板金具A1の取付け

(1) 幕板金具A1の取付け

- 1: 正面幕板A取付材の位置を確認して、幕板Aに取付ける幕板金具A1の位置を確認



- 2: 幕板金具A1を幕板Aに当て、 $\phi 3.0$ の下穴加工

お願い 1

- 幕板金具A1は、幕板Aの段差部に突き当てて下穴加工をし、取付けてください。

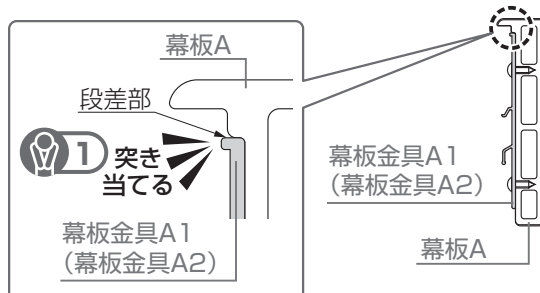
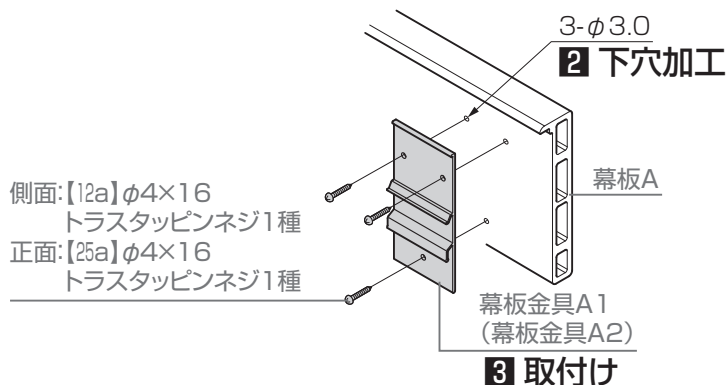
お願い

- 幕板Aには必ず下穴をあけてください。下穴をあけないと幕板Aが割れることがあります。

- 3: 幕板Aに幕板金具A1を【12a】または【25a】で取付け

補 足

- 隅切り部の場合は、幕板金具A2を取付けてください。



(2) 連結部の取付け

- 1: 幕板金具A1に $\phi 4.5$ の穴加工

お願い

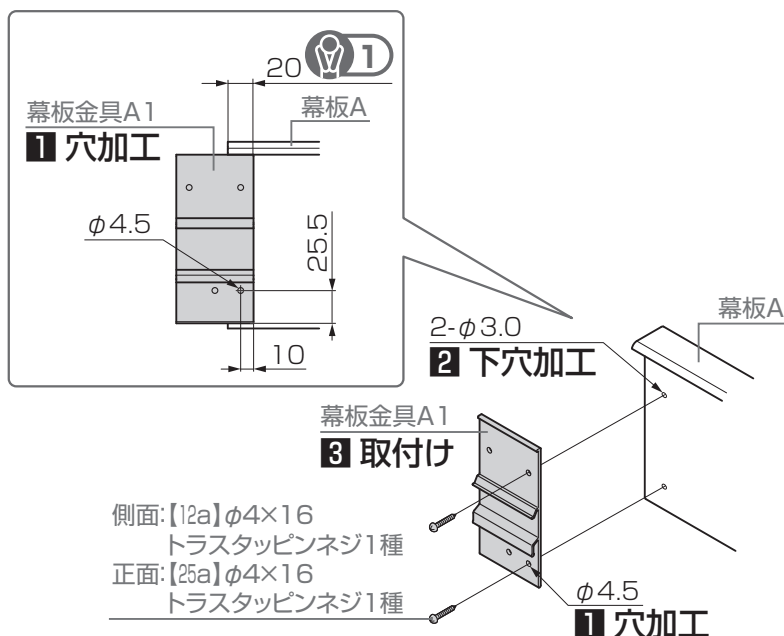
- 穴加工は1ヶ所です。

- 2: 幕板Aに幕板金具A1をあてて、 $\phi 3.0$ の下穴加工

お願い 1

- 幕板金具A1は幕板Aの端部に20mm重なるようにあててください。

- 3: 幕板Aに幕板金具A1を、【12a】または【25a】で取付け



8-1 床板固定の場合

8-1-5 幕板Aの取付け ※側面側の取付けはP.38を参照してください。

(1) 正面側の取付け

- 1: 幕板金具A1下のツメを正面幕板A取付材(床板固定用)下のミゾに引っかける(仮置き)

お願い

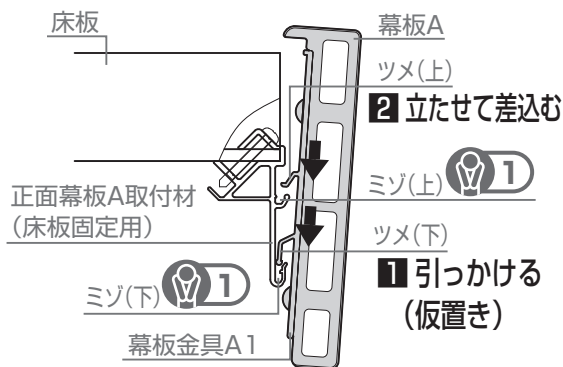
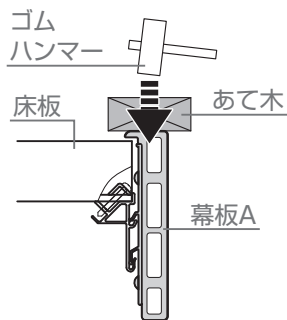
- 幕板Aは立て気味にして入れてください。寝かせすぎるとネジにあたって入りにくなります。
- 幕板金具A1のツメが正面幕板A取付材(床板固定用)のミゾに、しっかりとかかっていることを確認してください。

- 2: 幕板Aを立てて幕板金具A1上のツメを正面幕板A取付材(床板固定用)上のミゾに差込む

- 3: 幕板金具A1上下2ヶ所のツメと正面幕板A取付材(床板固定用)のミゾが噛み合うまで押込む

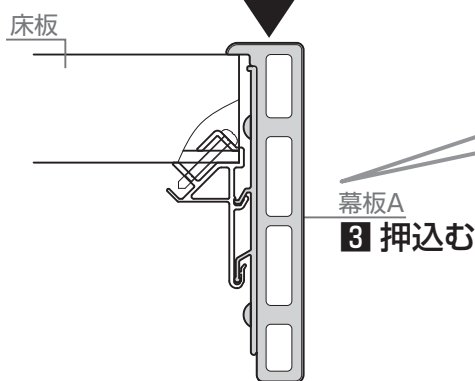
お願い

- 幕板金具A1のツメが入りにくい場合は幕板Aの上部にあて木をしてゴムハンマーで軽たたいてください。



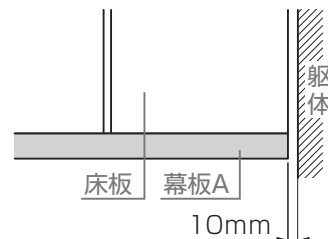
お願い 1

- 正面幕板A取付材のミゾに、部材加工時のカス等が残っていないことを確認してください。



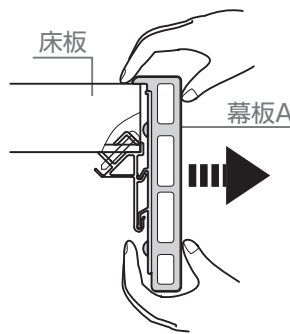
お願い

- 幕板Aと躯体のすき間は10mm以上あけてください。



お願い

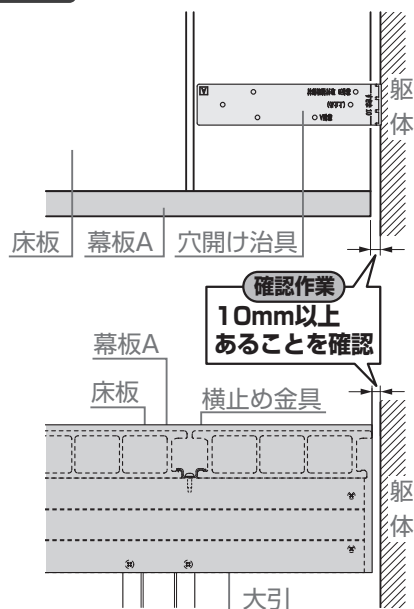
- 幕板Aを引っ張り、外れないこと、幕板Aと床板にすき間が出来ないことを目視で確認してください。



チェック

正面幕板Aと躯体のすき間確認

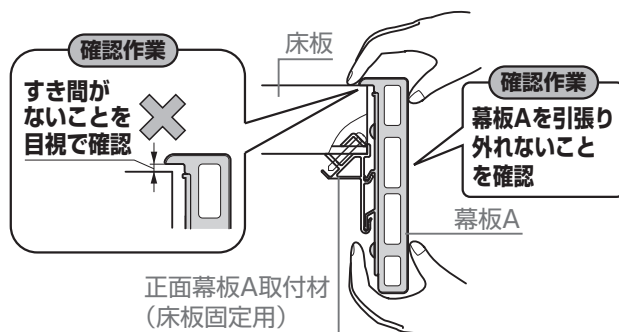
- 躯体と幕板A、床板のすき間は10mm以上ありますか？



チェック

正面幕板Aと床板のかん合確認

- 幕板Aと床板の間にすき間がないことを目視で確認しましたか？
- 幕板Aを引っ張っても、外れませんか？



注意

- 幕板Aと床板にすき間がある場合は、幕板A取付部品のはめ込みが不完全のため、幕板Aが脱落するおそれがあります。8-1-2 正面幕板A取付材(床板固定用)の取付け から施工をし直してください。

8-1 床板固定の場合

8-1-5 幕板Aの取付け

(2) 側面側の取付け

- 1: 幕板金具A1下のツメを側面幕板A取付材下のミゾに引っかける(仮置き)

お願い

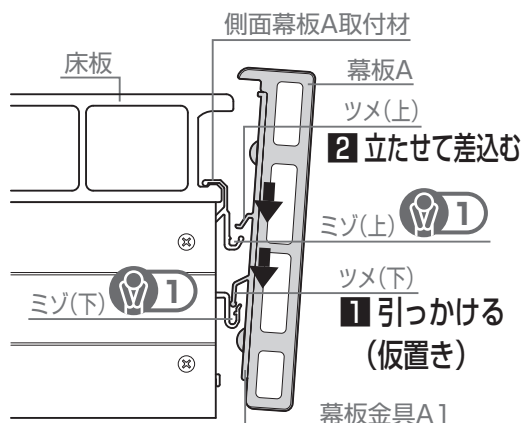
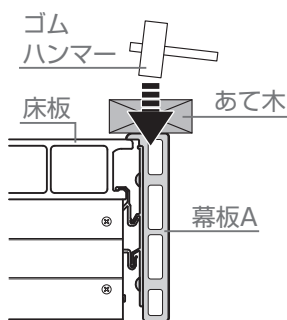
- 幕板Aは立て気味にして入れてください。寝かせすぎるとネジにあたって入りにくくなります。
- 幕板金具A1のツメが側面幕板A取付材のミゾに、しっかりとかかっていることを確認してください。

- 2: 幕板Aを立たせて幕板金具A1上のツメを側面幕板A取付材上のミゾに差込む

- 3: 幕板金具A1上下2ヶ所のツメと側面幕板A取付材のミゾが咬み合うまで押込む

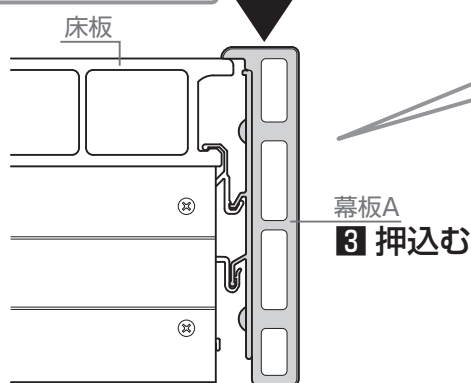
お願い

- 幕板金具A1のツメが入りにくい場合は幕板Aの上部にあて木をしてゴムハンマーで軽くたたいてください。



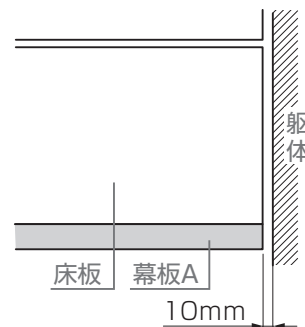
お願い 1

- 側面幕板A取付材のミゾに、部材加工時のカス等が残っていないことを確認してください。



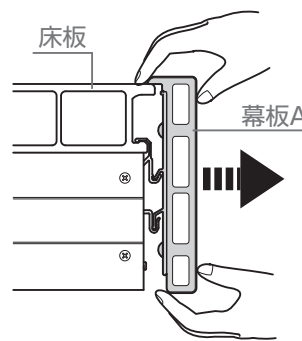
お願い

- 幕板Aと躯体のすき間は10mm以上あけてください。



お願い

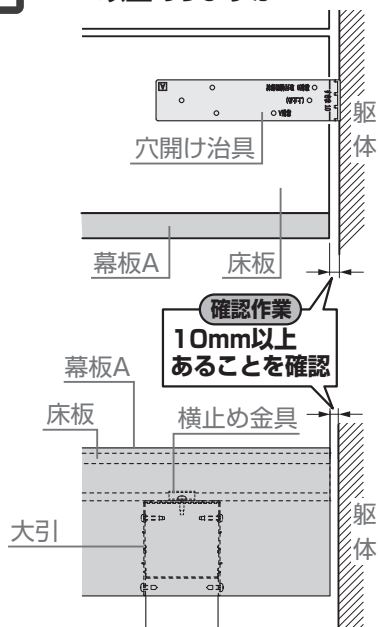
- 幕板Aを引っ張り、外れないこと、幕板Aと床板にすき間が出来ないことを目視で確認してください。



チェック

側面幕板Aと躯体のすき間確認

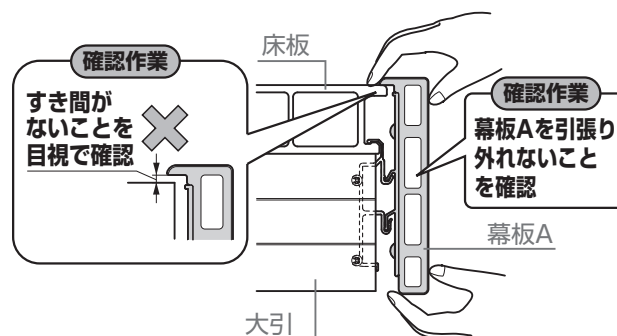
- 躯体と幕板A、床板のすき間は10mm以上ありますか？



チェック

側面幕板Aと床板のかん合確認

- 幕板Aと床板の間にすき間がないことを目視で確認しましたか？
- 幕板Aを引っ張っても、外れませんか？



注意

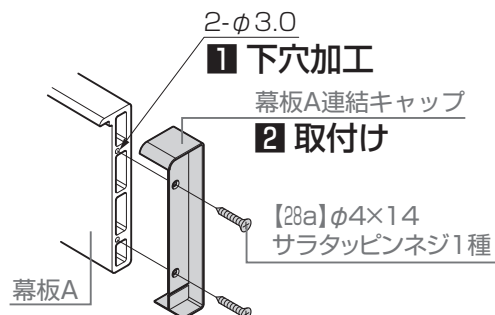
- 幕板Aと床板にすき間がある場合は、幕板A取付部品のはめ込みが不完全のため、幕板Aが脱落するおそれがあります。8-1-2| 正面幕板A取付材(床板固定用)の取付け から施工をし直してください。

8-1 床板固定の場合

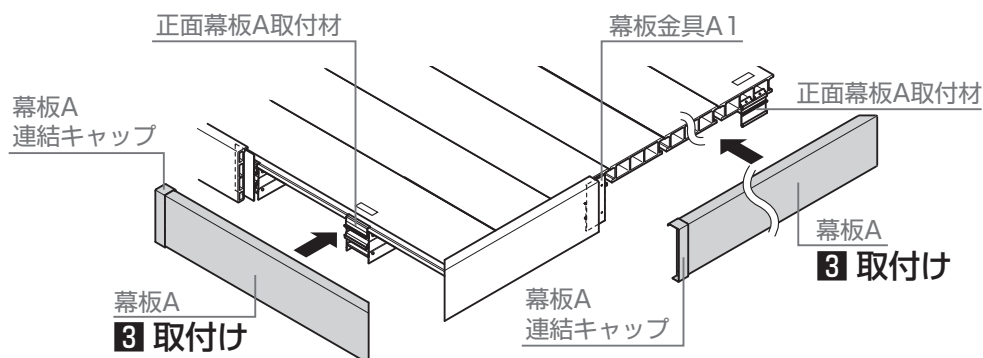
8-1-5 幕板Aの取付け

(3) 連結部の取付け

- 1: 幕板Aに幕板A連結キャップをあて、
φ3.0の下穴加工
- 2: 幕板A連結キャップを幕板Aに
【28a】で取付け



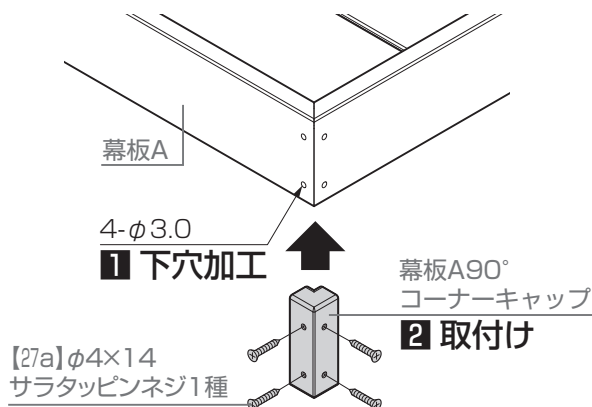
- 3: 幕板Aを幕板A取付材に取付け



8-1-6 コーナーキャップの取付け

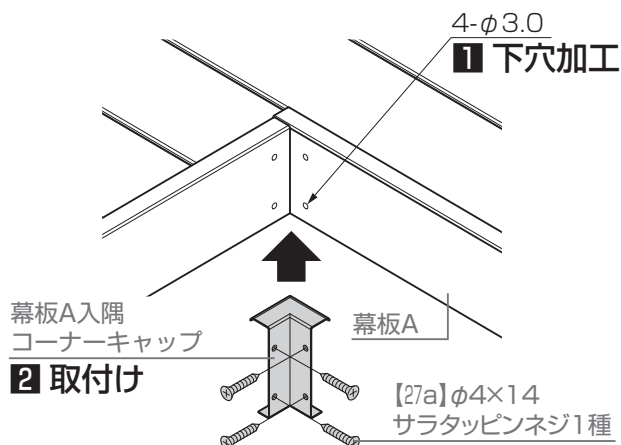
(1) 出隅部の取付け

- 1: 幕板A90°コーナーキャップを幕板A
のコーナー部に当てて、幕板Aにφ
3.0の下穴加工
- 2: 幕板A90°コーナーキャップを幕板
Aに【27a】で取付け



(2) 入隅部の取付け

- 1: 幕板A入隅コーナーキャップを幕板
Aのコーナー部に当てて、幕板Aに
φ3.0の下穴加工
- 2: 幕板A入隅コーナーキャップを幕板
Aに【27a】で取付け



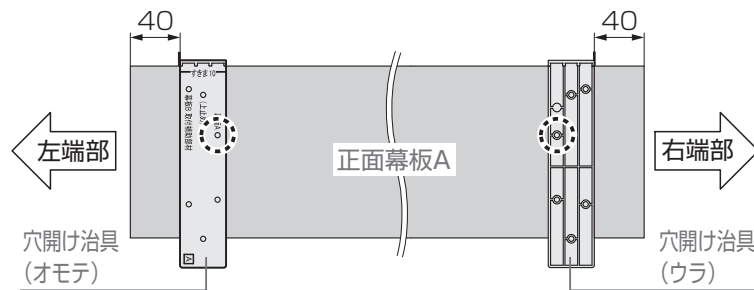
8-1 床板固定の場合

8-1-7 幕板Aの固定 ※入隅納まり等でコーナーキャップが取付かない場合のみの作業です。

(1) 正面側の取付け

補足

- 穴開け治具は、正面幕板Aの左端部に使用時はオモテ、正面幕板Aの右端部に使用時はウラにしてください。



- 1: 穴開け治具を床板のマスキングテープの位置に合わせ、正面幕板Aと幕板金具A1に $\phi 3.5$ の貫通穴加工

お願い

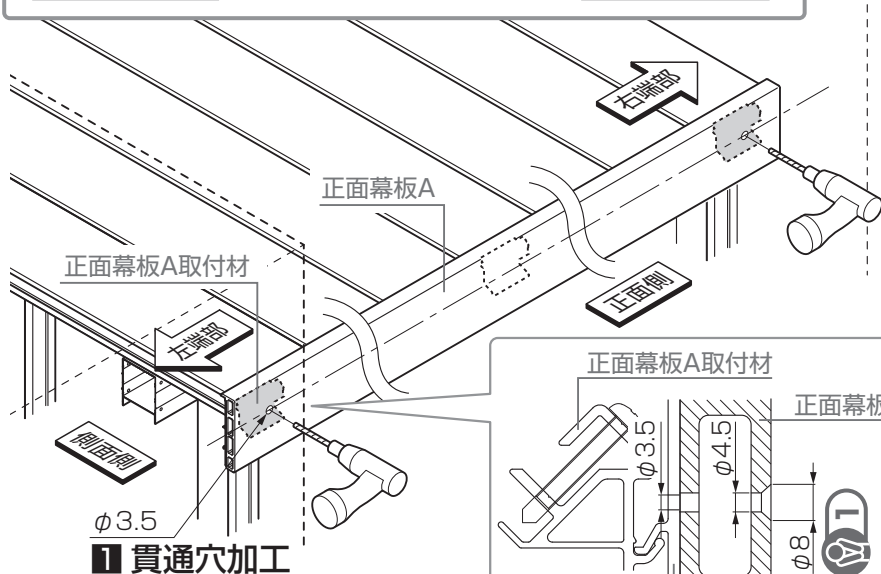
- コーナーキャップの取付かない端部の正面幕板Aと幕板金具A1のみに穴加工をしてください。

- 2: 1で穴加工をした位置で、正面幕板Aのみ $\phi 4.5$ の穴加工

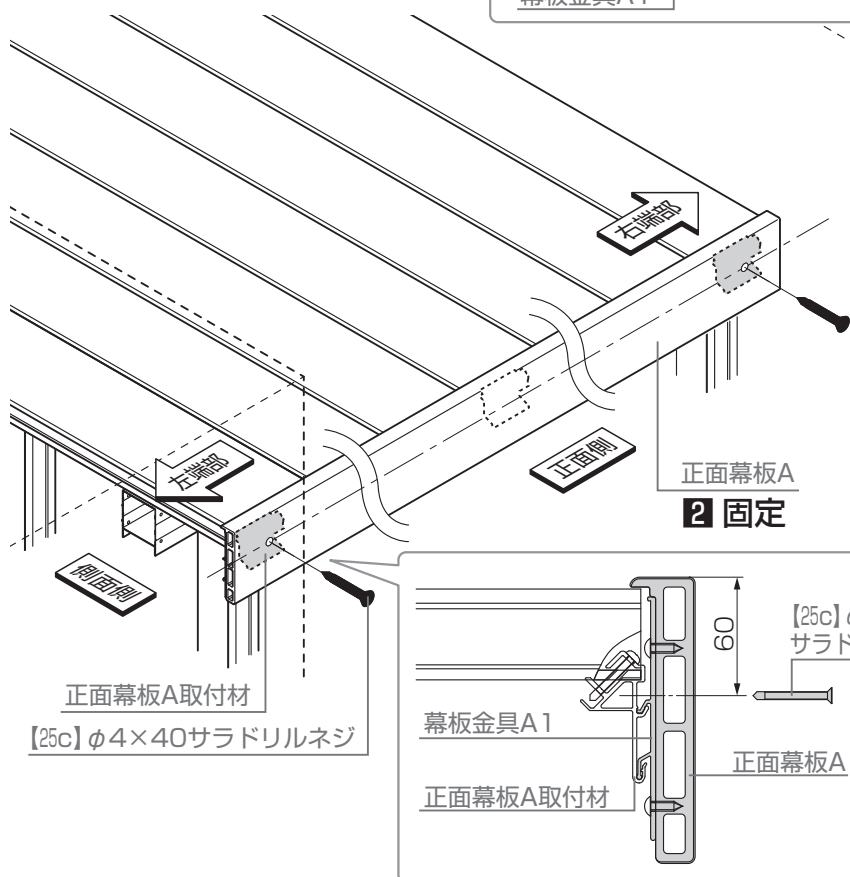
お願い 1

- 正面幕板Aの $\phi 4.5$ 穴に $\phi 8$ サラ取り加工をしてください。

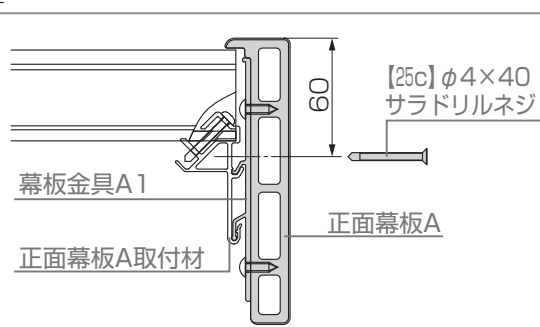
- 3: 正面幕板Aを正面幕板取付材Aに【25c】で固定



1 貫通穴加工



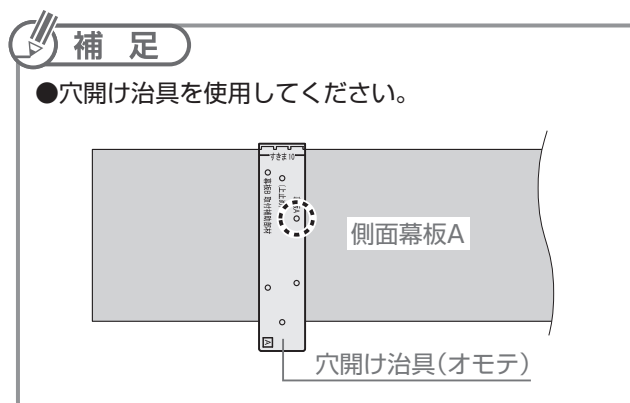
2 固定



8-1 床板固定の場合

8-1-7 幕板Aの固定 ※コーナーキャップの取付かない端部のみの作業です。

(2) 側面の取付け



- 1:** 穴開け治具を床板のマスキングテープの位置に合わせ、側面幕板Aと幕板金具A1に $\phi 3.5$ の貫通穴加工

お願い

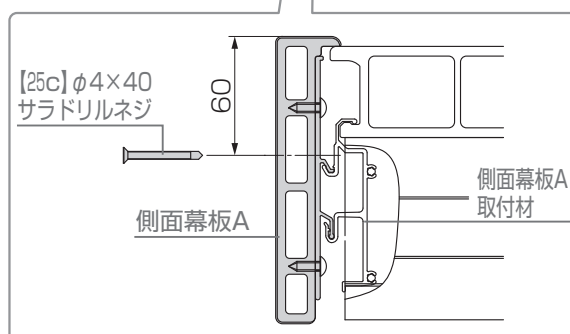
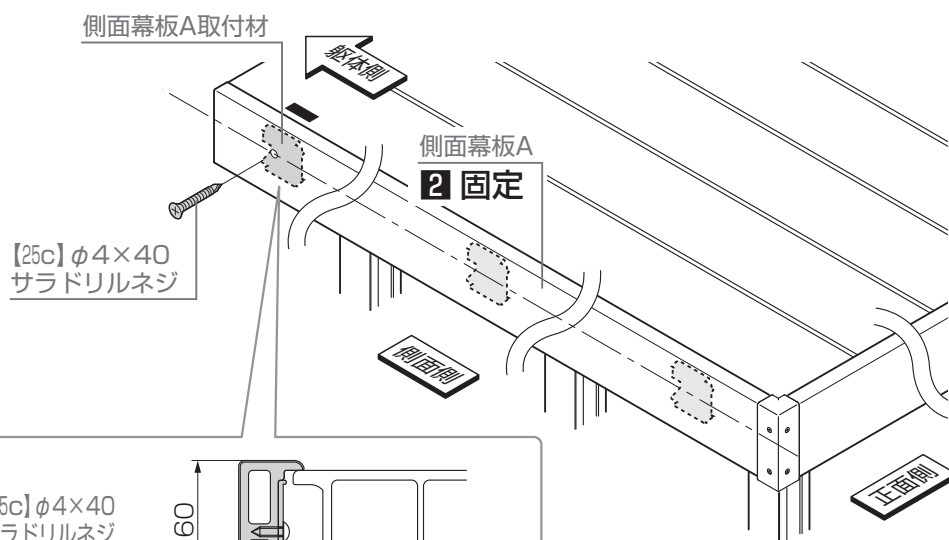
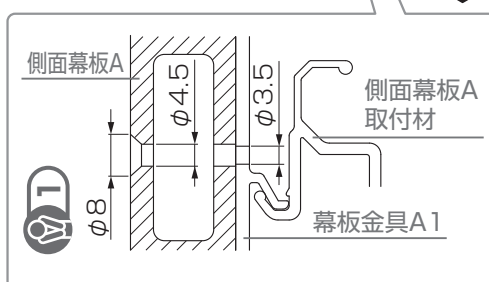
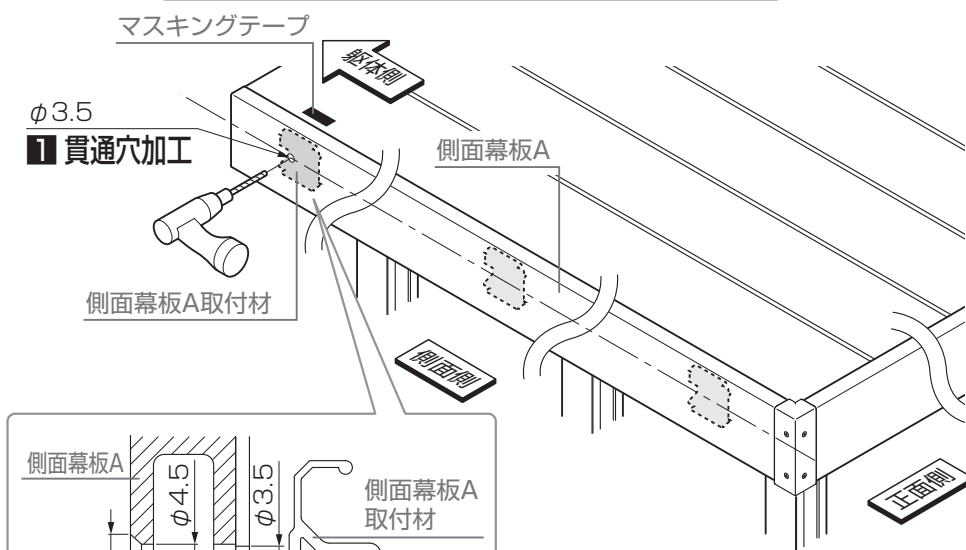
●コーナーキャップの取付かない端部の側面幕板Aと幕板金具A1のみに穴加工をしてください。

- 2:** 1で穴加工をした位置で、側面幕板Aのみ $\phi 4.5$ の穴加工

お願い 1

●側面幕板Aの $\phi 4.5$ 穴に $\phi 8$ サラ取り加工をしてください。

- 3:** 側面幕板Aを側面幕板A取付材に【25c】で固定



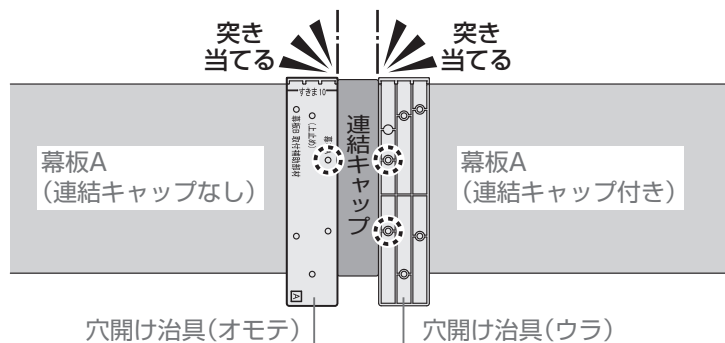
8-1 床板固定の場合

8-1-7 幕板Aの固定

(3) 連結部の取付け

補 足

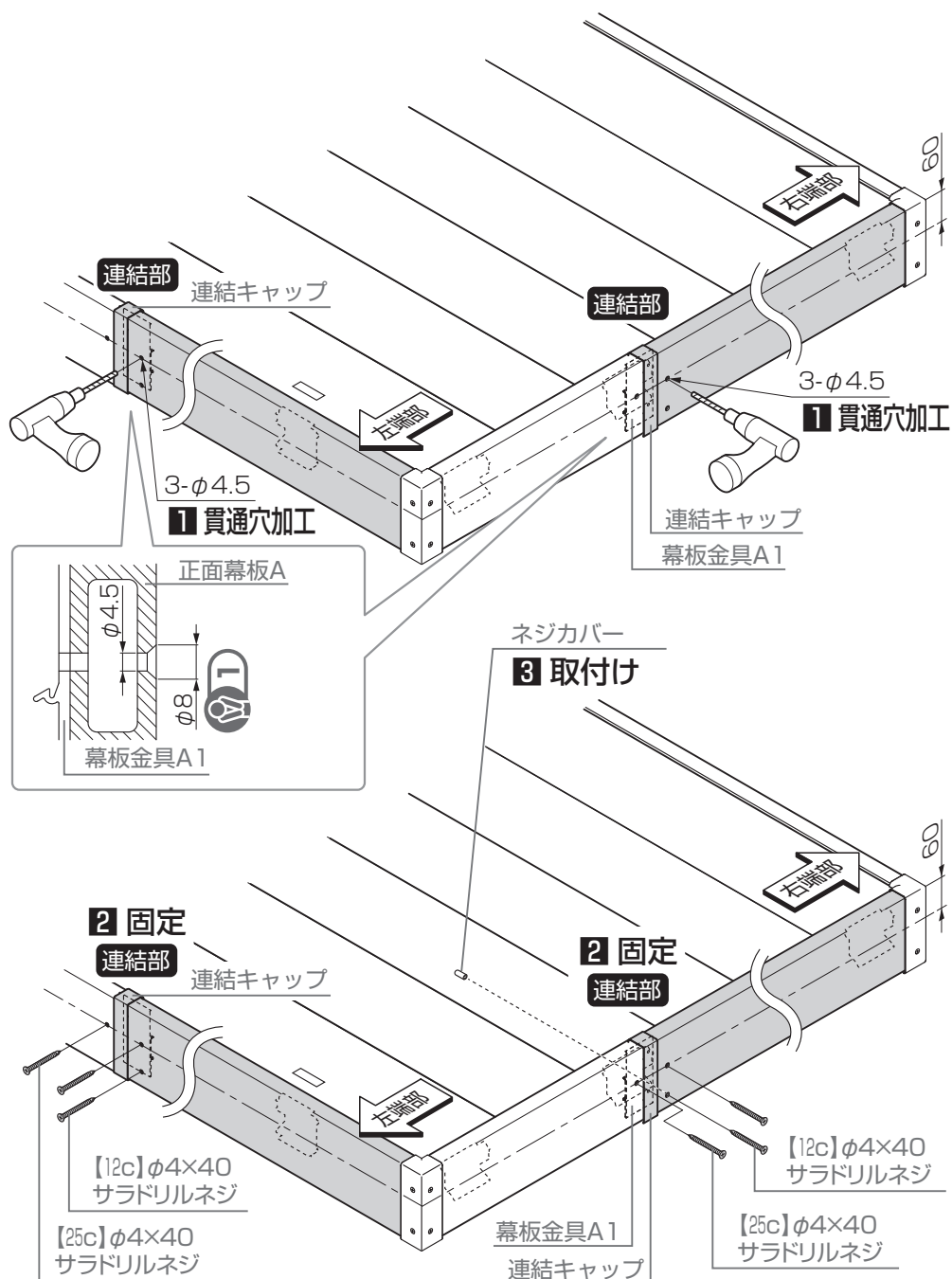
- 穴開け治具は、連結キャップの付いていない側はオモテ、連結キャップの付いている側はウラにしてください。



- 1:** 穴開け治具を連結キャップに突き当て、幕板Aと幕板金具A1に $\phi 4.5$ の貫通穴加工

お願い 1

- 正面幕板Aの $\phi 4.5$ 穴に $\phi 8$ サラ取り加工をしてください。



- 2:** 幕板Aの連結部を【12c】【25c】で固定

- 3:** 幕板ジョイントカバーセット付属のネジカバー取付

注意

- ネジカバーを取付けないと、ネジの先端でケガをするおそれがあります。

8 幕板Aの施工

8-2 大引固定の場合

8-2-1 正面幕板A取付材（大引固定用）の取付位置の確認

お願い

▼ フェンスベースプレートの固定に
正面幕板A取付材(大引固定用)
を使用する場合 ▼

- 各フェンスの取付説明書を参照して位置を確認してください。

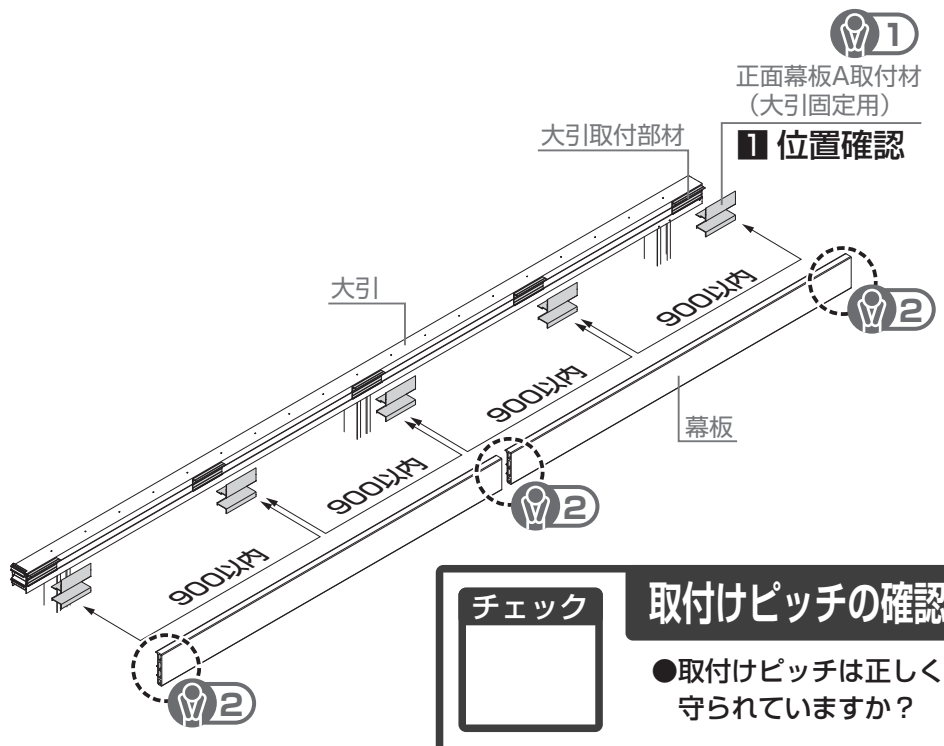
1: 正面幕板A取付材(大引固定用)を取付ける位置を確認

お願い 1

- 正面幕板A取付材のピッチは、900mm以内にしてください。

お願い 2

- 正面幕板A取付材（大引固定用）は、幕板Aの始まりと終わり、および幕板A接続部に必ず取付けてください。



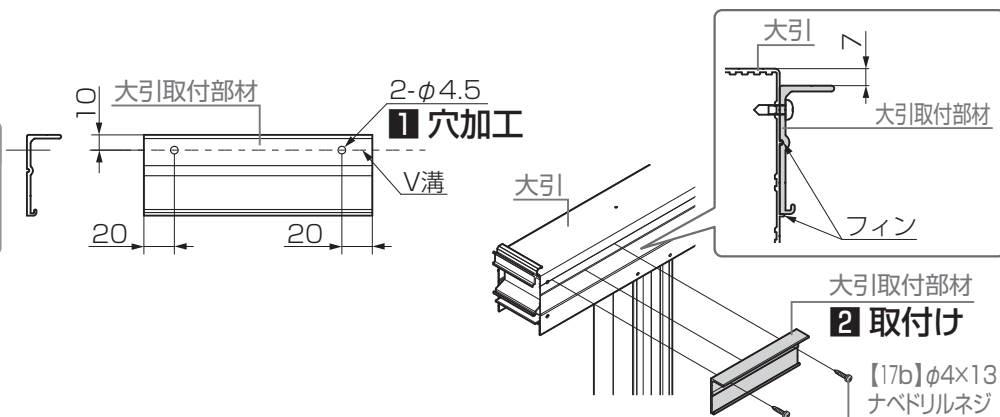
8-2-2 大引取付部材の取付け

1: 大引取付部材にφ4.5の穴加工

お願い

- 必ず床板を施工する前に大引取付部材を取付けてください。

2: 大引取付部材を大引に【17b】で取付け

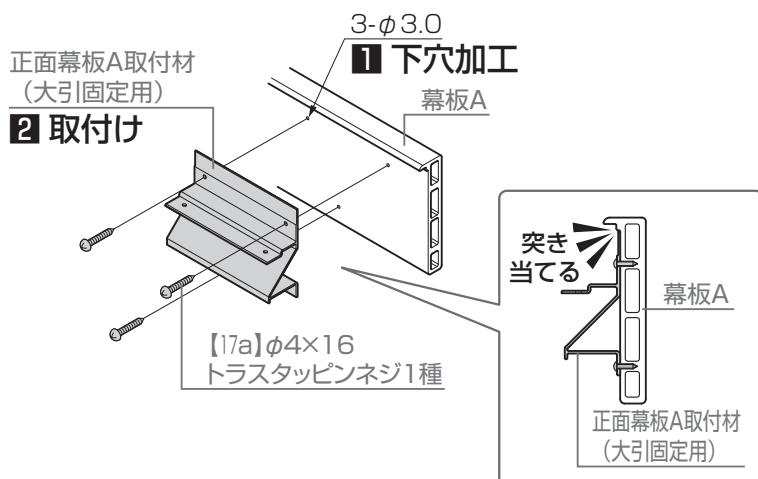


8-2-3 正面幕板A取付材(大引固定用)の取付け

(1) 正面幕板A取付材(大引固定用)の取付け

1: 幕板Aに正面幕板A取付材(大引固定用)を当て、幕板Aにφ3.0の下穴加工

2: 正面幕板A取付材(大引固定用)を幕板Aに【17a】で取付け



8-2 大引固定の場合

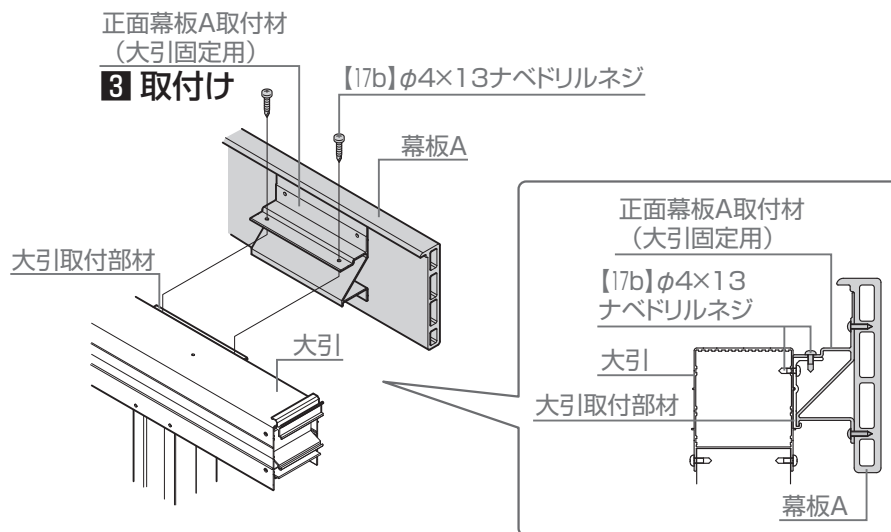
8-2-3 正面幕板A取付材(大引固定用)の取付け

(1) 正面幕板A取付材(大引固定用)の取付け

- 3: 正面幕板A取付材(大引固定用)を大引取付部材のフィンに引っかけて【17b】で取付け

お願い

- 必ず床板を施工する前に幕板を固定してください。



8-2 大引固定の場合

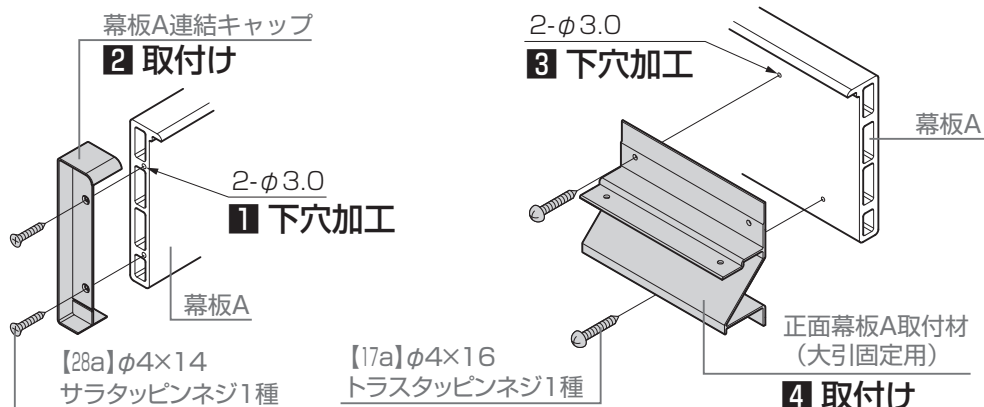
8-2-3 正面幕板A取付材(大引固定用)の取付け

(2) 連結部の取付け

- 1: 幕板Aに幕板A連結キャップをあて、 $\phi 3.0$ の下穴加工
 2: 幕板A連結キャップを幕板Aに【28a】で取付け
 3: 幕板Aに正面幕板A取付材(大引固定用)をあて、 $\phi 3.0$ の下穴加工
 4: 正面幕板A取付材(大引固定用)を幕板Aに【17a】で取付け

お願い

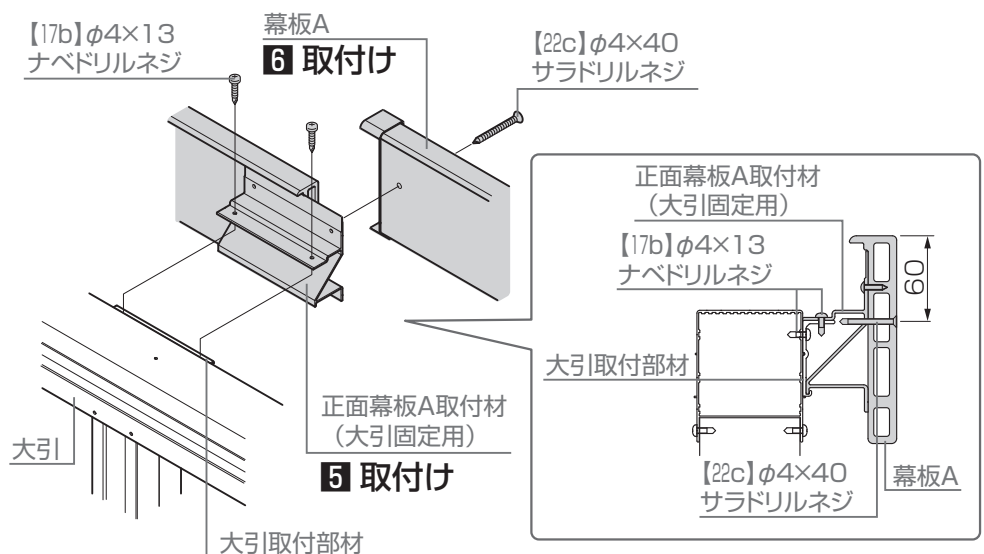
- 正面幕板A取付材(大引固定用)は、幕板A連結キャップが取付いていない側の幕板Aに取付けてください。



- 5: 正面幕板A取付材(大引固定用)を大引取付部材のフィンに引っかけて【17b】で取付け
 6: 幕板Aを正面幕板A取付材(大引固定用)に【22c】で取付け

お願い

- 必ず床板を施工する前に幕板を固定してください。



9 幕板Bの施工

9-1 床板固定の場合

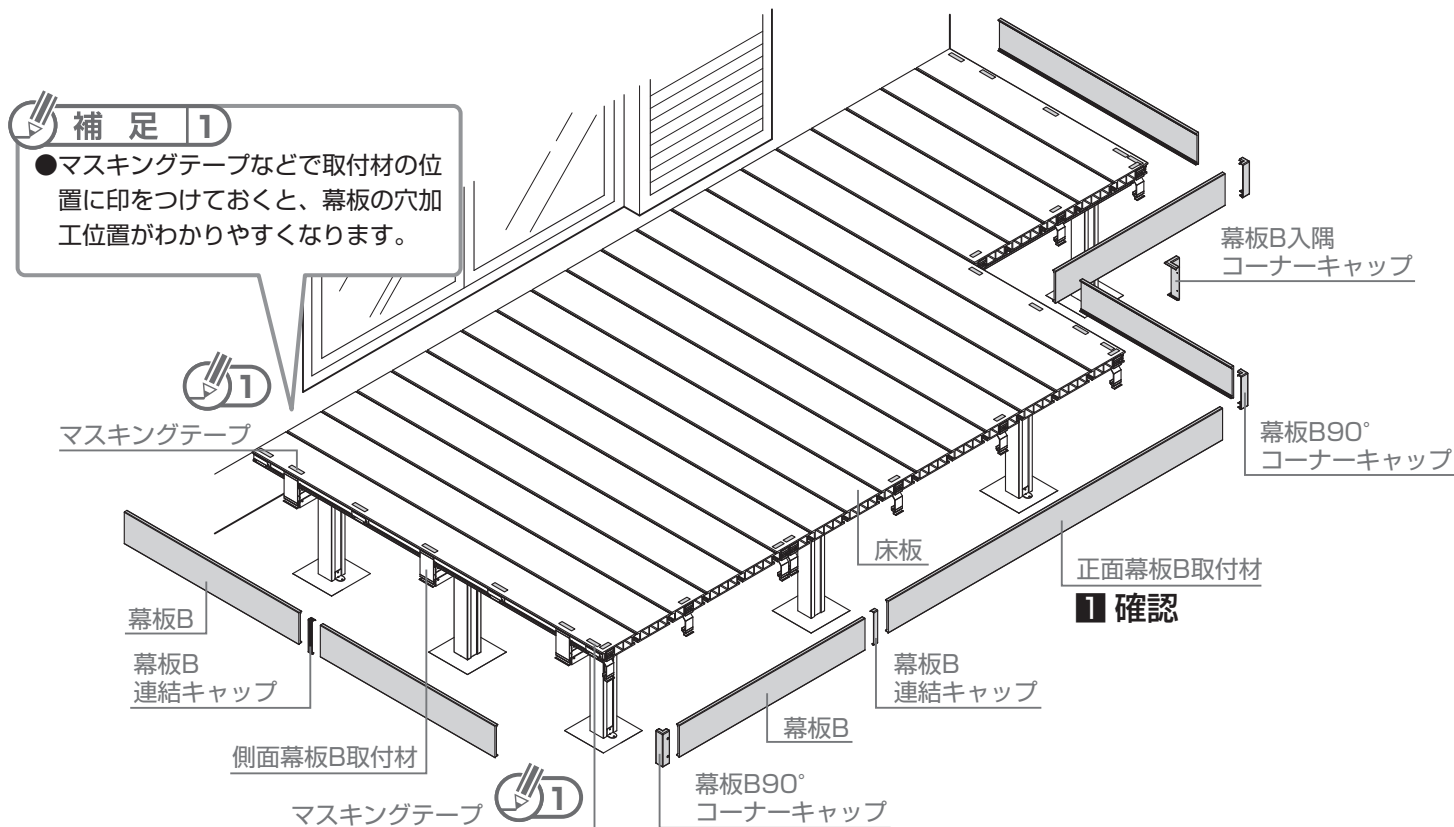
9-1-1 正面幕板B取付材(床板固定用)の取付位置の確認

お願い

▼ デッキ上にフェンスを取付ける場合 ▼

- フェンス取付け後に幕板を固定してください。

1: 正面幕板B取付材(床板固定用)を取付ける位置を確認



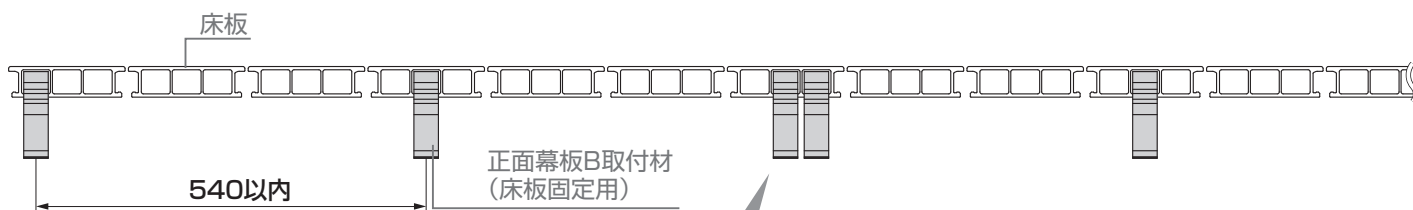
お願い

- 正面幕板B取付材(床板固定用)の取付けピッチは、540mm以内(床板2枚おきまで)にしてください。
- 正面幕板B取付材(床板固定用)は、幕板の始まりと終わり、および連結部に必ず取付けてください。

チェック

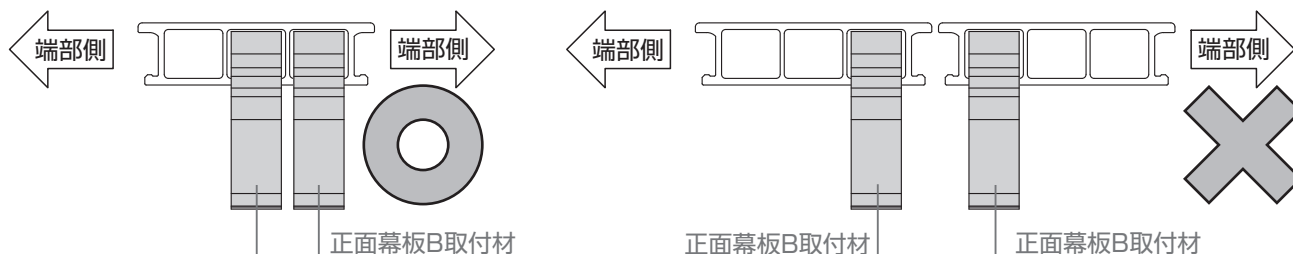
取付けピッチの確認

- 取付けピッチは正しく守られていますか？



お願い

- 連結部の正面幕板B取付材(床板固定用)は1枚の床板に2個取付けてください。2枚にまたがないでください。



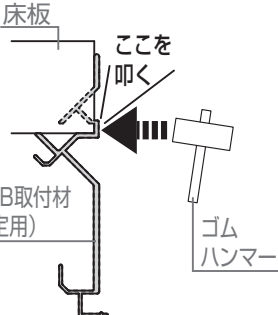
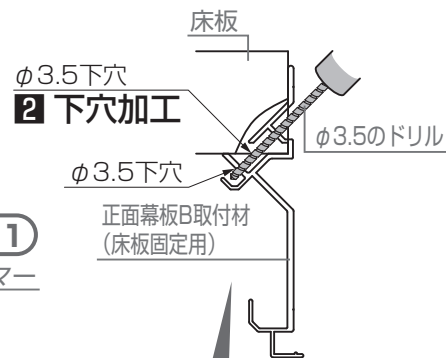
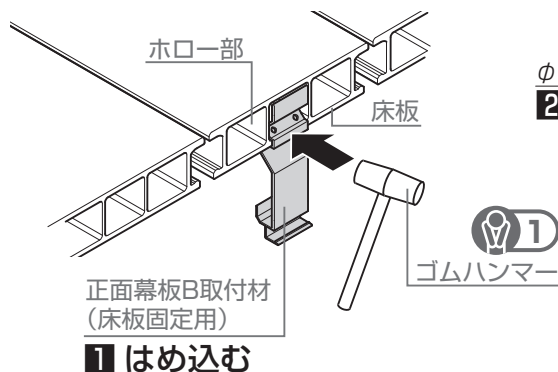
9-1 幕板Bの施工

9-1-2 正面幕板B取付材(床板固定用)の取付け

- 1: 正面幕板B取付材(床板固定用)を床板のホー部にはめ込む

お願い 1

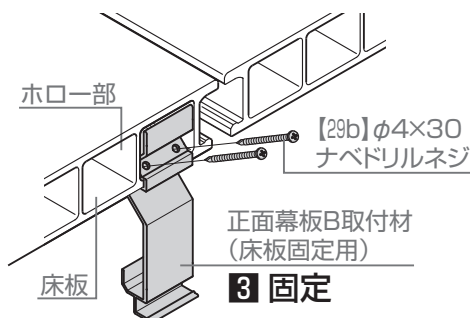
●正面幕板B取付材(床板固定用)を床板にあて、ゴムハンマーなどで叩いて確実にはめ込んでください。

- 2: 正面幕板B取付材(床板固定用)の穴に従って床板下面と正面幕板B取付材(床板固定用)にφ3.5の下穴加工

お願い

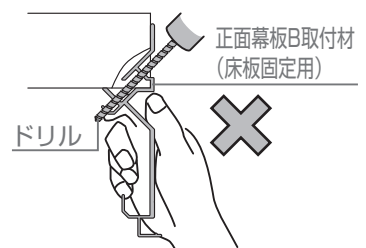
●正面幕板B取付材(床板固定用)がずれないように押さえながら穴をあけてください。



- 3: 正面幕板B取付材(床板固定用)を、床板のホー部に【29b】で固定

注意

●下穴は、正面幕板B取付材(床板固定用)に貫通させないでください。貫通したドリルで手を傷つけるおそれがあります。



9-1-3 幕板B取付補助部材の取付け

(1) 幕板B取付補助部材の位置確認

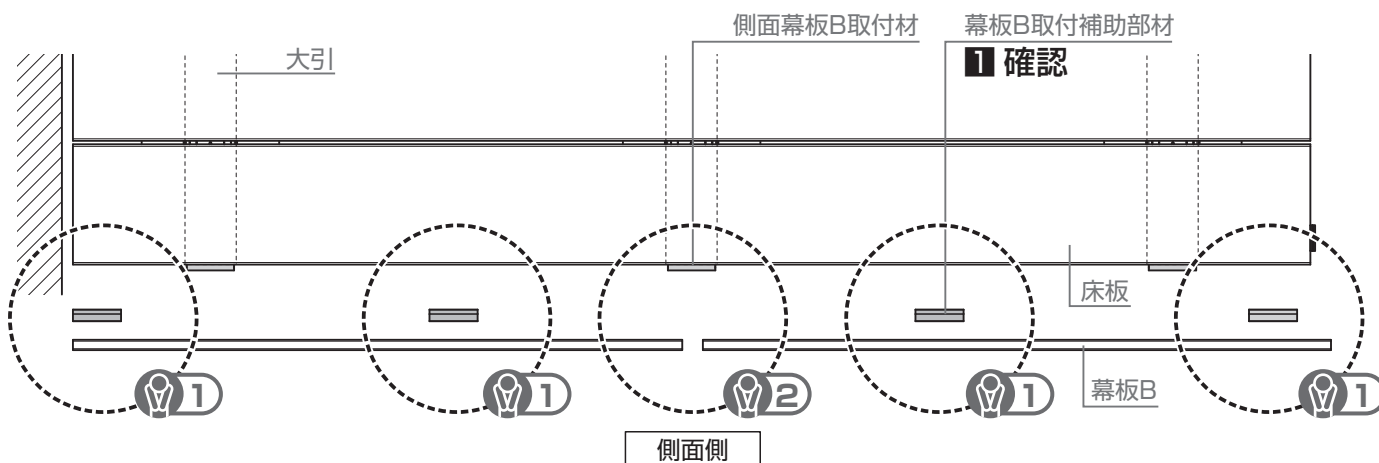
- 1: 幕板B取付補助部材を取付ける位置を確認

お願い 1

- 幕板B取付補助部材は、床板の両端部と、側面幕板B取付材の間に取付けてください。

お願い 2

- 幕板Bの連結は、必ず側面幕板B取付材のある箇所で行ってください。

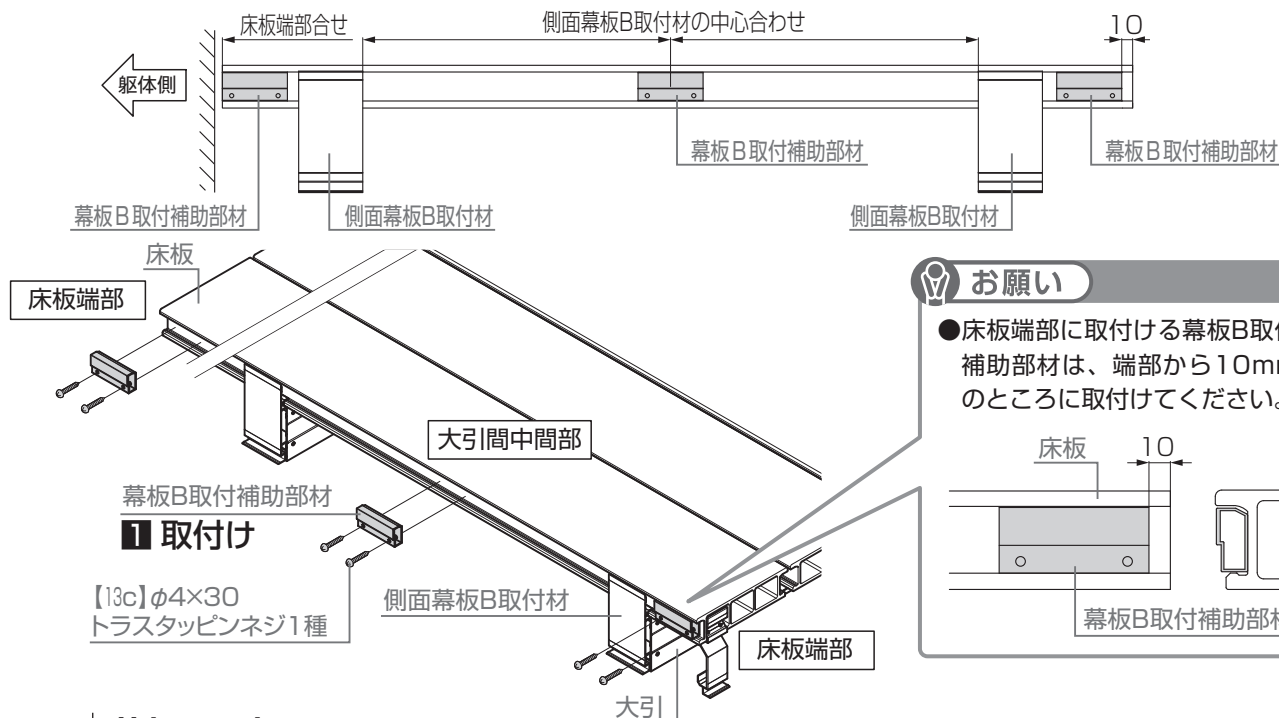


9-1 床板固定の場合

9-1-3 幕板B取付補助部材の取付け

(2) 幕板B取付補助部材の取付け

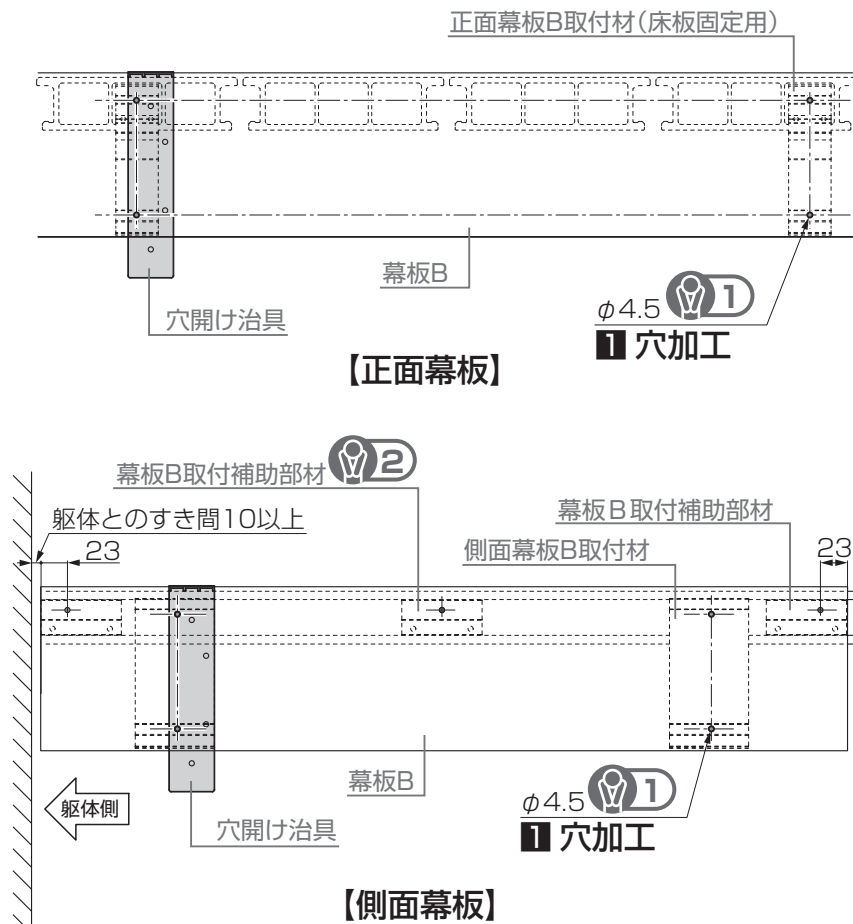
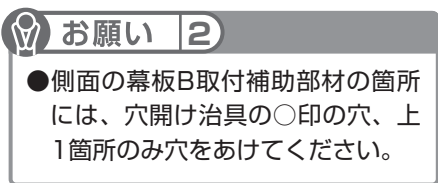
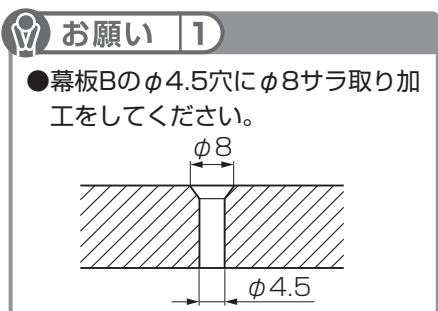
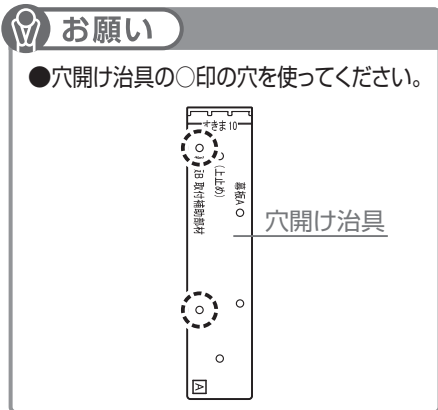
■: 幕板B取付補助部材を床板側面の大引間中間部と床板両端部に【13c】で取付け



9-1-4 幕板Bの加工

(1) 幕板Bの穴加工

■: 幕板Bに穴開け治具を使用して、φ4.5の穴加工



9-1 床板固定の場合

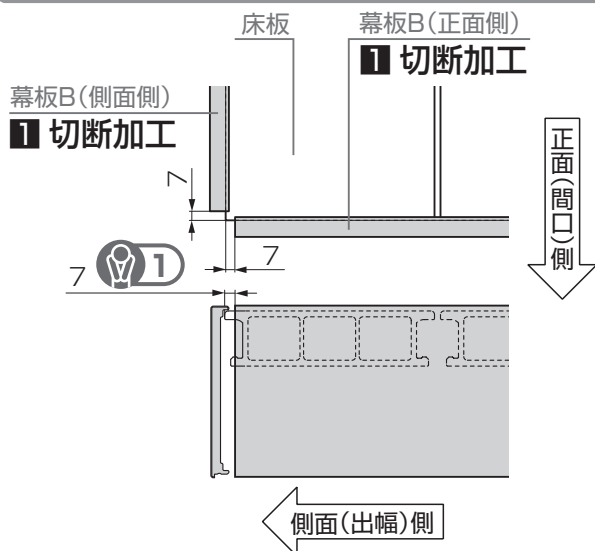
9-1-4 幕板Bの加工

(2) 出隅部の加工

①: 幕板Bを切断加工

💡 お願い 1

- 幕板Bは床板から7mm内側になるように切断してください。



(3) 入隅部の加工

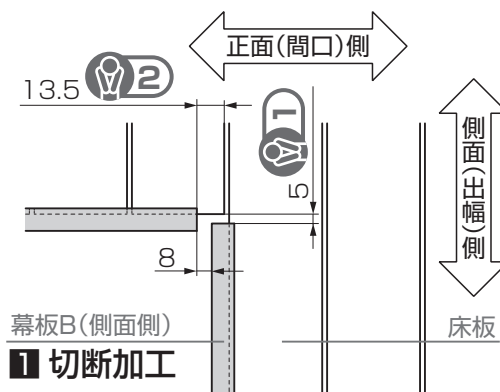
①: 幕板Bを切断加工

💡 お願い 1

- 側面側の幕板Bは床板から5mmすき間をあけてください。

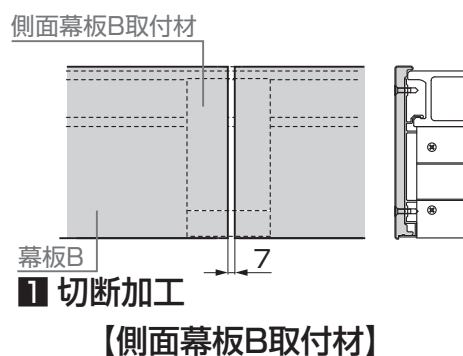
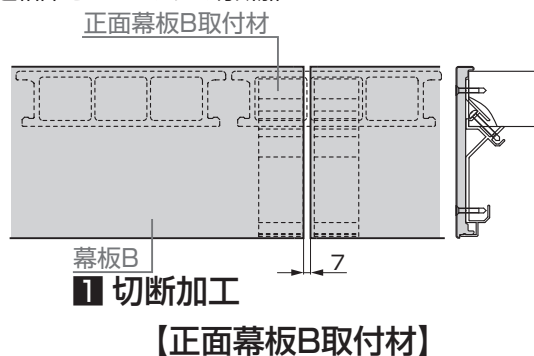
💡 お願い 2

- 正面側の幕板Bは床板から13.5mmすき間をあけてください。



(4) 連結部の加工

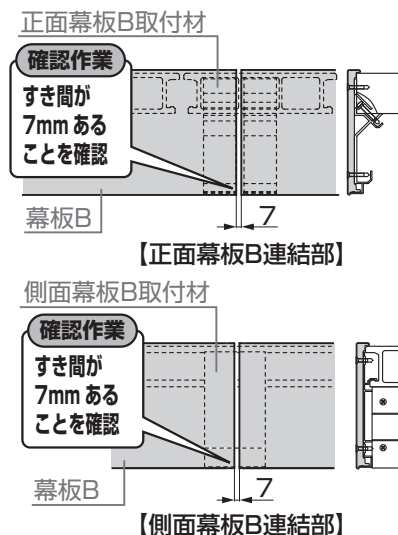
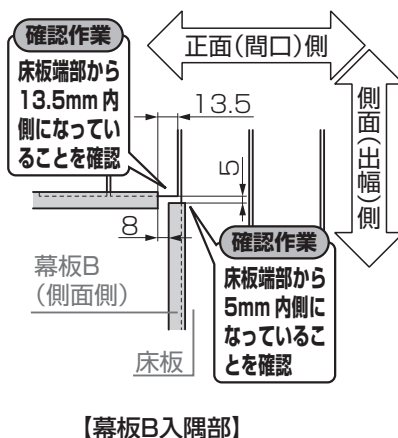
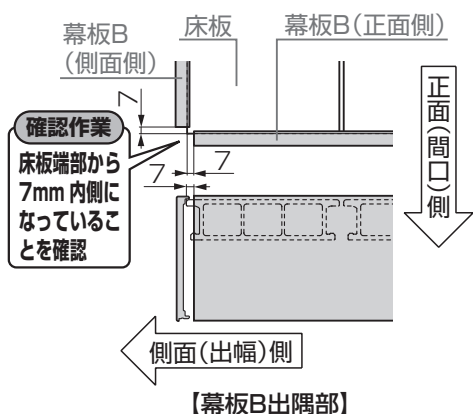
①: 幕板Bの連結部を7mmあけて切断加工



チェック

幕板B出隅部、幕板B入隅部、幕板B連結部のすき間確認

- 幕板B出隅部、幕板B入隅部、幕板B連結部、それぞれのすき間は指定通りありますか？



9 9-1 床板固定の場合

9-1-5 幕板Bの取付け

(1) 正面側の取付け

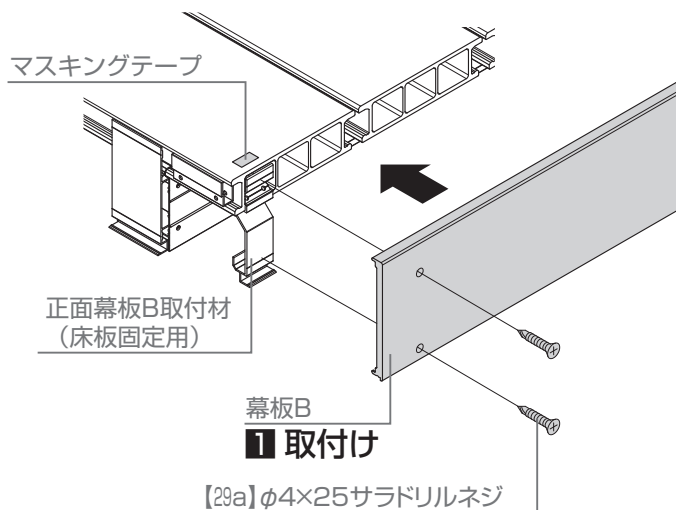
1: 正面の幕板Bを、正面幕板B取付材 (床板固定用) に【29a】で取付け

お願い

- 正面の幕板Bは、上下2ヶ所の取付けになります。
- 施工後の反りを防ぐため幕板中心部で固定してから、両端部方向へ固定していくようにしてください。

補足

- マスキングテープなどで取付材の位置に印をつけておくと、幕板の穴加工位置がわかりやすくなります。

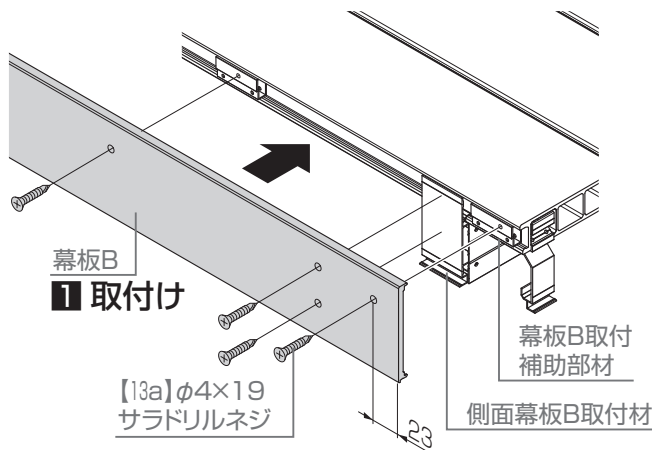


(2) 側面側の取付け

1: 側面の幕板Bを側面幕板B取付材と幕板B取付補助部材に、【13a】で取付け

お願い

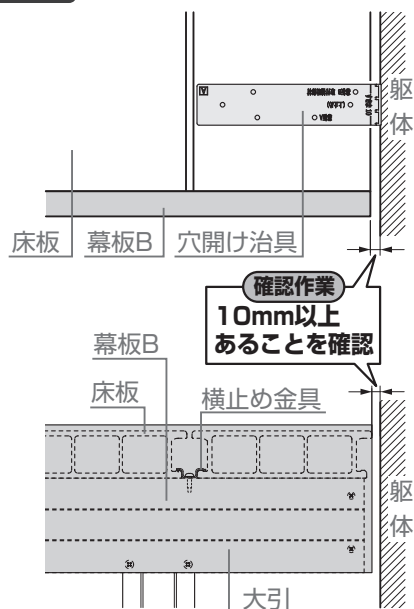
- 側面の幕板Bは下記方法で取付けます。
 - ・側面幕板B取付材への取付け 上下2ヶ所
 - ・幕板B取付補助部材への取付け 上1ヶ所
- 施工後の反りを防ぐため幕板中心部で固定してから、両端部方向へ固定していくようにしてください。



チェック

正面幕板Bと躯体のすき間確認

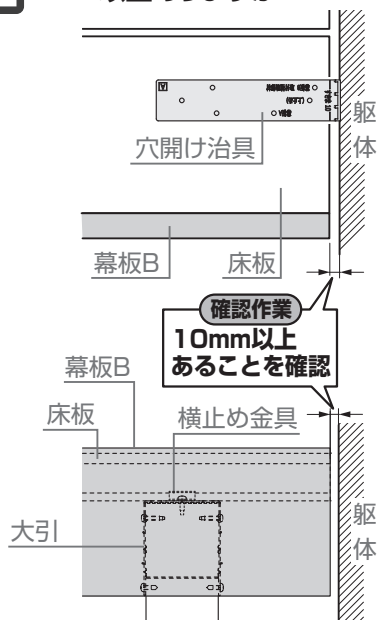
- 躯体と幕板B、床板のすき間は10mm以上ありますか？



チェック

側面幕板Bと躯体のすき間確認

- 躯体と幕板B、床板のすき間は10mm以上ありますか？



9-1 床板固定の場合

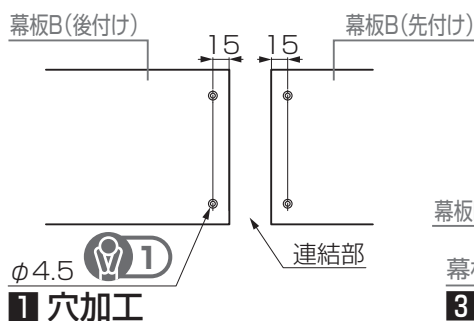
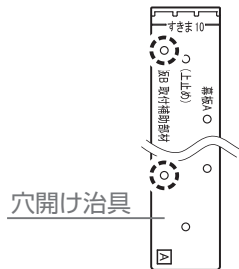
9-1-5 幕板Bの取付け

(3) 連結部の取付け

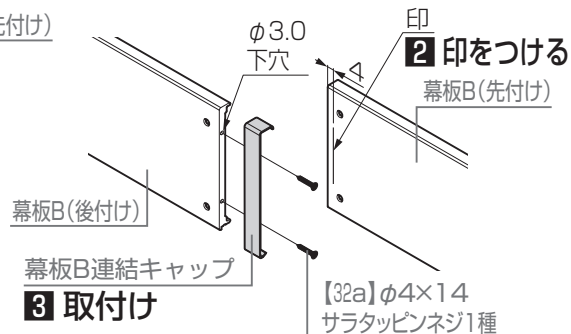
- 1: 幕板Bの端部から15mmの位置に、穴開け治具を使用してφ4.5の穴加工

お願い

- 穴開け治具の○印の穴を使って穴加工してください。



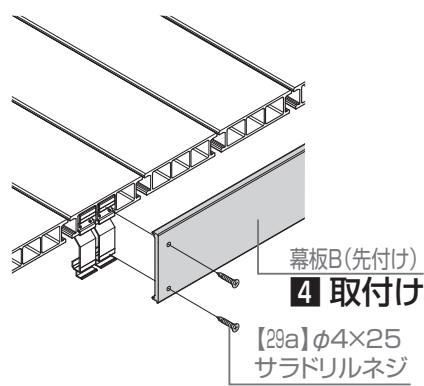
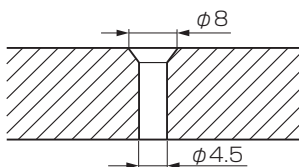
1 穴加工



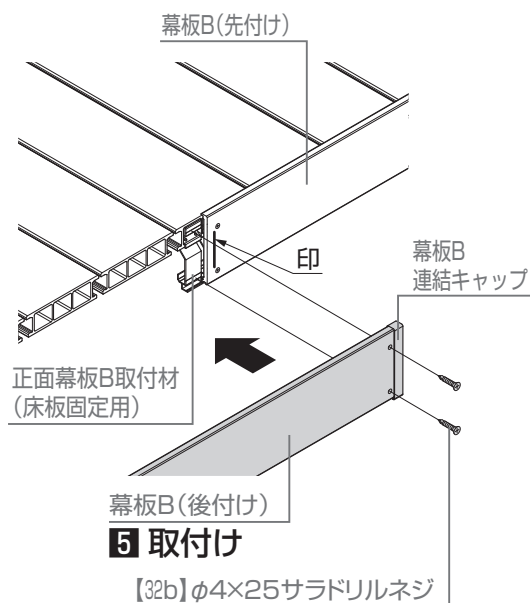
3 取付け

お願い 1

- 幕板Bのφ4.5貫通穴にφ8サラ取り加工をしてください。



4 取付け



5 取付け

お願い

- 下穴は必ずあけてください。下穴をあけないと幕板が割れるおそれがあります。

- 2: 幕板B(先付け)にキャップのみ込みの印を鉛筆などでつける

- 3: 連結キャップを幕板(後付け)に【32a】で取付け

- 4: 幕板B(先付け)を正面幕板B取付材(床板固定用)に【29a】で取付け

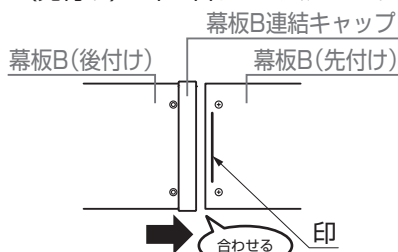
お願い

- 幕板B連結キャップを取付けた幕板B(後付け)は、後から取付けてください。

- 5: 幕板B(後付け)を正面幕板B取付材に【32b】で取付け

お願い

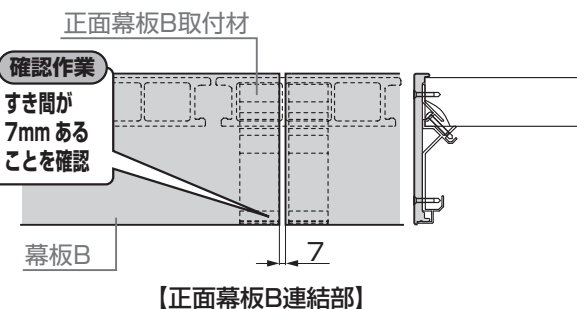
- 幕板B連結キャップの端部を幕板B(先付け)の印に合わせてください。



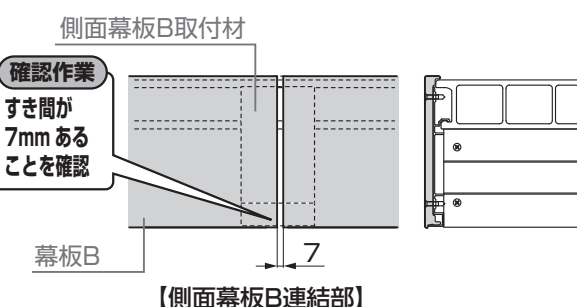
チェック

幕板B連結部のすき間確認

- 幕板B同士のすき間は7mmありますか？



【正面幕板B連結部】



【側面幕板B連結部】

9-1 床板固定の場合

9-1-6 コーナーキャップの取付け

(1) 出隅部の取付け

- 幕板B90°コーナーキャップを幕板Bのコーナー部に当てて、幕板Bにφ3.0の下穴加工

お願い

- 下穴を必ずあけてください。あけないと幕板が割れるおそれがあります。

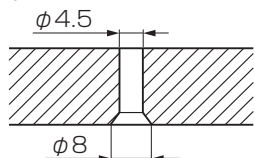
- 幕板B90°コーナーキャップを幕板Bに【31a】で取付け

(2) 入隅部の取付け

- 幕板B入隅コーナーキャップの床板側面側になるキャップ内側のくぼみ位置にφ4.5の穴加工

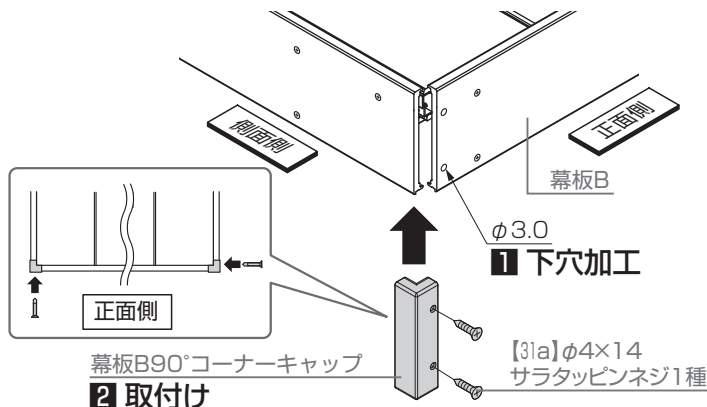
お願い 1

- 幕板B入隅コーナーキャップのφ4.5穴にφ8サラ取り加工をしてください。

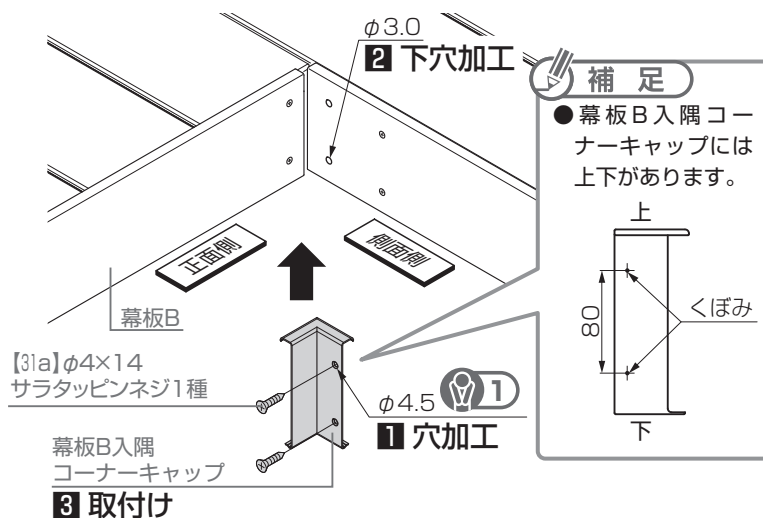


- 幕板B入隅コーナーキャップを、コーナー部に当て幕板Bにφ3.0の下穴加工

- 幕板B入隅コーナーキャップを幕板Bに【31a】で取付け



幕板B90°コーナーキャップ
2 取付け

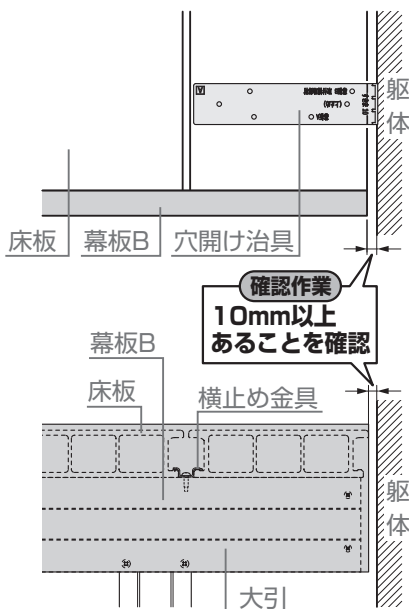


幕板B入隅
コーナーキャップ
3 取付け

チェック

正面幕板Bと
躯体のすき間確認

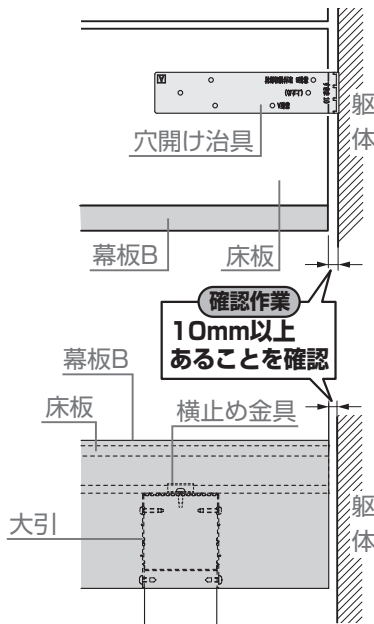
- 躯体と幕板B、床板のすき間は10mm以上ありますか？



チェック

側面幕板Bと
躯体のすき間確認

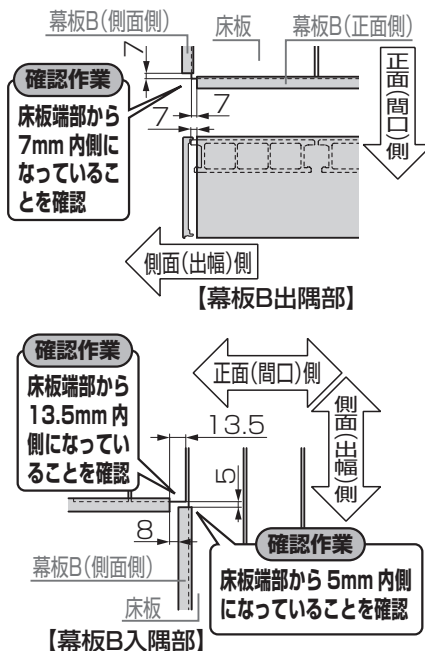
- 躯体と幕板B、床板のすき間は10mm以上ありますか？



チェック

幕板B出隅部、幕板B
入隅部のすき間確認

- 幕板B出隅部、幕板B入隅部それぞれのすき間は指定通りありますか？



9-2 大引固定の場合

9-2-1 正面幕板B取付材（大引固定用）の取付位置の確認

お願い

- フェンスベースプレートの固定に正面幕板B取付材（大引固定用）を用いる場合は、各フェンスの取付説明書を参考に位置を確認してください。
- 多段幕板を施工する場合は、幕板Bを大引固定してください。

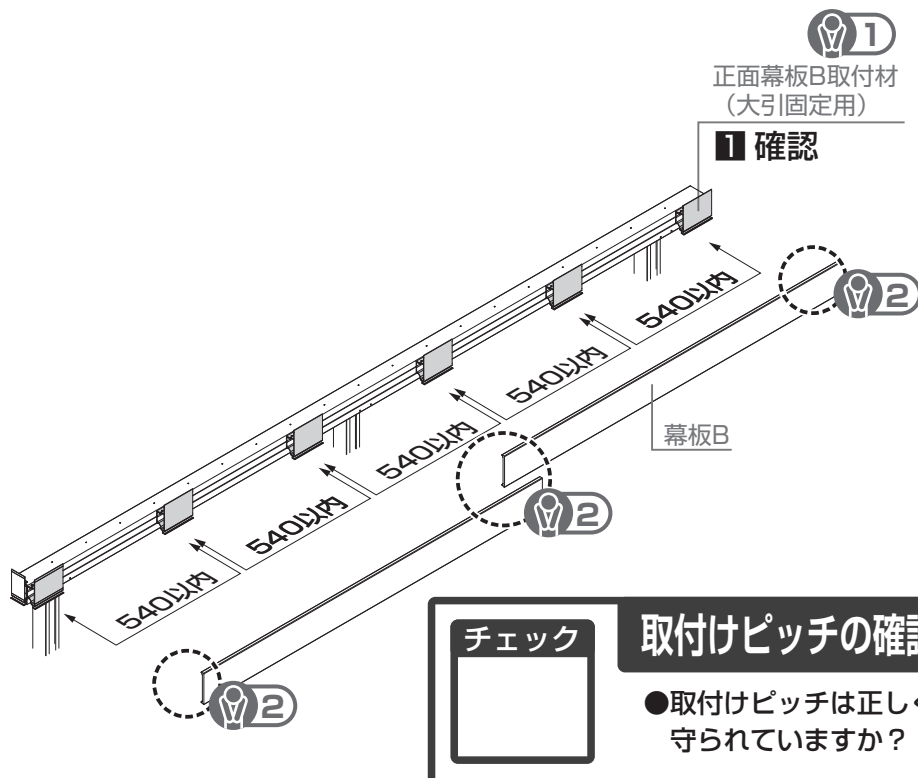
1: 正面幕板B取付材（大引固定用）を取付ける位置を確認

お願い 1

- 正面幕板取付材のピッチは、540mm以内になしてください。

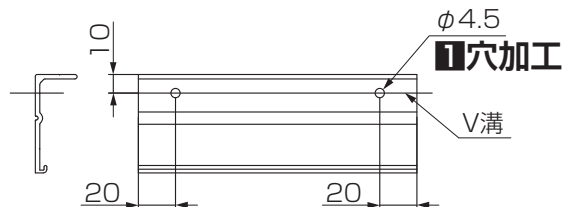
お願い 2

- 正面幕板B取付材（大引固定用）は、始まりと終わり、および幕板接続部に必ず取付けてください。
- 反りを防ぐために幕板Bは中心からネジ止めしてください。



9-2-2 正面幕板B取付材（大引固定用）の取付け

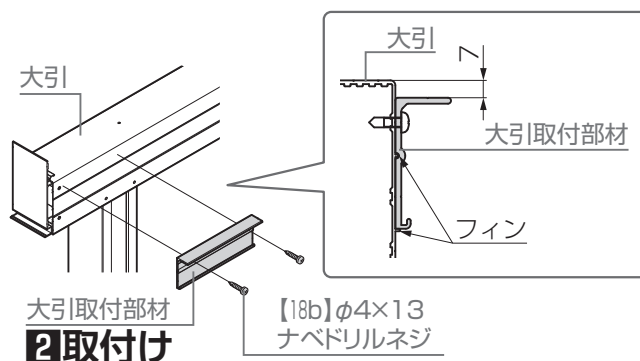
1: 大引取付部材にφ4.5の穴加工



お願い

- 必ず床板を施工する前に大引取付部材を取付けてください。

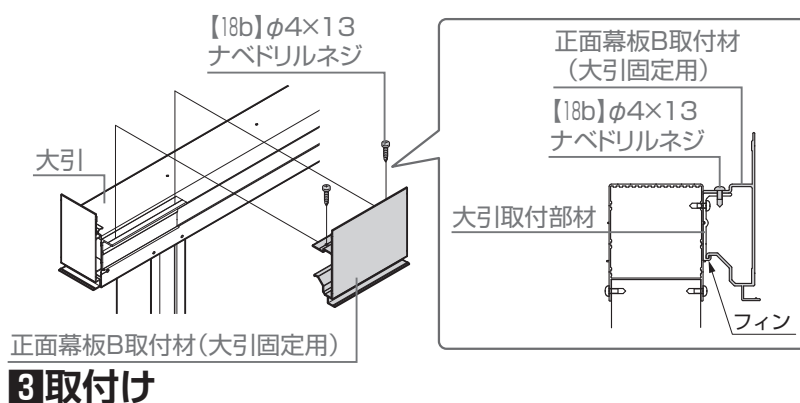
2: 大引取付部材を大引に【18b】で取付け



3: 正面幕板B取付材（大引固定用）を大引取付部材のフィンに引っかけ、【18b】で取付け

補足

- 幕板Bは床板施工後に取付けてください。



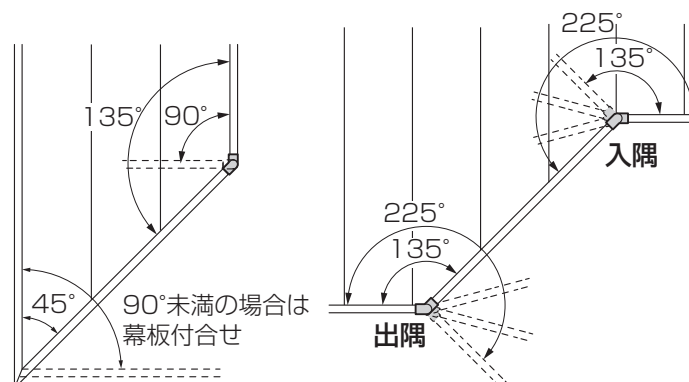
10 隅切り・R 施工・ステップデッキの施工 ※土間施工は対応していません。

10-1 床板取付上の注意

(1) 隅切り施工の注意

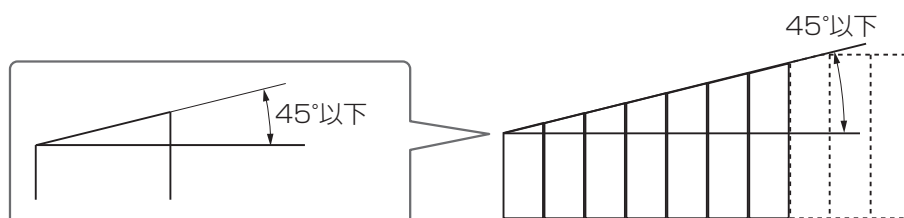
お願い

- フリーコーナーキャップの取付可能角度は90°～225°までです。



お願い

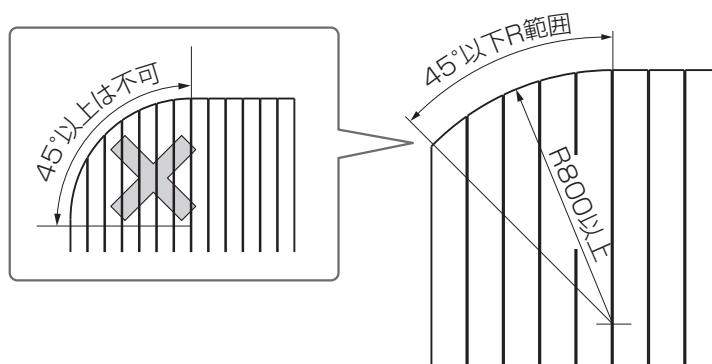
- 隅切りは45°以下にしてください。



(2) R施工の注意

お願い

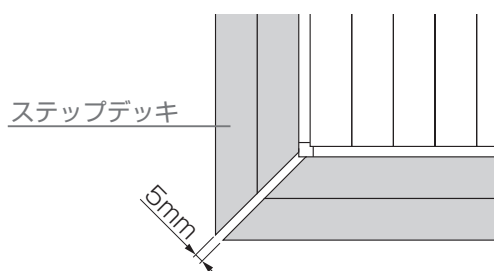
- RコーナーはR800以上にしてください。
- 床板のRコーナー納まりは正面側から45°の範囲までです。



(3) ステップデッキの注意

お願い

- ステップデッキの留切部の床板はすき間を5mmあけてください。



10-2 補助根太の取付け **オプション** ※特殊納まりの加工です。

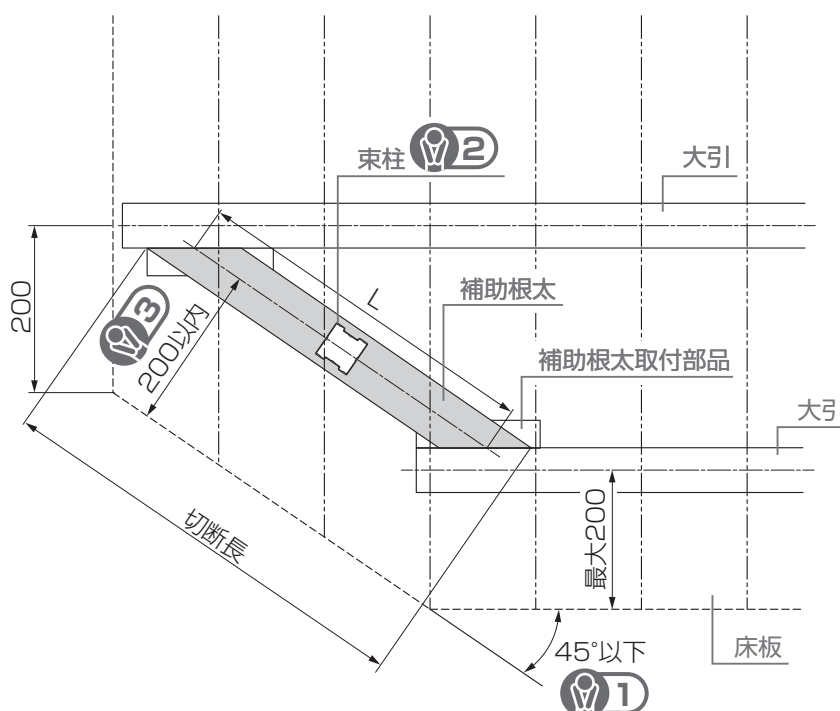
10-2-1 納まり確認

(1) 隅切り施工の確認

お願い 1
●角度切りは45°以下にしてください。

お願い 2
▼L寸法が800mm以上の場合▼
●補助根太の中間部に束柱を設置してください。
▼束石が密集する場合▼
●束石の向きを回転させるなどして束石どうしが干渉しないように設置してください。
または束柱が2本固定できる大きさの束石(□300×H100以上)を設置してください。

お願い 3
●床板の張り出しは、補助根太の芯から200mm以内にしてください。

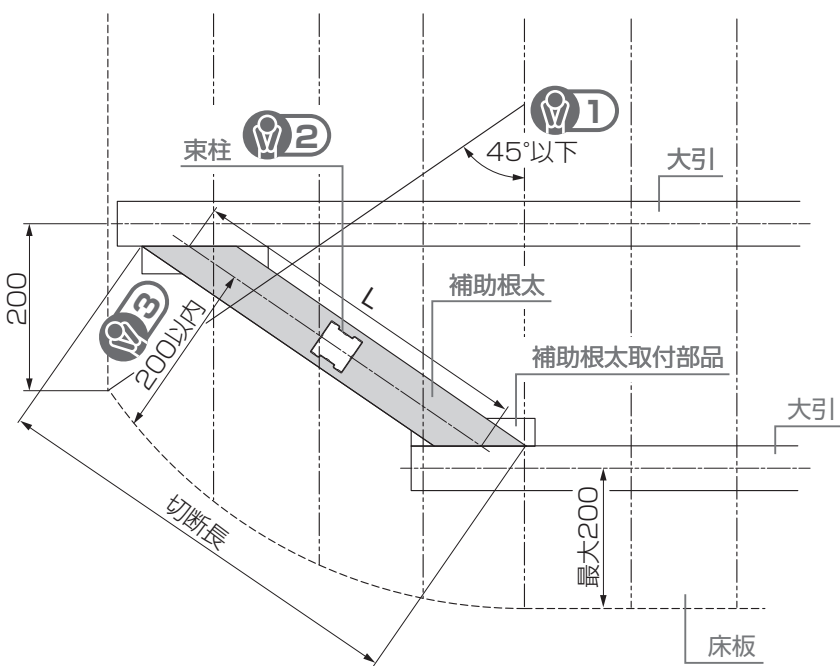


(2) R施工の確認

お願い 1
●R範囲は45°以下にしてください。

お願い 2
▼L寸法が800mm以上の場合▼
●補助根太の中間部に束柱を設置してください。
▼束石が密集する場合▼
●束石の向きを回転させるなどして束石どうしが干渉しないように設置してください。
または束柱が2本固定できる大きさの束石(□300×H100以上)を設置してください。

お願い 3
●床板の張り出しは、補助根太の芯から200mm以内にしてください。



10-2 補助根太の取付け オプション

10-2-2 補助根太の取付け

お願い

▼ L寸法が800mm以上の場合 ▼

- 補助根太の代わりに大引を使用し、束柱を2本設置してください。

1: L寸法を実測して、補助根太を切断

2: 補助根太取付部品に、φ4.5の穴加工

3: 補助根太取付部品の上部を、大引のフィンにひっかける

4: 補助根太取付部品を大引に【15a】で取付け

5: 補助根太に4ヶ所、φ4.5の穴加工

6: 補助根太を補助根太取付部品に【15a】で取付け

7: ネジカバーを取付け

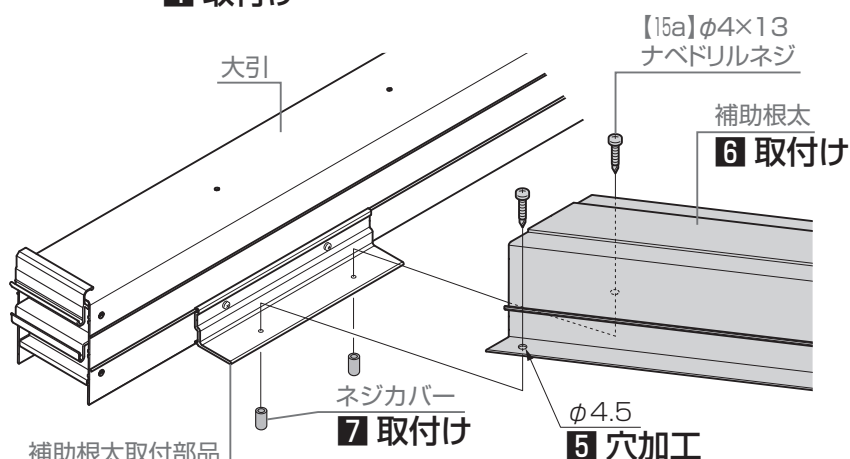
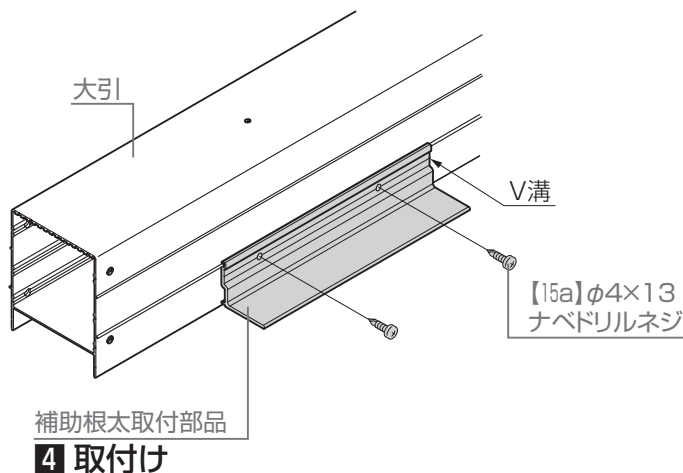
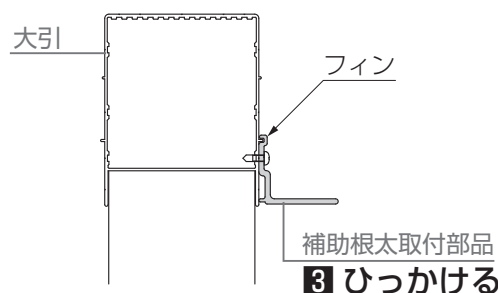
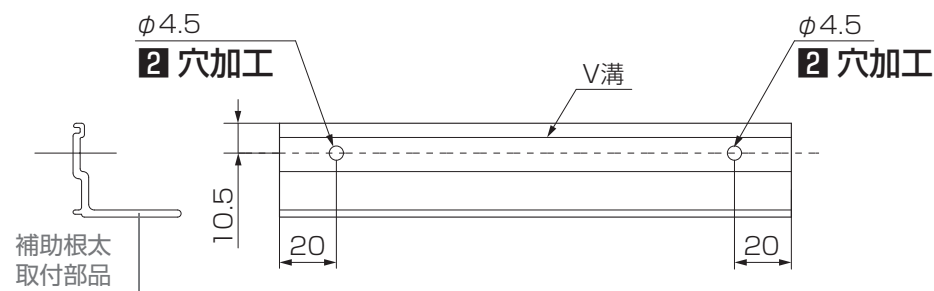
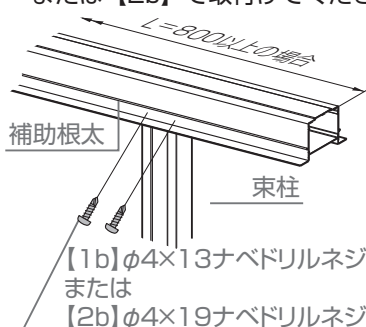
注意

- ネジカバーを取付けないと、ネジの先端でケガをするおそれがあります。

補足

▼ L寸法が800mm以上の場合 ▼

- 束柱を補助根太の中央部に【1b】または【2b】で取付けてください。



10-3 幕板Aの取付け

10-3-1 コーナー幕板A取付材(角度切り用)と正面幕板A取付材(床板固定用)の取付け

お願い 1

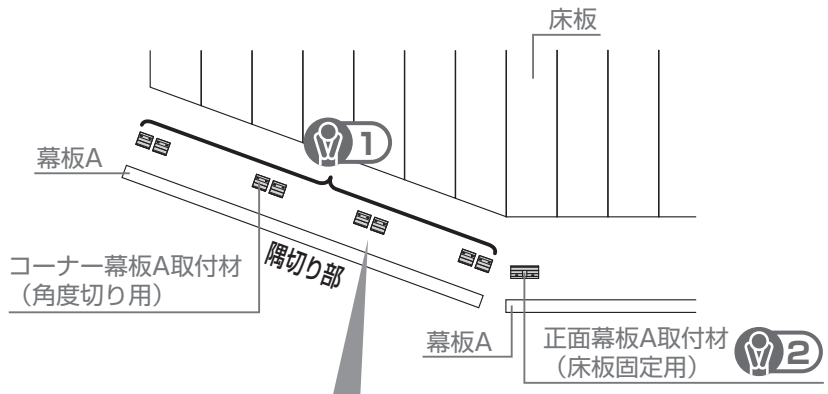
- 隅切り部のコーナー幕板A取付材(角度切り用)は両端部と床板1枚おきに取付けてください。また、床板1枚につき、2箇所取付けてください。

お願い 2

- 正面幕板A取付材(床板固定用)は、隅切り部の始まりと終わり、および幕板接続部には必ず取付けてください。

1: コーナー幕板A取付材(角度切り用)を取付け(P.31参照)

2: 幕板金具A2を取付け(P.33参照)



お願い

- 隅切り部のコーナー幕板A取付材(角度切り用)は床板1枚につき、2箇所取付けてください。

10-3-2 幕板Aの加工

お願い

- 幕板Aフリーコーナーキャップの取付可能角度範囲は、90°~225°です。その他の角度は、幕板を角度切りして取付けてください。(P.50参照)

補足

- 幕板Aフリーコーナーキャップは分離していますが、幕板に固定した段階で一体になります。

1: 幕板Aフリーコーナーキャップ1と、幕板Aフリーコーナーキャップ2を組んで、床板のコーナー部に当てる

2: 幕板埋込寸法(※1)を測って、床板にマーキング

3: 幕板をマーキングした部分で切断加工

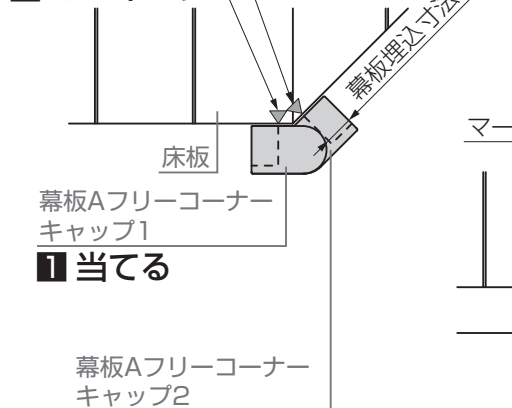
4: 幕板Aを取付け(P.34-P.39参照)

マーキング

2 マーキング

マーキング

2 マーキング

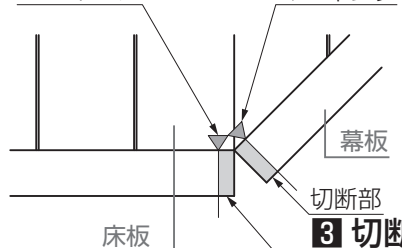


1 当てる

幕板Aフリーコーナーキャップ2

1 当てる

マーキング



3 切断加工

切断部

3 切断加工

10-3-3 フリーコーナーキャップの取付け

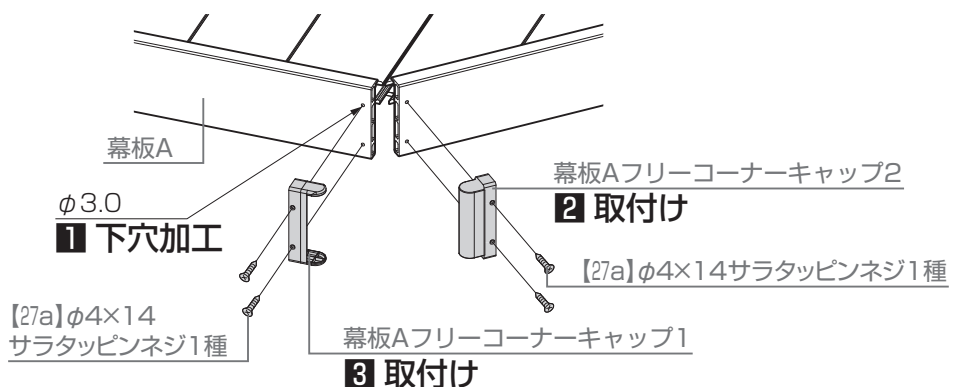
1: 幕板Aフリーコーナーキャップ1と、幕板Aフリーコーナーキャップ2を組んで、幕板フリーコーナー部に当てて、幕板Aにφ3.0の下穴加工

お願い

- 下穴を必ずあけてください。あけないと幕板が割れることがあります。

2: 幕板Aフリーコーナーキャップ2を幕板Aに【27a】で取付け

3: 幕板Aフリーコーナーキャップ1を幕板Aに【27a】で取付け



φ3.0 下穴加工

【27a】φ4×14
サラタッピンネジ1種

3 取付け

幕板Aフリーコーナーキャップ2

2 取付け

【27a】φ4×14サラタッピンネジ1種

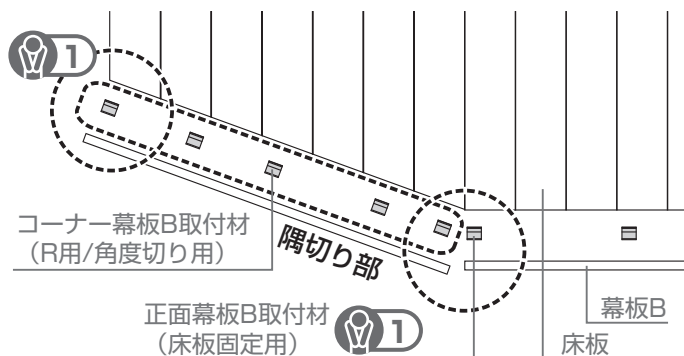
10-4 幕板Bの取付け

10-4-1 | コーナー幕板B取付材(R用/角度切り用)と正面幕板B取付材(床板固定用)の取付け

(1) 隅切り施工の確認

お願い 1

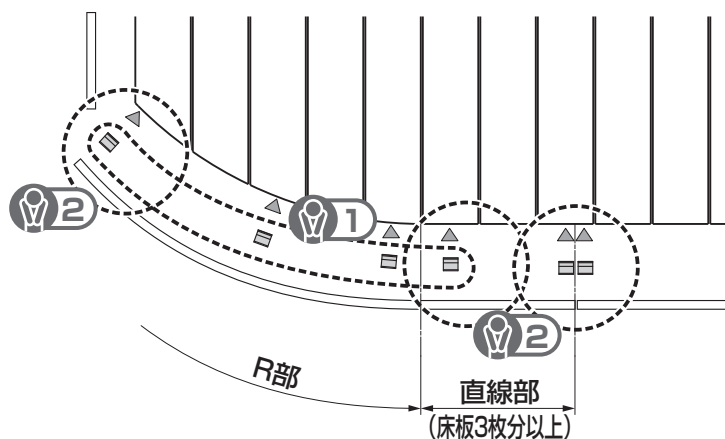
- 隅切り部はコーナー幕板B取付材(R用/角度切り用)を床板1枚おきに取付けてください。
- 直線部と隅切りの始まりと終わりに正面幕板B取付材(床板固定用)を取付けてください。



(2) R施工の取付け

お願い 1

- Rコーナー部はコーナー幕板B取付材(R用/角度切り用)を床板1枚おきに取付けてください。
- ▼Rの大きさが途中で変わる場合▼
- それぞれのRの始まりと終わりにコーナー幕板B取付材(R用/角度切り用)を取付けてください。



お願い 2

- コーナー幕板B取付材(R用/角度切り用)は、直線部・コーナー部の始まりと終り、および幕板接続部には必ず取付けてください。
- 直線部分は床板3枚分以上確保してください。

補足

- コーナー幕板B取付材は数に余裕がある場合があります。R施工をする際、現場状況により追加してください。

10-4-2 | 幕板Bの加工

お願い

- 幕板Bフリーコーナーキャップの取付可能角度範囲は、90°~225°です。(P.50参照)

- 1: 幕板Bフリーコーナーキャップ1と幕板Bフリーコーナーキャップ2を組んで、床板のコーナー部に当てる
- 2: コーナーキャップ端部から20mmのみ込んだ位置(※1)の床板にマーキング
- 3: 幕板Bをマーキングした部分で切断加工

マーキング

2 マーキング

マーキング

2 マーキング

マーキング

マーキング

マーキング

マーキング

マーキング

マーキング

マーキング

マーキング

マーキング

マーキング

マーキング

マーキング

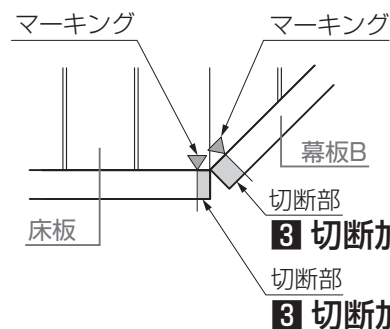
マーキング



マーキング

マーキング

マーキング



10-4 幕板Bの取付け

10-4-3 幕板Bの取付け

(1) 隅切り施工の取付け

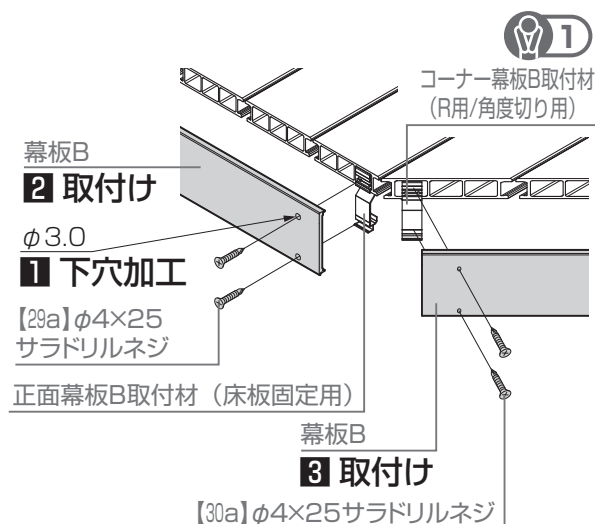
1: 幕板Bにφ3.0の下穴加工

お願い

- 下穴を必ずあけてください。あけないと幕板が割れることがあります。

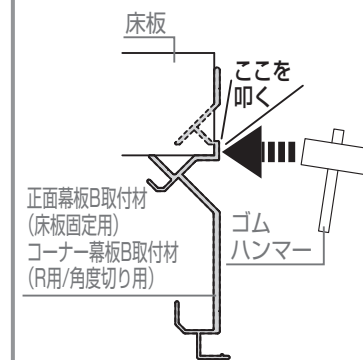
2: 幕板Bを正面幕板B取付材(床板固定用)に、【29a】で取付け

3: 幕板Bをコーナー幕板B取付材(R用/角切り用)に、【30a】で取付け



お願い 1

- 正面幕板B取付材(床板固定用)、コーナー幕板B取付材(R用/角度切り用)を床板にあて、ゴムハンマーなどで叩いて確実にめ込んでください。



(2) R施工の取付け

1: 幕板Bを正面幕板B取付材(床板固定用)に、【29a】で取付け

2: 幕板Bをコーナー幕板B取付材(R用/角切り用)に【30a】で取付け

お願い 1

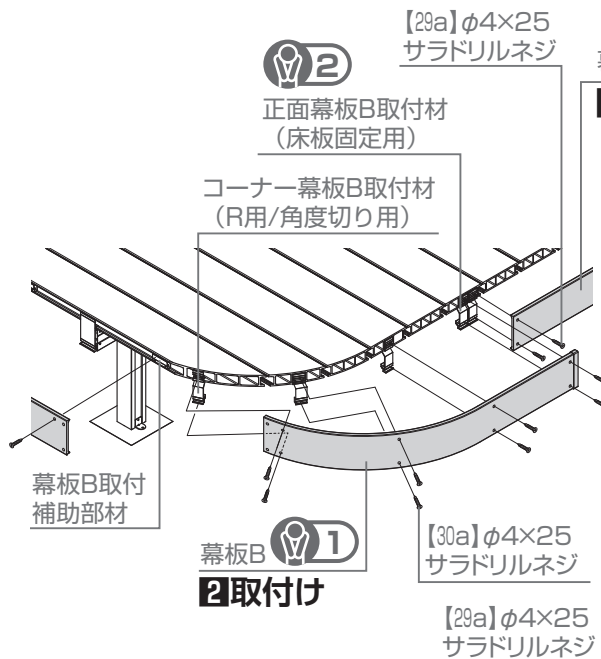
- 幕板Bは必ず1、2の順番で取付けてください。

お願い

- 正面側の幕板Bは必ず直線部で連結してください。
- R部分の半径は、800mm以上にしてください。

補足

- 連結部の取付けはP.47 を参照してください。
- 床板ごとにコーナー幕板B取付材(R用/角切り用)を取付けると、よりR形状が出しやすくなります。

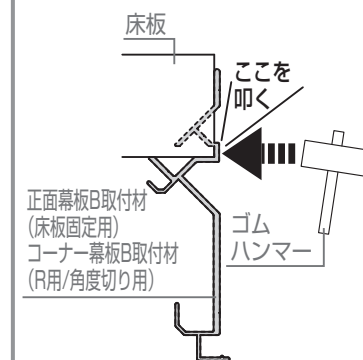


お願い 1

1 取付け

お願い 2

- 正面幕板B取付材(床板固定用)、コーナー幕板B取付材(R用/角度切り用)を床板にあて、ゴムハンマーなどで叩いて確実にめ込んでください。



10-4-4 フリーコーナーキャップの取付け

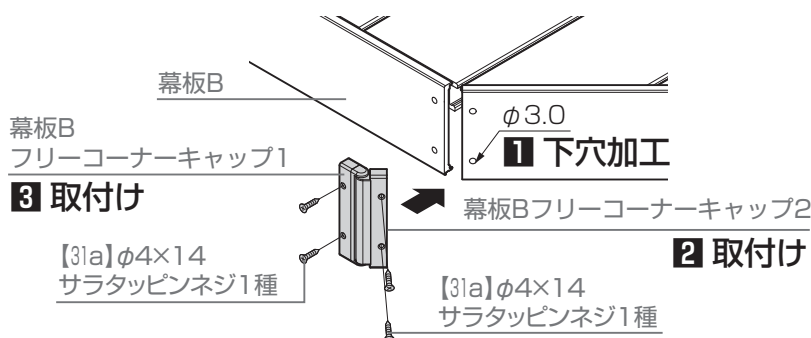
1: 幕板Bフリーコーナーキャップ1と幕板Bフリーコーナーキャップ2を組んで、幕板コーナー部に当てて幕板Bにφ3.0の下穴加工

お願い

- 下穴を必ずあけてください。あけないと幕板が割れることがあります。

2: 幕板Bフリーコーナーキャップ2を幕板Bに、【31a】で取付け

3: 幕板Bフリーコーナーキャップ1を幕板Bに、【31a】で取付けて

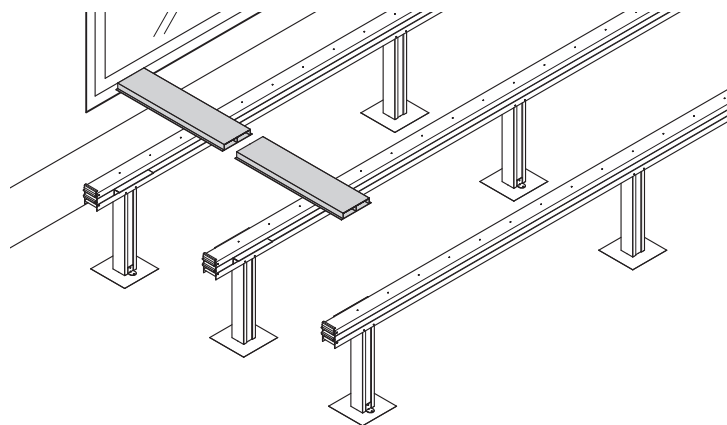


11 床板補強材の取付け

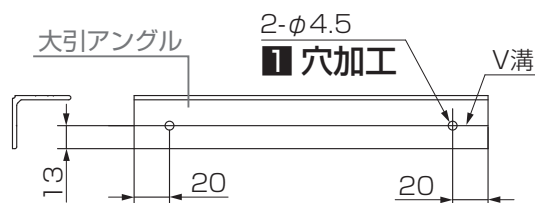
お願い

▼ T-14以上のフェンス柱やガーデンルームの柱を取付ける場合 ▼

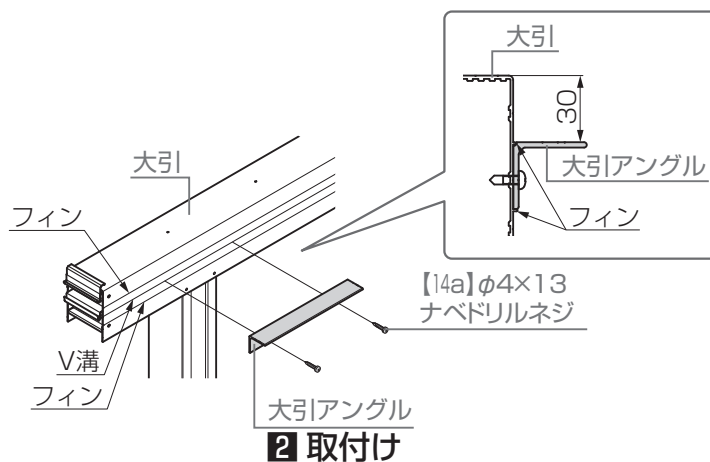
- 床板補強材の取付けが必要となります。
- 床板等を固定した後の施工は非常に困難なため、各取説を参照して、確実に施工してください。



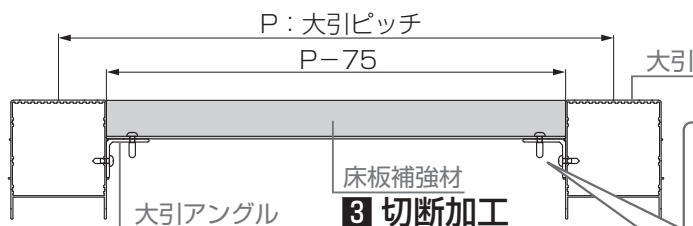
1: 大引アングルに $\phi 4.5$ の穴加工



2: 大引アングルを大引のフィンに引っかけて【I4a】で取付け



3: 床板補強材を大引きピッチ75mmで切断加工



4: 床板補強材に $\phi 4.5$ の穴加工

お願い

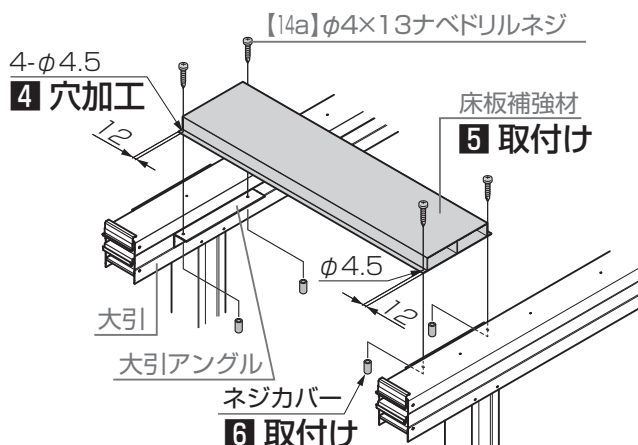
- $\phi 4.5$ の穴加工は4ヶ所行なってください。

5: 床板補強材を大引アングルに【I4a】で取付け

6: 床板補強材付属のネジカバーを取付け

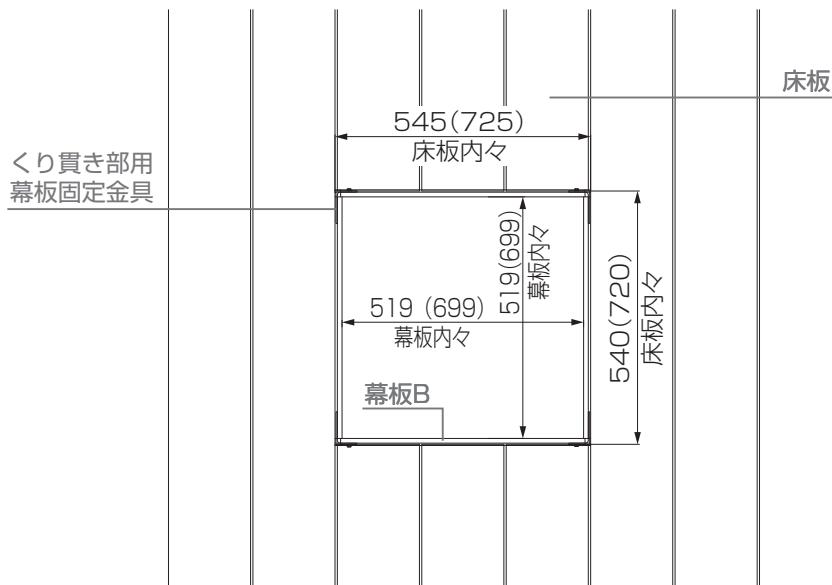
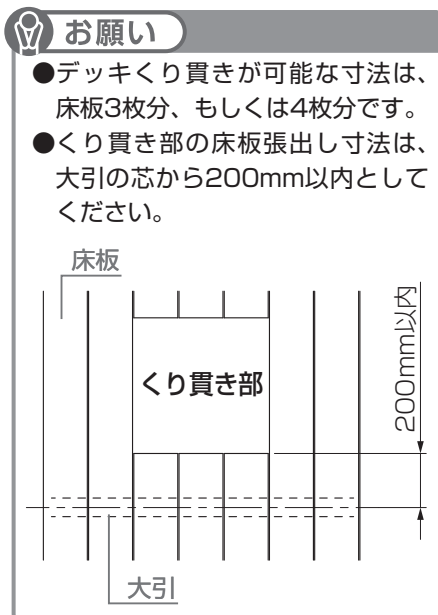
注意

- ネジカバーを取付けないと、ネジの先端でケガをするおそれがあります。



12-1 くり貫き部の施工

12-1-1 くり貫き納まり図 ()は床板4枚分の場合の寸法です。



12-1-2 正面幕板B取付材(床板固定用)の取付け

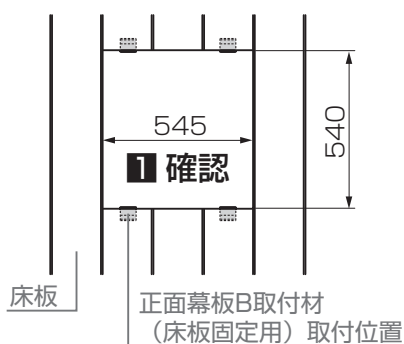
1: くり抜き部が下記寸法あいているか確認

▼ 床板3枚分の場合 ▼

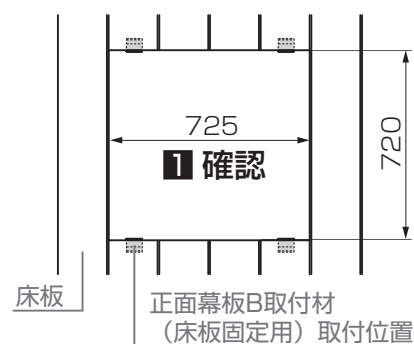
内々寸法: 545mm×540mm

▼ 床板4枚分の場合 ▼

内々寸法: 725mm×720mm

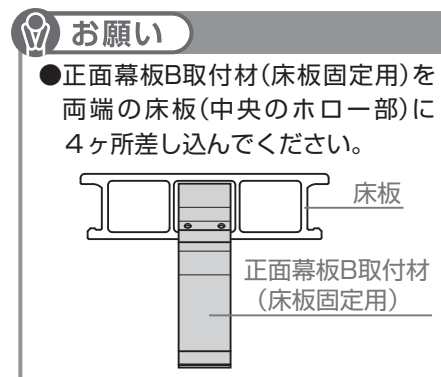
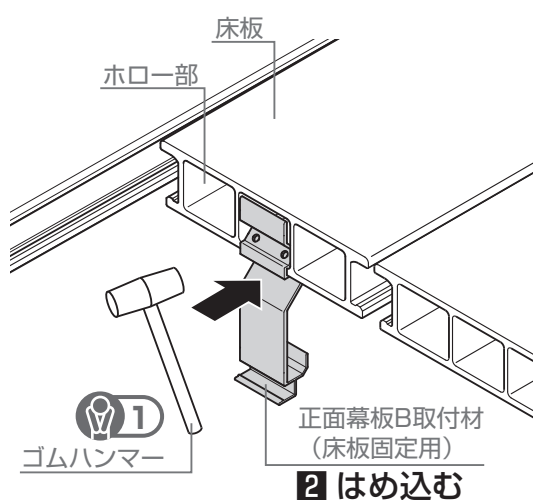
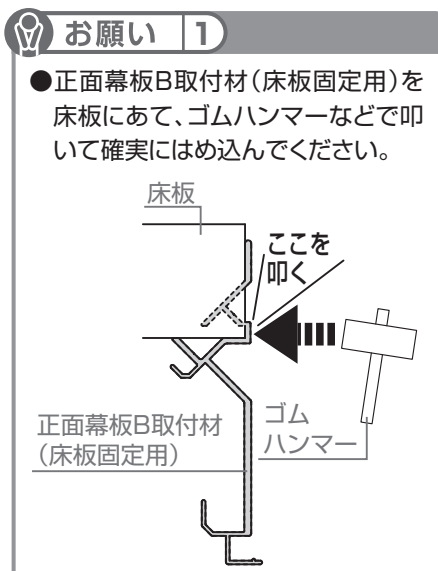


▲ 床板3枚分の場合 ▲



▲ 床板4枚分の場合 ▲

2: 正面幕板B取付材(床板固定用)を床板にはめ込む



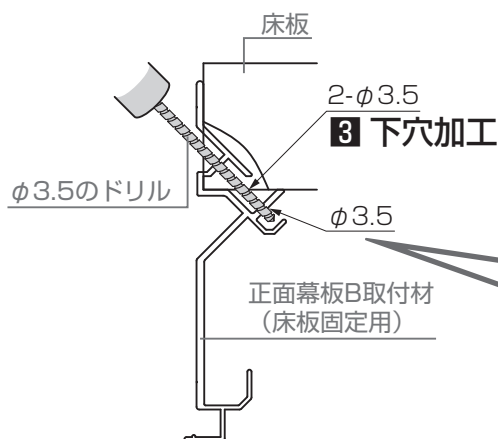
12-1 くり貫き部の施工

12-1-2 正面幕板B取付材(床板固定用)の取付け

- ③: 床板下面と正面幕板B取付材(床板固定用)を正面幕板B取付材(床板固定用)の穴に従ってφ3.5の下穴加工

お願い

- 正面幕板B取付材(床板固定用)がずれないように押さえながら穴をあけてください。



注意

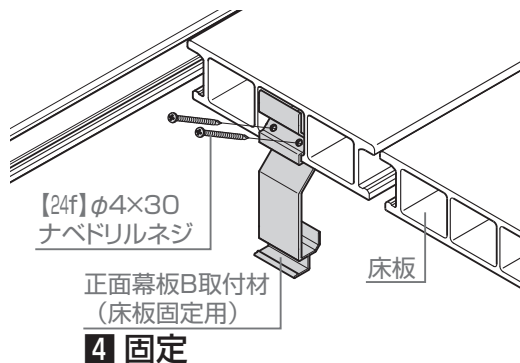
- 下穴は、正面幕板B取付材(床板固定用)に貫通させないでください。貫通したドリルで手を傷つけるおそれがあります。

正面幕板B取付材
(床板固定用)



ドリル

- ④: 正面幕板B取付材(床板固定用)を、床板のホコ一部に【24f】で固定



12-1-3 板の取付け ※図は床板3枚抜きの場合です。

(1) 正面側の取付け

- ①: 幕板B(木口側)を下記寸法で切断加工

▼ 床板3枚分の場合 ▼

545mm

▼ 床板4枚分の場合 ▼

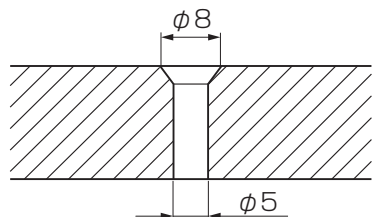
725mm

- ②: 幕板B(木口側)の両端に切り欠き加工

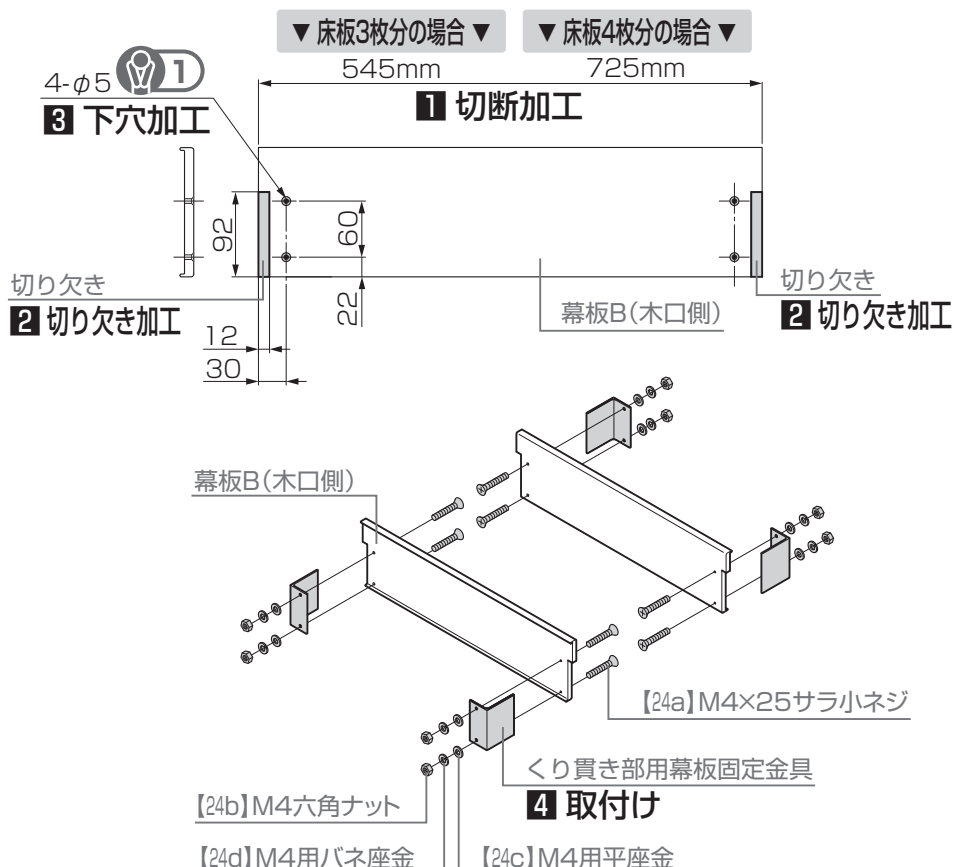
- ③: 幕板B(木口側)にφ5の下穴を4箇所加工

お願い ①

- 幕板B(木口側)のφ5穴にφ8サラ取り加工をしてください。



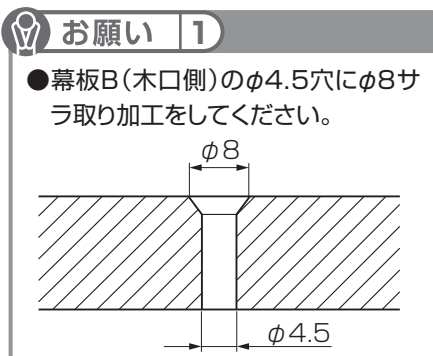
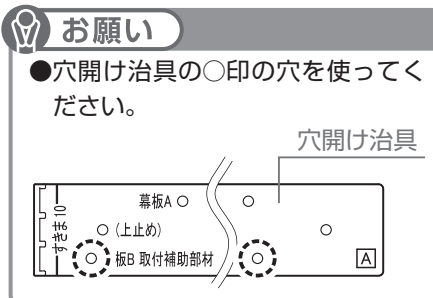
- ④: くり貫き部用幕板固定金具を幕板B(木口側)の両端に【24a】【24b】【24c】【24d】で取付け



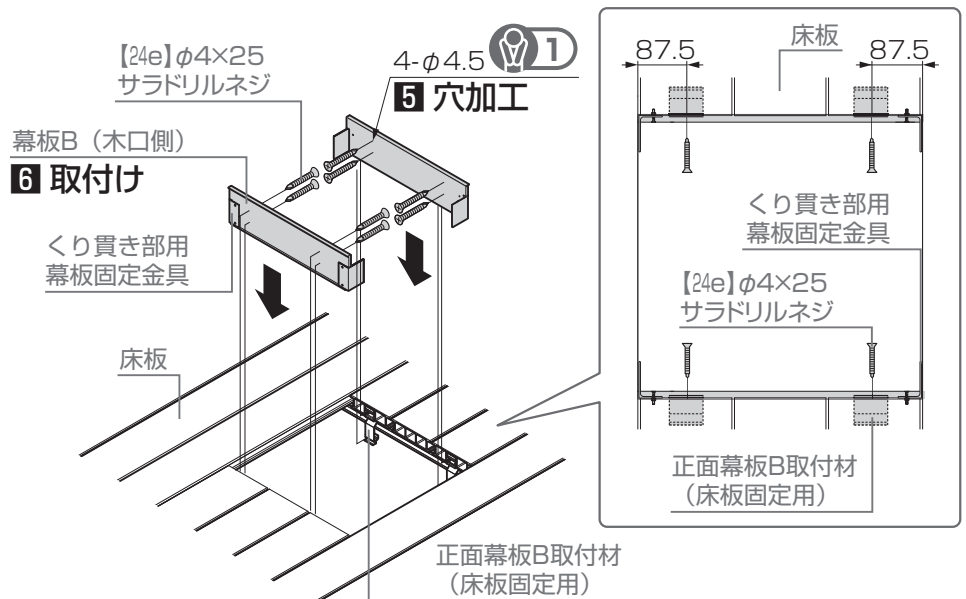
12-1 くり貫き部の施工

12-1-3 板の取付け ※図は床板3枚抜きの場合です。

5: 穴開け治具を使用して幕板B(木口側)にφ4.5の穴加工



6: 幕板B(木口側)を正面幕板B取付材(床板固定用)に【24e】で取付け



(2) 側面側の取付け

1: 幕板B(側面側)を下記寸法で切断加工

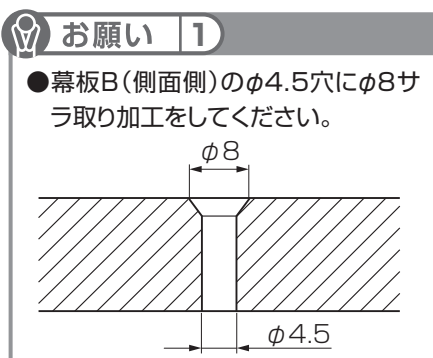
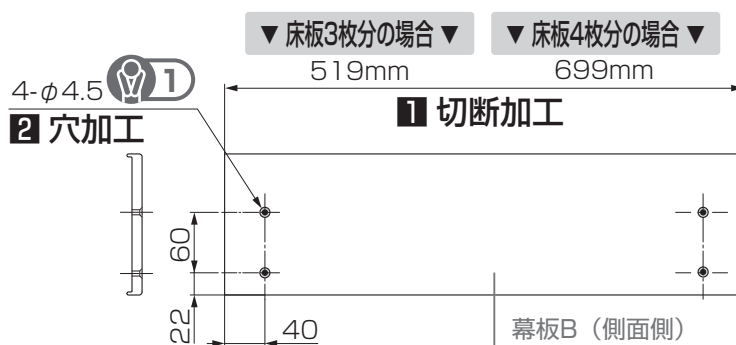
▼ 床板3枚分の場合 ▼

519mm

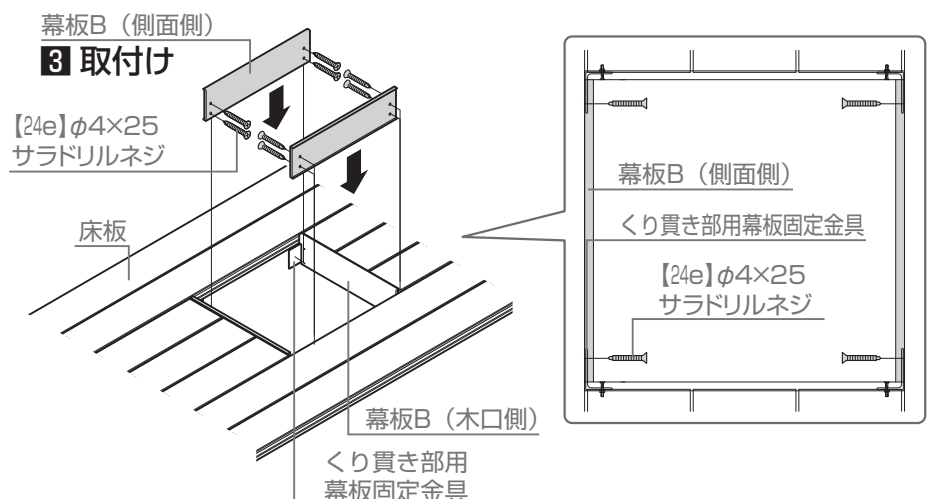
▼ 床板4枚分の場合 ▼

699mm

2: 幕板B(側面側)にφ4.5の下穴を4箇所加工



3: 幕板B(側面側)をくり貫き部用幕板固定金具に【24e】で取付け



12-2 躯体付けアングルの施工

※躯体面と大引との距離が200mmを超える場合の作業です。

1: 躯体付けアングルにφ7の穴加工

お願い 1

- φ7の穴は455mmピッチ以内であけてください。

お願い

- 必ず床板を施工する前に躯体付けアングルを取付けてください。

2: 躯体付けアングルを躯体に【16a】で取付け

お願い

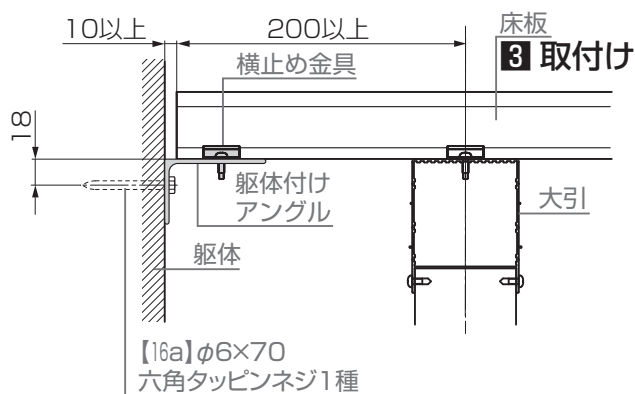
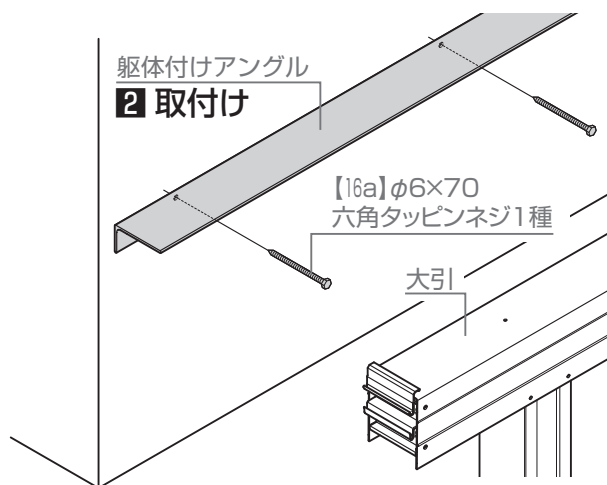
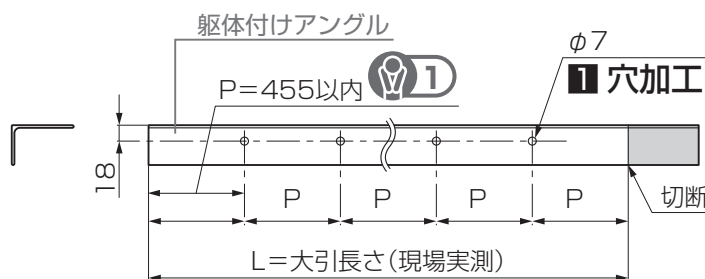
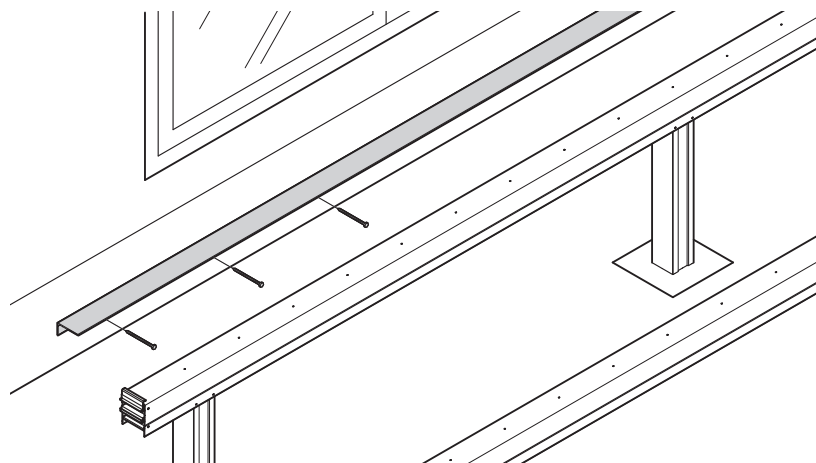
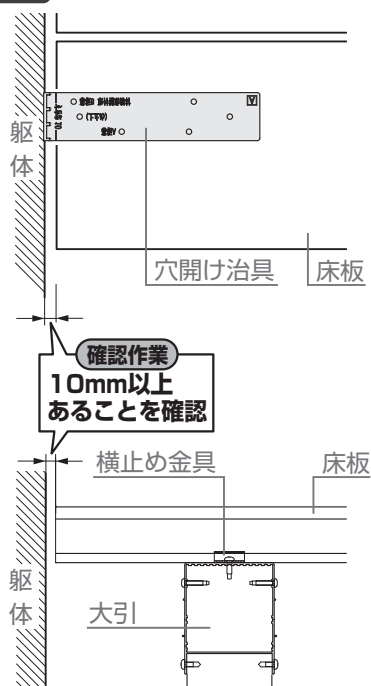
- 【16a】は躯体の構造部材に取付けてください。
- 躯体付けアングル上面と、大引上面が同じ高さになるように取付けてください。

3: 床板を横止め金具で取付け
(φ3.5穴加工)

チェック

床板と躯体のすき間確認

- 床板と躯体のすき間は10mm以上ありますか？



12-3 床板キャップの施工

1: 床板キャップを床板にはめ込む

補足

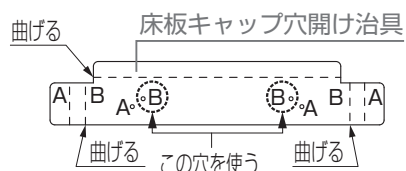
●床板キャップには上下があります。



2: 床板裏面に穴開け治具をあてφ3.5の貫通穴加工

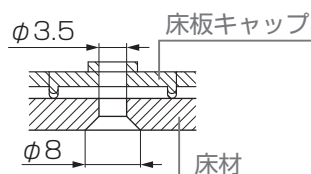
補足

●床板キャップ穴開け治具は、Bの線で折り曲げ、Bの穴を使用して加工をしてください。



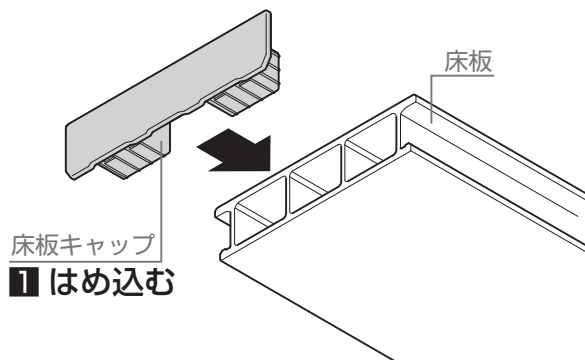
お願い

●φ3.5貫通穴にφ8サラ取り加工をしてください。



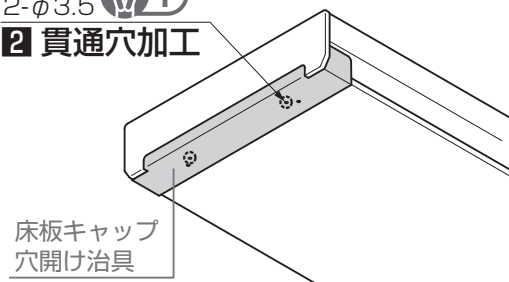
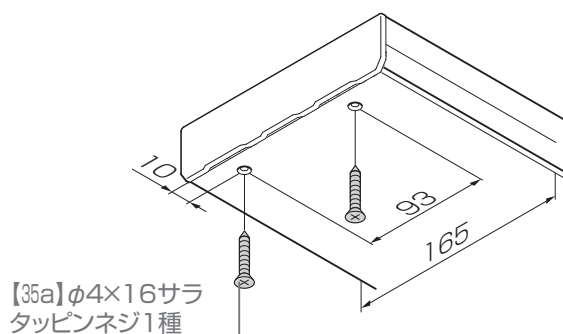
●加工の際は、床板キャップが動かないように手で押さえながら加工してください。

3: 床板キャップを床板に【35a】で固定



1 はめ込む

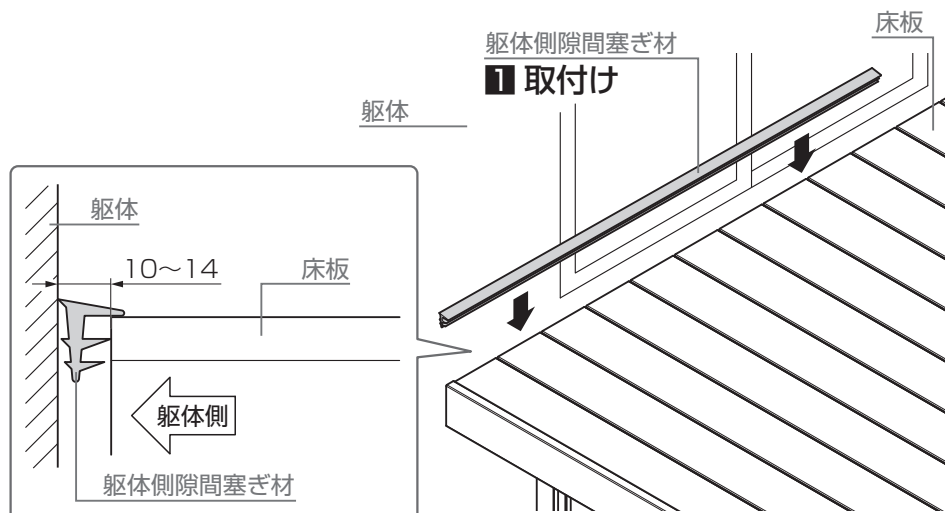
2-φ3.5 1 貫通穴加工

床板キャップ
穴開け治具【35a】φ4×16サラ
タッピンネジ1種

3 固定

12-4 躯体側隙間塞ぎ材の施工

1: 躯体側隙間塞ぎ材を床板と躯体の間に押し込んで取付け



躯体側隙間塞ぎ材

1 取付け

躯体

床板

12-5 ポイントライトの施工

1: ポイントライトを取付ける部材にφ55の穴加工

! 注意

●大引間(※1)にはポイントライトを取付けないでください。床板が破損し、ケガをするおそれがあります。

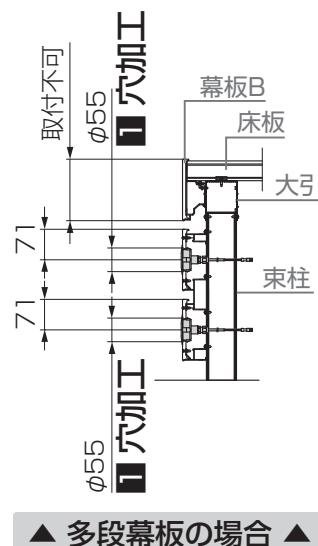
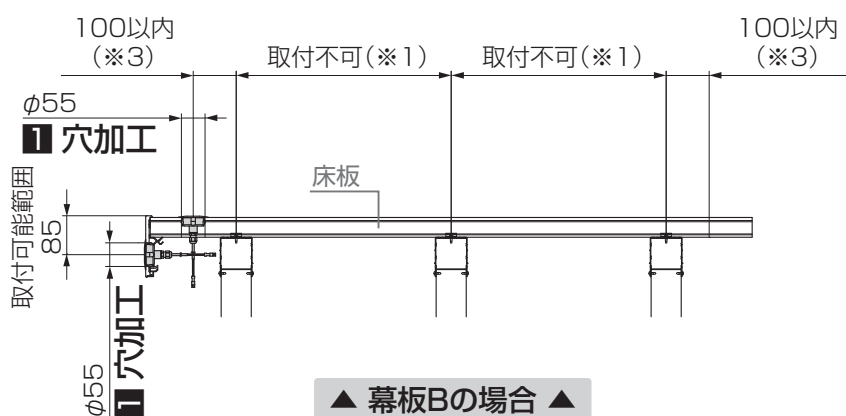
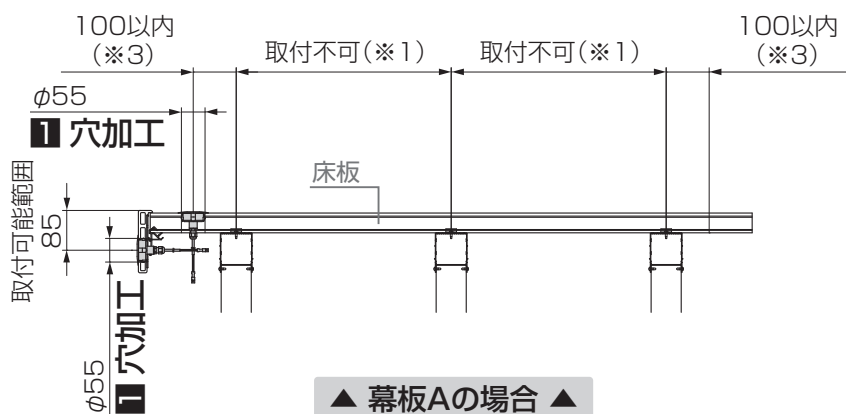
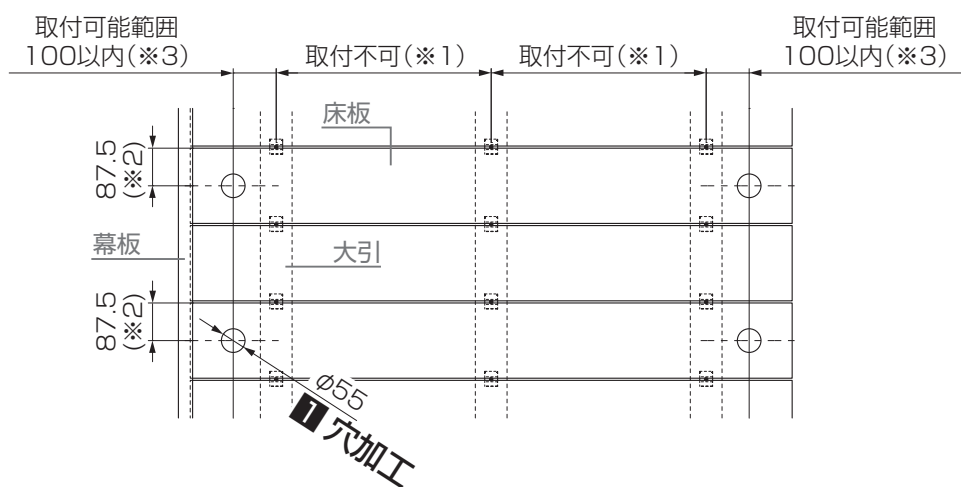
💡 お願い

●ポイントライトの取付可能範囲は、床板幅の中央(※2)で、大引芯から100mm以内(※3)です。

▼ 幕板を大引固定する場合 ▼

●ポイントライトの取付けはできません。

2: ポイントライトをポイントライトに付属の取付説明書を参照して取付け



13 関連商品への接続

13-1 テラスとの接続 ※製品の取付けは各製品の取付け説明書を参照してください。

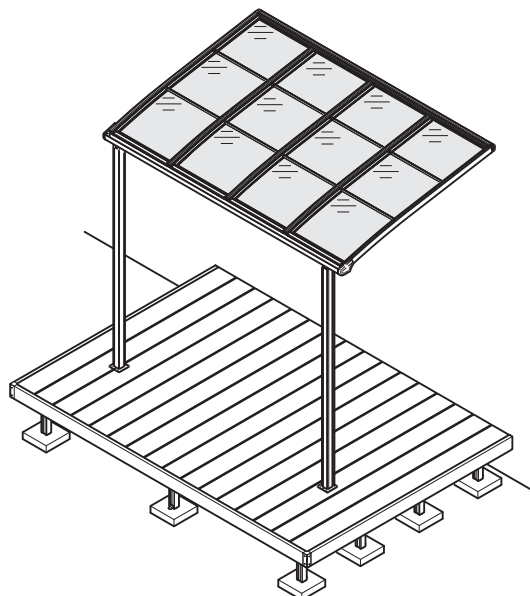
お願い

▼ デッキが既に設置されている場合 ▼

- デッキの床板を外してテラス本体を組立ててください。

▼ テラス柱の設置場所に大引がある場合 ▼

- 別紙のテラス取付け説明書にしたがってテラス柱を移動してください。
(テラス柱と大引の間を30mm以上あけて取付けてください。)
- 柱との接続は別売りの「テラス回り固定アングルセット」・「テラス柱化粧カバーセット」を使用してください。

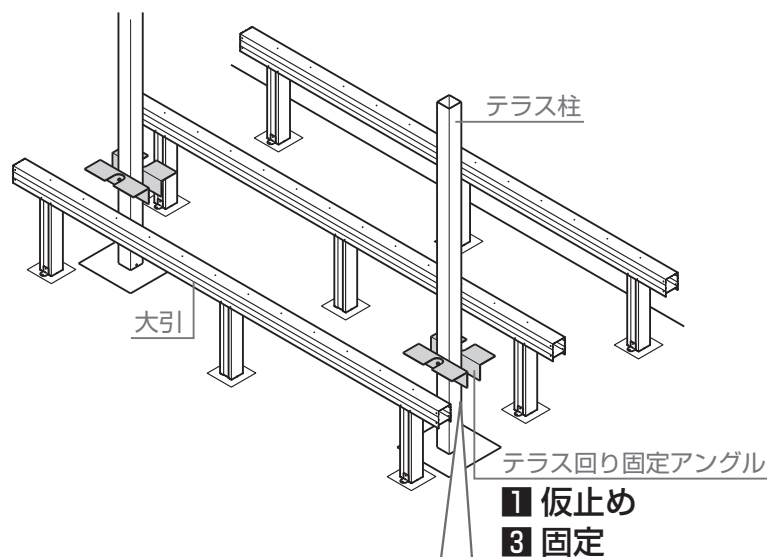
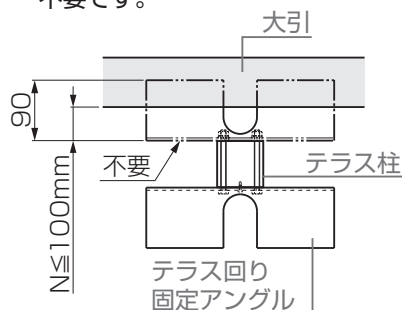


13-1-1 テラス回り固定アングルの取付け

お願い

▼ テラス柱と大引の間(N寸法)が100mm以下の場合 ▼

- 片側のテラス回り固定アングルは不要です。



- 1: テラス回り固定アングルをテラス柱にφ4×13ナベドリルネジで仮止め

- 2: テラス柱にφ9の下穴加工

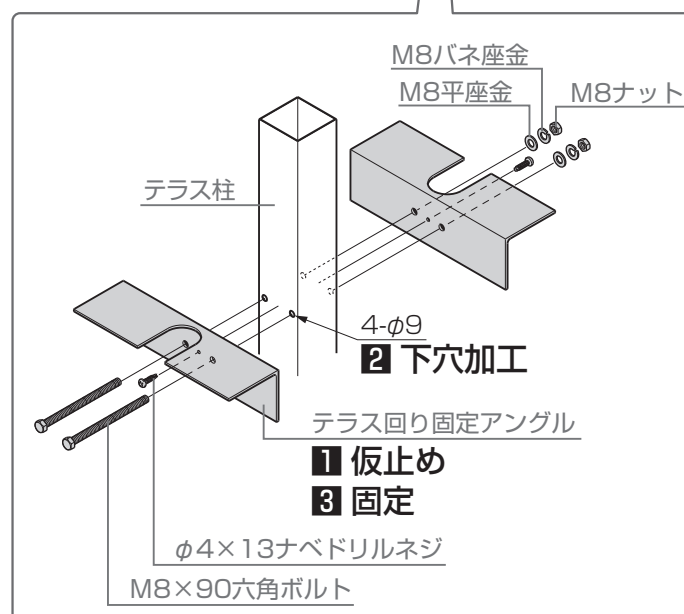
- 3: テラス回り固定アングルをテラス柱にM8×90六角ボルト、M8平座金、M8バネ座金、M8ナットで固定

お願い

- テラス回り固定アングルは大引と平行になるように取付けてください。
- テラス回り固定アングルと大引の上面の高さを合わせて取付けてください。

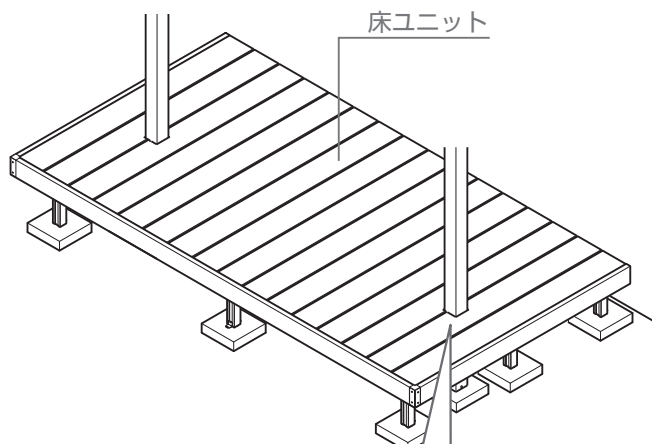
▼ 雨どい付きの場合 ▼

- いったん雨どいを外してから取付けてください。

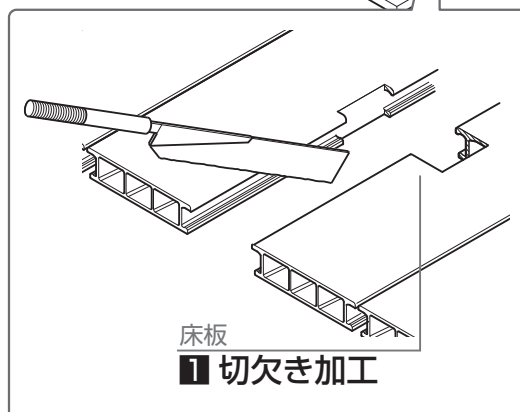


13-1 テラスとの接続

13-1-2 床材の取付け

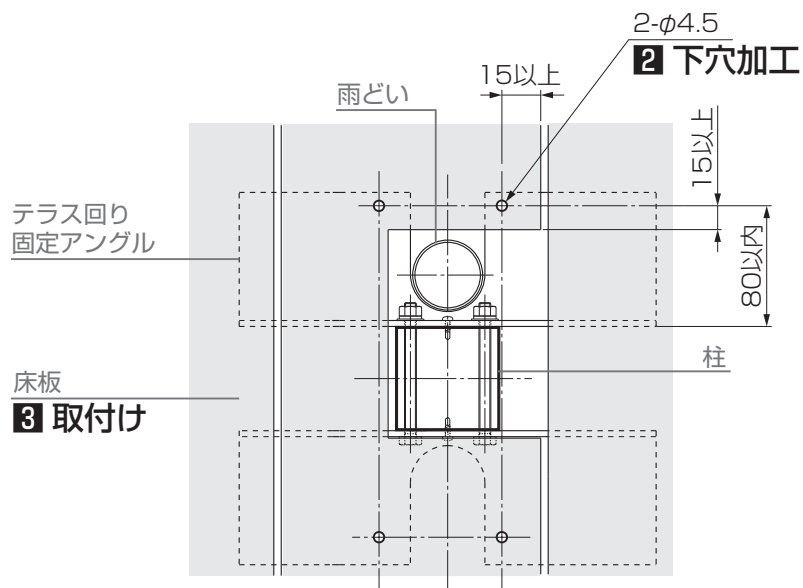


1: 床板の柱にあたる部分を切欠き加工



2: 床板のテラス回り固定アングル位置に $\phi 4.5$ の下穴 加工

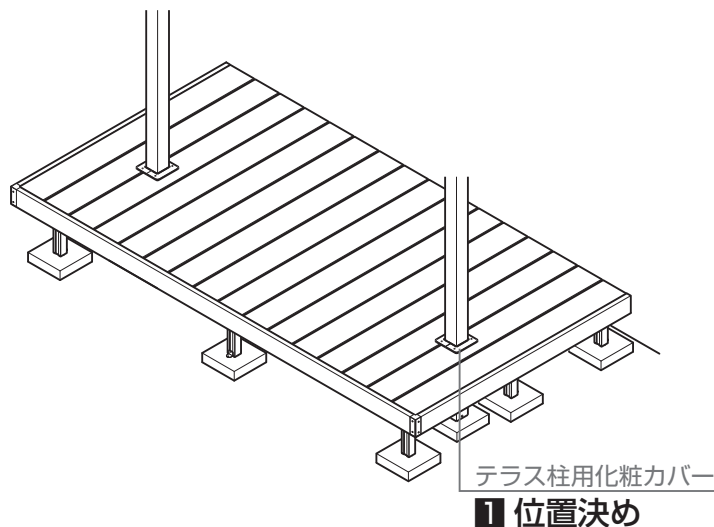
3: 床板をテラス回り固定アングルの床板 取付けネジで取付け



13-1 テラスとの接続

13-1-3 テラス柱用化粧カバーの取付け

- 1: テラス柱用化粧カバーを柱にあて、
床板に固定の位置決め



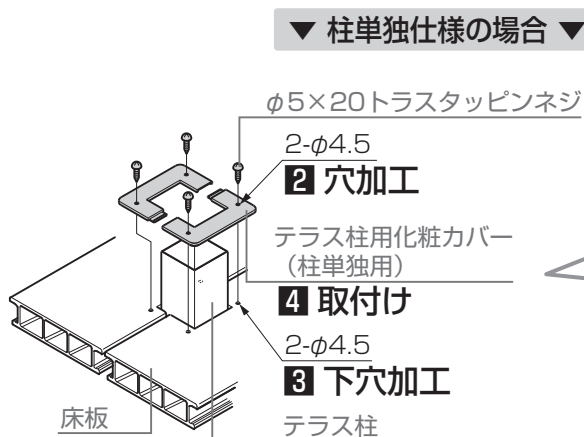
- 2: テラス柱用化粧カバーに $\phi 4.5$ の穴加工

お願い

- 床板に固定できる位置に穴をあけてください。

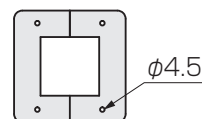
- 3: テラス柱用化粧カバーをガイドに使用し、床板に $\phi 4.5$ 下穴加工

- 4: テラス柱用化粧カバーを床板に $\phi 5 \times 20$ トラスタッピンネジで取付け

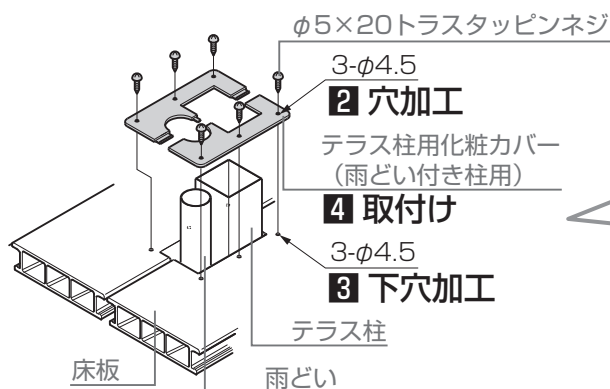


お願い

- 穴加工は、4隅にしてください。

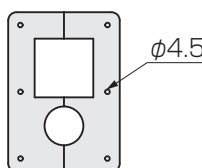


▼ 雨どい付き仕様の場合 ▼



お願い

- 穴加工は、4隅および中央部にしてください。

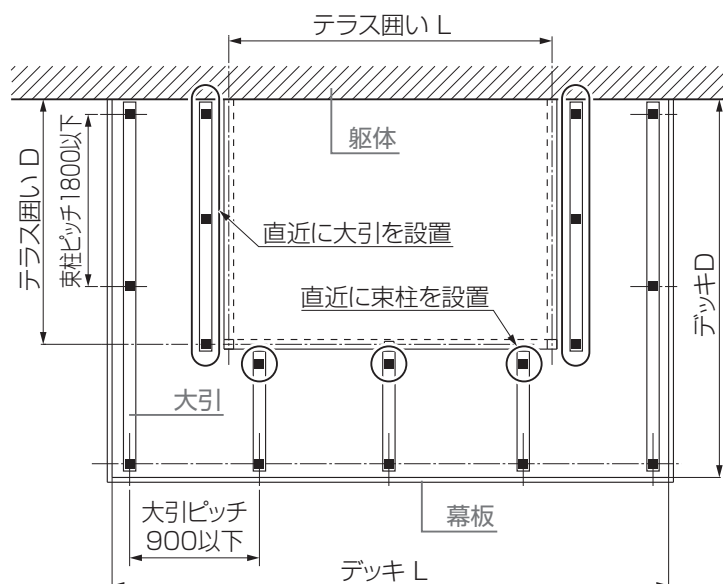
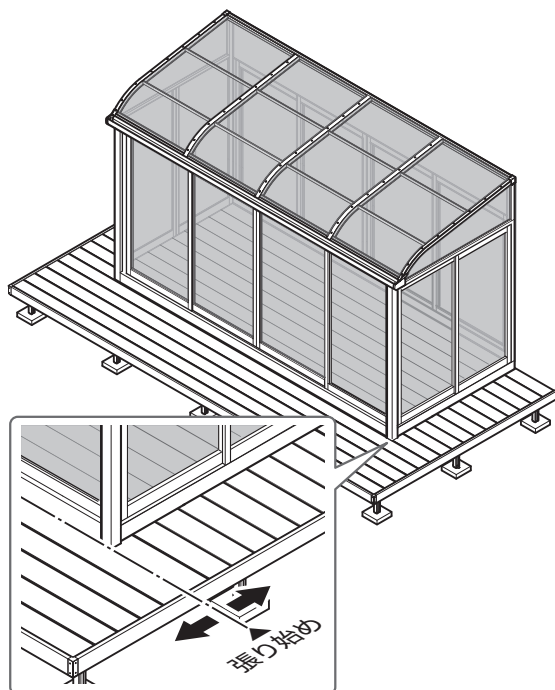


13-2 テラス囲い、ルームトラスとの接続

※製品の取付けは、「テラス囲いの各取付け説明書」、「ルームトラス 取付け説明書」を参照してください。

お願い

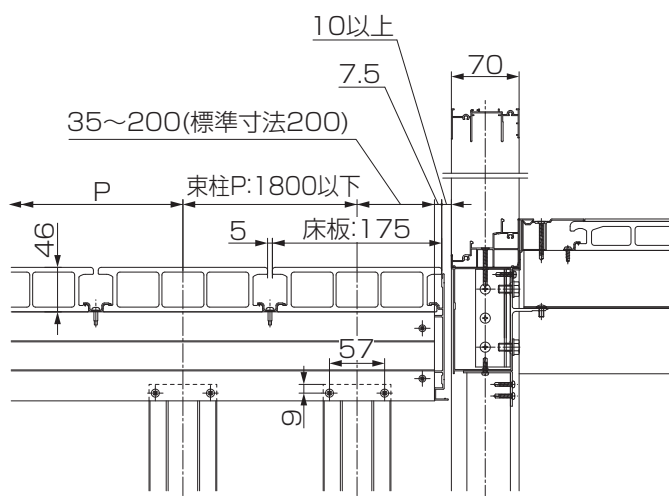
- テラス囲い、ルームトラスを囲うようにデッキを設置してください。
- 床板の切り欠きが必要な際は、床板縦切りインナー材を取付けてください。
- テラス囲いの正面から張り始めてください。



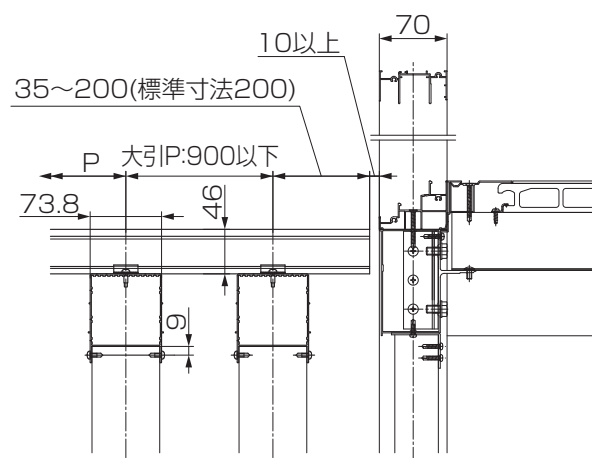
※本図はテラス囲いの納まりを示します。
※詳細は、各取付け説明書を参照してください。

13-2-1 テラス囲い納まり参考図

(1) 水上側の取付け



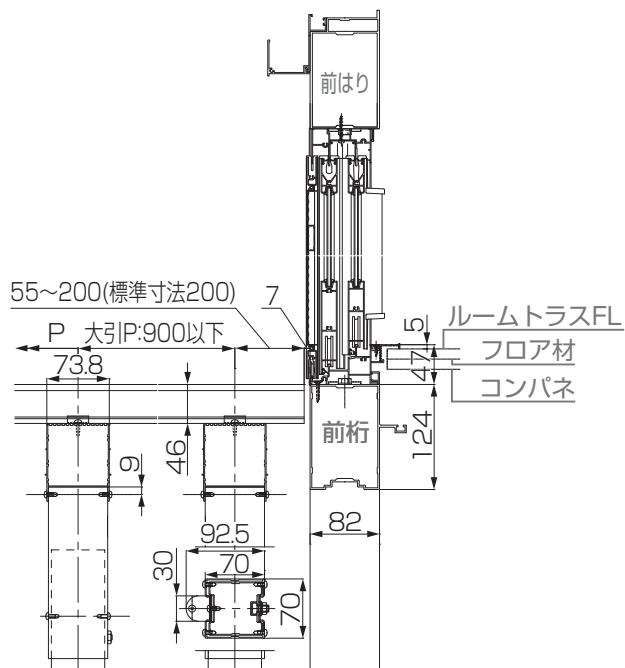
(2) 水上側の取付け ※テラス囲い内の床板は横張りのみとなります。



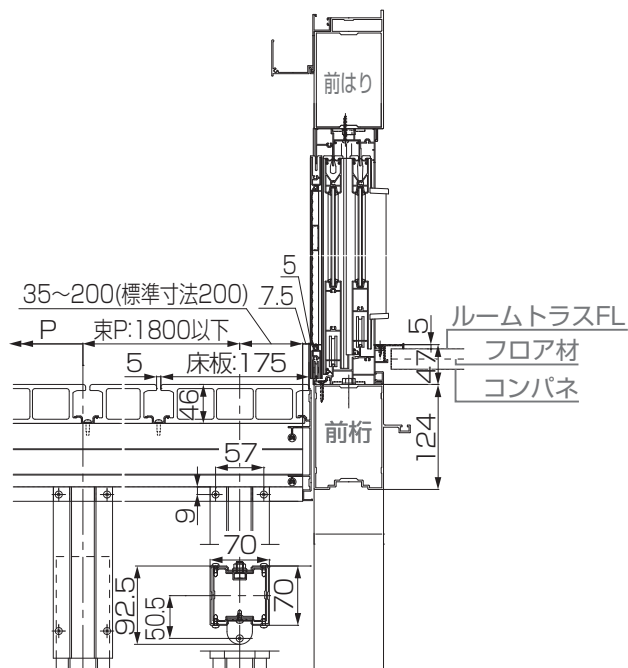
13-2 テラス囲い、ルームトラスとの接続

13-2-2 | ルームトラス納まり参考図

(1) 床板縦張り



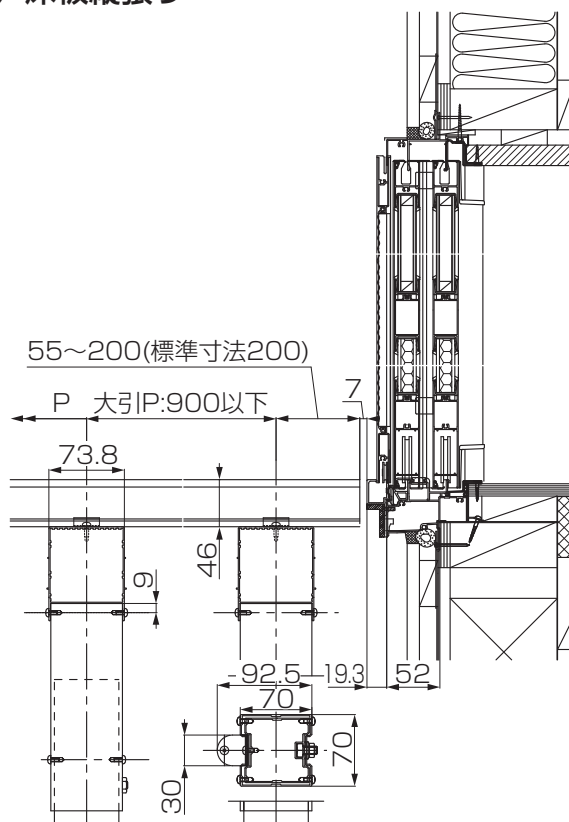
(2) 床板横張り



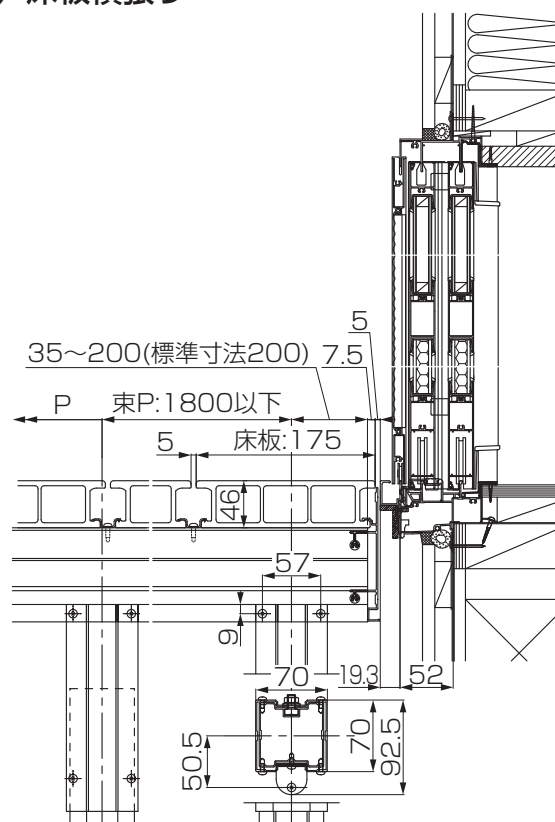
13-3 ノンレールサッシとの接続

13-3-1 | ノンレール納まり参考図

(1) 床板縦張り



(2) 床板横張り



14 施工後の補修

14-1 床板の補修

14-1-1 樹ら楽 プレーンタイプの場合

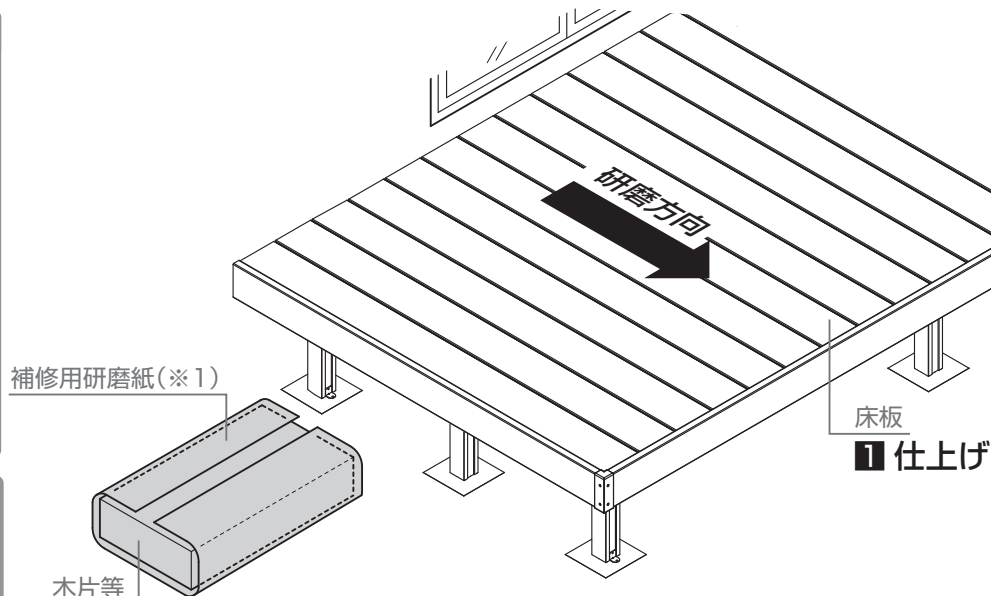
①: 施工後、床板の表面に付いたすりキズは補修用研磨紙で仕上げてください。

お願い

- 補修用研磨紙は長手の順目方向にこすってください。
- 強くこすりすぎないでください。下地が出てしまうおそれがあります。
- 1ヶ所を集中的にこするのではなく、全体をぼかす感じでこすって磨いてください。
- 木片等の平らな部材を研磨紙の裏から補助的に添えて、研磨紙面をフラットに当てるようにしてください。(※1)

補足

- 市販の研磨紙を使用する場合は、80番の研磨紙を使用してください。



14-1-2 樹ら楽 柃目タイプの場合

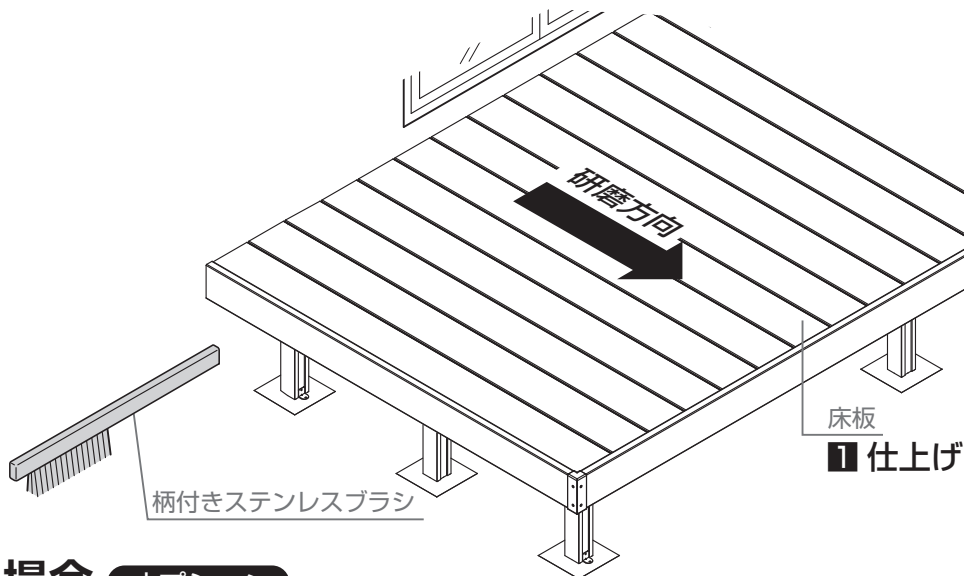
①: 施工後、表面に付いたすりキズの補修は、柄付きステンレスブラシで仕上げてください。

お願い

- 柄付きステンレスブラシで長手方向に沿って一方向に軽くこすってください。
- 強くこすりすぎないでください。下地が出てしまうおそれがあります。
- 1ヶ所を集中的にこするのではなく、全体をぼかす感じでこすって磨いてください。

補足

- 柄付きステンレスブラシは市販のものをお求めください。

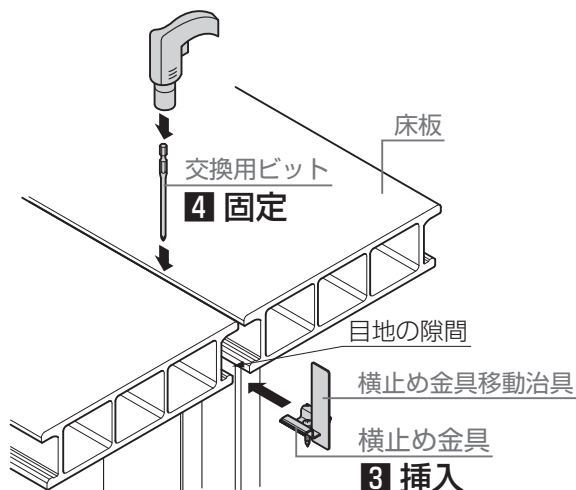
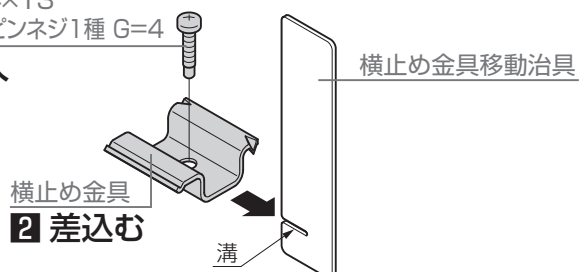


14-2 床板を交換する場合 オプション

- ①: 横止め金具の穴に【23b】を挿入
- ②: 横止め金具を横止め金具移動治具の溝に差込む
- ③: 横止め金具をデッキ前面の目地の隙間に挿入
- ④: 交換用ビットを目地上部から差込み、横止め金具を大引に固定

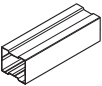
【23b】φ4×13
ナベタッピンネジ1種 G=4

① 挿入

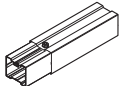
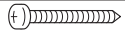


梱包明細表

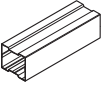
【1】束柱Aセット

名 称	略 図	員 数			
		1本入り	4本入り	6本入り	9本入り
束柱A		1	4	6	9
束柱固定金具		1	4	6	9
【1a】φ5×35セルフタップアンカー		1	4	6	9
【1b】φ4×13ナベドリルネジ		5	20	30	45

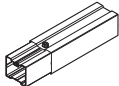
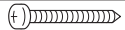
【2】束柱Bセット

名 称	略 図	員 数		
		1本入り	4本入り	6本入り
束柱B		1	4	6
束柱固定金具		1	4	6
【2a】φ5×35セルフタップアンカー		1	4	6
【2b】φ4×19ナベドリルネジ		9	36	54

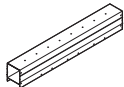
【3】ロング束柱Aセット

名 称	略 図	員 数	
		1本入り	4本入り
ロング束柱A		1	4
束柱固定金具		1	4
【3a】φ5×35セルフタップアンカー		1	4
【3b】φ4×13ナベドリルネジ		5	20

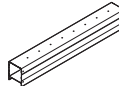
【4】ロング束柱Bセット

名 称	略 図	員 数	
		1本入り	4本入り
ロング束柱B		1	4
束柱固定金具		1	4
【4a】φ5×35セルフタップアンカー		1	4
【4b】φ4×19ナベドリルネジ		9	36

【5】大引セット

名 称	略 図	員 数	
		1本入り	2本入り
大引		1	2

【6】大引セット（連棟用）

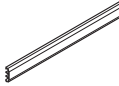
名 称	略 図	員 数	
		1本入り	2本入り
大引（連棟用）		1	2
大引スリーブ		1	2
【6a】φ4×19ナベドリルネジ		9	17

【7】筋交いセット

名 称	略 図	員 数	
		2本入り	3本入り
筋交い		2	3
筋交いキャップ		4	6
【7a】φ4×25ナベドリルネジ		4	6

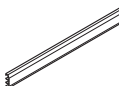
【8】根がらみ6尺、7尺

オプション

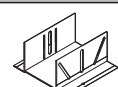
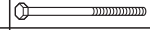
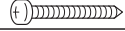
名 称	略 図	員 数	
		2本入り	3本入り
根がらみ		2	3
【8a】φ4×19ナベドリルネジ		6	9

【9】根がらみ8尺、9尺、10尺

オプション

名 称	略 図	員 数	
		2本入り	3本入り
根がらみ		2	3
【9a】φ4×19ナベドリルネジ		9	12

【10】土間施工部品セット

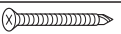
名 称	略 図	員 数		
		1個入り	4個入り	6個入り
大引支持台		1	4	6
大引スペーサー		1	4	6
スライドナット		1	4	6
【10a】M6×90六角ボルト		1	4	6
【10b】M6バネ座金		1	4	6
【10c】M6平座金		1	4	6
【10d】φ5×35セルフタップアンカー		2	8	12
【10e】φ4×16ナベドリルネジ		6	24	36

【11】土間施工 高さ調整部品セット

名 称	略 図	員 数		
		1個入り	4個入り	6個入り
大引補助スペーサー		1	4	6
【11a】φ4×16ナベドリルネジ		4	16	24

梱包明細表

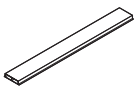
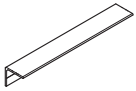
【12】側面幕板A取付材セット

名 称	略 図	員 数		
		1個入り	3個入り	5個入り
側面幕板A取付材		1	3	5
幕板金具A1		1	3	5
【12a】φ4×16トラスタッピンネジ1種		3	9	15
【12b】φ4×20ナベタッピンネジ2種G=5		4	12	20
【12c】φ4×40サラドリルネジ		2	2	2

【13】側面幕板B取付材セット

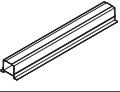
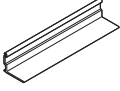
名 称	略 図	員 数		
		1個入り	3個入り	5個入り
側面幕板B取付材		1	3	5
幕板B取付補助部材		2	4	6
【13a】φ4×19サラドリルネジ		6	12	18
【13b】φ4×20ナベタッピンネジ2種G=5		4	12	20
【13c】φ4×30トラスタッピンネジ1種		4	8	12

【14】床板補強材

名 称	略 図	員 数
床板補強材		1
大引アングル		4
ネジカバー		8
【14a】φ4×13ナベドリルネジ		20

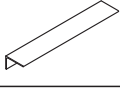
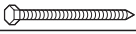
【15】補助根太セット

オプション

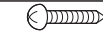
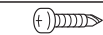
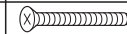
名 称	略 図	員 数
補助根太		1
補助根太取付部品		4
ネジカバー		8
【15a】φ4×13ナベドリルネジ		16

【16】躯体付けアングルセット

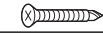
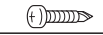
オプション

名 称	略 図	員 数
躯体付けアングル		1
【16a】φ6×70六角タッピンネジ1種		6

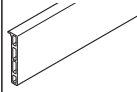
【17】正面幕板A取付材セット（大引固定用）

名 称	略 図	員 数		
		1個入り	3個入り	5個入り
正面幕板A取付材（大引固定用）		1	3	5
大引取付部材		1	3	5
【17a】φ4×16トラスタッピンネジ1種		4	12	20
【17b】φ4×13ナベドリルネジ		3	9	15
【17c】φ4×30サラドリルネジ		2	2	2

【18】正面幕板B取付材セット（大引固定用）

名 称	略 図	員 数		
		1個入り	5個入り	8個入り
正面幕板B取付材（大引固定用）		1	5	8
大引取付部材		1	5	8
【18a】φ4×25サラドリルネジ		4	12	18
【18b】φ4×13ナベドリルネジ		4	20	32

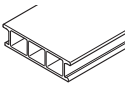
【19】幕板Aセット

名 称	略 図	員 数	
		1本入り	2本入り
幕板A		1	2

【20】幕板Bセット

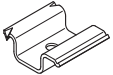
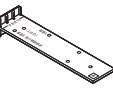
名 称	略 図	員 数	
		1本入り	2本入り
幕板B		1	2

【21】床板セット

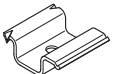
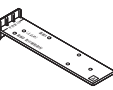
名 称	略 図	員 数		
		1本入り	2本入り	3本入り
床板		1	2	3

梱包明細表

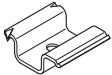
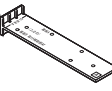
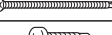
【22】床板取付部品セット プレーンタイプ

名 称	略 図	員 数		
		基本	追加40	追加20
横止め金具		60	40	20
穴開け治具		1	—	—
補修用研磨紙		2	—	—
【22a】φ4×13ナベタッピンネジ1種 G=4		66	44	22
【22b】φ4×12ナベタッピンネジ1種		6	—	—
取付説明書〈E470〉	—	1	—	—
取扱説明書〈EXM-218〉	—	1	—	—

【22】床板取付部品セット 柱目タイプ

名 称	略 図	員 数		
		基本	追加40	追加20
横止め金具		60	40	20
穴開け治具		1	—	—
【22a】φ4×13ナベタッピンネジ1種 G=4		66	44	22
【22b】φ4×12ナベタッピンネジ1種		6	—	—
取付説明書〈E470〉	—	1	—	—
取扱説明書〈EXM-218〉	—	1	—	—

【23】床板取付部品セット（補修用）

名 称	略 図	員 数	
		横止め補修	上止め補修
横止め金具		10	5
穴開け治具		1	1
横止め金具移動治具		1	1
交換用ビット		1	1
補修用研磨紙		1	1
【23a】φ4×65サラドリルネジ		—	20
【23b】φ4×13ナベタッピンネジ1種 G=4		12	7
取付説明書〈E470〉	—	1	1

【24】くり貫き部用幕板固定金具セット

オプション

名 称	略 図	員 数
くり貫き部用幕板固定金具		4
正面幕板B取付材（床板固定用）		4
【24a】M4×25サラ小ネジ		8
【24b】M4六角ナット		8
【24c】M4平座金		8
【24d】M4バネ座金		8
【24e】φ4×25サラドリルネジ		16
【24f】φ4×30ナベドリルネジ		8

【25】正面幕板A取付材セット（床板固定用）

名 称	略 図	員 数		
		1個入り	3個入り	5個入り
正面幕板A取付材（床板固定用）		1	3	5
幕板金具A1		1	3	5
【25a】φ4×16トラスタッピンネジ1種		3	9	15
【25b】φ4×30ナベドリルネジ		2	6	10
【25c】φ4×40サラドリルネジ		2	2	2

【26】コーナー幕板A取付材セット（角度切り用）

オプション

名 称	略 図	員 数
コーナー幕板A取付材（角度切り用）		2
幕板金具A2		1
【26a】φ4×16トラスタッピンネジ1種		3
【26b】φ4×30ナベドリルネジ		4

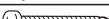
【27】幕板Aコーナーキャップセット

名 称	略 図	員 数		
		90°	入隅	フリー
幕板A90° コーナーキャップ		1	—	—
幕板A入隅コーナーキャップ		—	1	—
幕板Aフリーコーナーキャップ1		—	—	1
幕板Aフリーコーナーキャップ2		—	—	1
【27a】φ4×14サラタッピンネジ1種		4	4	4

【28】幕板Aジョイントカバーセット

名 称	略 図	員 数
幕板A連結キャップ		1
【28a】φ4×14サラタッピンネジ1種		2
【28b】φ4×40サラドリルネジ		3
ネジカバー		1

【29】正面幕板B取付材セット（床板固定用）

名 称	略 図	員 数		
		1個入り	5個入り	8個入り
正面幕板B取付材（床板固定用）		1	5	8
【29a】φ4×25サラドリルネジ		4	12	18
【29b】φ4×30ナベドリルネジ		2	10	16

【30】コーナー幕板B取付材セット（R用/角度切り用） オプション

名 称	略 図	員 数
コーナー幕板B取付材（R用/角度切り用）		2
【30a】φ4×25サラドリルネジ		4
【30b】φ4×30ナベドリルネジ		4

【31】幕板Bコーナーキャップセット

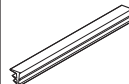
名 称	略 図	員 数		
		90°	入隅	フリー
幕板B90°コーナーキャップ		1	—	—
幕板B入隅コーナーキャップ		—	1	—
幕板Bフリーコーナーキャップ1		—	—	1
幕板Bフリーコーナーキャップ2		—	—	1
【31a】φ4×14サラタッピンネジ1種		2	2	4

【32】幕板Bジョイントカバーセット

名 称	略 図	員 数
幕板B連結キャップ		1
正面幕板B取付材		1
【32a】φ4×14サラタッピンネジ1種		2
【32b】φ4×25サラドリルネジ		2
【32c】φ4×30ナベドリルネジ		2

【33】躯体側隙間塞ぎ材

オプション

名 称	略 図	員 数
躯体側隙間塞ぎ材		1

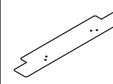
【34】床板縦切り用インナー材

オプション

名 称	略 図	員 数
床板縦切りインナー材		1
【34a】φ4×16サラドリルネジ		4

【35】床板キャップ

オプション

名 称	略 図	員 数	
		2個入り	10個入り
床板キャップ		2	10
床板キャップ穴開け治具		1	1
【35a】φ4×16サラタッピンネジ1種		4	20

取説コード

E470

JZZ635792D
201912A_1049
202603E_1049